

平成 30 年度

岡 谷 市 教 育 要 覧



岡 谷 市 教 育 委 員 会

岡 谷 市 幸 町 8 番 1 号
TEL (0266) 23-4811 番
FAX (0266) 24-2755 番
岡谷市ホームページ <http://www.city.okaya.lg.jp>

岡谷市民憲章

緑と湖につつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。

自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

仕事に誇りをもち、豊かな産業のまちをつくります。

(昭和 46 年 7 月 1 日制定)

人権尊重都市宣言

わたくしたちは誰もが等しく基本的人権が保障され、人間らしく幸せに生活したいと願っています。

市民憲章では「あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。」と掲げ、全市民が人権意識を高めるための努力をしています。

しかし、わたくしたちの周りには、さまざまな人権問題が存在していることも事実です。今こそ、人権の尊重は、市民一人ひとりの課題として受けとめ、明るく住みよいまちづくりのために努めなければなりません。

よって、わたくしたちは、基本的人権を正しく理解し、あらゆる人権侵害をなくすことを誓い、ここに岡谷市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

(平成 8 年 3 月 21 日宣言)

おかや子育て憲章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

明るく元気で健やかな子どもに育てます。

命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。

自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。

行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。

力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

(平成 14 年 4 月 1 日制定)

岡谷市のおいたち

縄文時代

この地に私達の祖先の縄文人が住むようになったのは、今からおよそ1万年前、縄文時代の最も早い時期にさかのぼります。豊かな湖と山野に囲まれ、東西文化の接点という交流の要衝として、また和田峠の黒曜石の集散地として縄文時代全般にわたって、大きなムラが営まれました。

弥生時代

諏訪地方では最も早く稲作農耕の技術が伝わり、大小の沢、湧水地、天竜川縁辺に大きなムラが発達し、たくさんの玉類を身に付けた王者が存在するほど発展します。

古墳・奈良・平安朝時代

やがて小地域ごとにムラを治めるようになり有力な豪族が生まれ、律令体制が整い、国の統治が全国に及ぶ頃になると、信濃の国の諏訪郡役所が長地一帯に設けられ、大きな高床の建物と役所に勤める役人を中心にマチが発展しました。また、官牧の岡屋（おかのやの）牧が定められ、この頃、信濃の駒の産地の一つとして、朝廷に牧馬を進献していました。

中世武士の社会・戦国の世

鎌倉時代に、諏訪の武士は武運の誉高く、大きな活躍をします。吉野朝時代には、諏訪上下両社とも南朝方として宗良親王を奉じ、全郡あげて天下に呼号しましたが、足利の季世以降戦乱の巷と化しますと、それまで統治していた諏訪氏が滅ぼされ武田氏の領国となります。関ヶ原の戦い以後、諏訪氏が旧領に復帰して明治まで高島藩の藩政が行われました。そして江戸時代は綿打業とその糸を使った小倉織が盛んになり、中山道の名物の一つとなって岡谷も栄えます。

明治維新以後

明治4年11月、信濃の国は大きく長野・筑摩の2県に分割され、この地は、筑摩県官下となって、郡県政治が行われることになりました。当時現市域は17村に分かれていました。

平野、湊、川岸、長地の各村の誕生

明治7年筑摩権令の合併勸奨指導のもとに平野村（7か村）、湊村（2か村）、川岸村（5か村）、長地村（3か村）が誕生し、明治9年には、筑摩県は長野県に統合されました。産業の近代化がすすめられる中で、この地は器械製糸業を積極的に取り入れ、大正から昭和初期には世界の一大製糸業地として発展します。

市制施行

昭和11年4月、当時平野村は全国一の大村から一躍市制を施行しました。これは製糸業の隆盛とともに人口が増加、また工業都市への転換をはかるなど画期的な前進からでした。

新しい岡谷市

かつて岡谷市は、歴史的にも深い関係にあった隣接の湊村、川岸村、長地村と合併し、「シルク岡谷」として世界にはばたいた街は、その後「東洋のスイス」といわれる気候・風土に恵まれ、精密工業を中核とした工業都市に転換してきました。そしてさらに近年は電子工業など先端技術の集積した工業都市として発展しています。いま本市は、県内有数の工業都市として発展してきた経緯を踏まえ、働く場の確保、人口の定着を図りながら、一層の産業振興を推進し、将来都市像である「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現を目指し、そのたくましさのもと、市民が輝き、いきいきと暮らすことができるまちづくりを進めていきます。

目 次

1. 教 育 行 政

(1) 教 育 大 綱	1
(2) 岡谷市教育の基本目標	2
① 第4次岡谷市総合計画	2
② おかや子育て憲章	4
③ 第5次岡谷市生涯学習推進計画	6
(3) 市理事者・市教育委員会・関係市議会議員	9
① 市 理 事 者	9
② 市 教 育 委 員 会	9
③ 関 係 市 議 会 議 員	9
(4) 教 育 委 員 会 機 構	10
(5) 事 務 分 掌	11
(6) 教育委員会事務局職員数	13

2. 教 育 委 員 会 所 管 予 算

(1) 平成30年度岡谷市一般会計当初予算	14
(2) 平成30年度教育委員会費歳出項目別当初予算	15
(3) 教育費の年度別推移	16

3. 教 育 総 務 課

(1) 学 校 教 育 基 本 方 針	17
(2) 市 内 小 中 学 校 等	18
① 市 立 小 中 学 校	18
② 学 校 教 職 員 数	19
③ 児 童 ・ 生 徒 数 及 び 学 級 数	20
④ 保育園等・幼稚園・認定こども園	21
⑤ 30人規模学級（35人学級）導入経過	23
⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み	23
⑦ 人口及び児童生徒数の年比較	26
⑧ 中学校卒業者の進路状況	27
⑨ 小 中 学 校 通 学 区 域	28
⑩ グ ラ ン ド デ ザ イ ン	28
⑪ 学 校 給 食 実 施 状 況	40
⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師	41
(3) 学 校 施 設	42
① 学 校 建 物 保 有 面 積	42
② 学 校 敷 地 保 有 面 積	42

③ 学校建物棟別保有面積（主要棟）	43
④ 学 校 水 泳 プ ー ル	44
⑤ 小中学校施設等主要整備状況	46
⑥ 小中学校コンピュータ整備状況	47
(4) 専 門 委 員 会 等	49
① 岡 谷 市 就 学 支 援 委 員 会	49
② 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会	49
③ 岡谷市いじめ問題対策調査委員会	49
④ 岡谷市子ども教育支援チーム	50
⑤ 岡谷市小中学校子どもの自立支援委員会	50
⑥ 岡谷市いじめ防止対策推進委員会	50
⑦ 岡谷市小中学校生徒指導推進委員会	51
⑧ 岡谷市小中学校情報教育委員会	51
⑨ 岡谷市学校図書館教育推進委員会	51
⑩ 岡谷市学力向上推進委員会	51
⑪ 岡谷市外国語活動推進委員会	51
⑫ 岡谷市道徳教育推進委員会	52
⑬ 岡 谷 市 学 校 保 健 会	52
(5) 学 校 評 議 員	53
(6) 岡谷市通学路安全対策会議	53
(7) 岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン策定委員会	54
(8) 子ども総合相談センター・カウンセリング体制	55
① 子ども総合相談センター	56
② 分 室	56
③ フレンドリー教室・中学校中間教室	57
④ 心 の 教 室 相 談 員	57
⑤ スク ー ル カ ウ ン セ ラ ー（専門カウンセラー）	58
⑥ スク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー	58
(9) 高等学校・専修学校・専門学校等	59
① 高 等 学 校	59
② 専 修 学 校 ・ 専 門 学 校	59
③ 各 種 学 校	59
(10) 教 員 住 宅	60
(11) 奨 学 金 制 度	61
① 岡 谷 市 育 英 基 金	61
② 公益信託 山田徳郎奨学基金	62

4. 生涯学習課

(1) 生涯学習基本方針	63
(2) 社 会 教 育	64

① 重 点 目 標	64
② 平成30年度重点施策	64
③ 岡谷子ども未来塾（放課後の中学生学習支援事業）	64
④ 放課後子どもの居場所づくり事業	64
⑤ 岡谷市社会教育委員の会議	64
⑥ おかや子育て憲章理念の普及	65
⑦ 岡 谷 市 成 人 式	65
⑧ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）	66
⑨ 生涯学習人材バンク「おかやマイナビスタッフ」活用事業	66
⑩ 人 権 教 育	66
⑪ 学 童 ク ラ ブ	67
⑫ 放課後子どもプラン推進事業	68
(3) 図 書 館	69
① 重 点 目 標	69
② 平成30年度重点施策	69
③ 施 設	69
④ 利 用 案 内	69
⑤ 蔵 書 冊 数 等	70
⑥ 利用状況（平成29年度）	71
⑦ 平成30年度事業概要	72
(4) 美 術 考 古 館	75
① 重 点 目 標	75
② 平成30年度重点施策	75
③ 施 設	75
④ 利 用 案 内	75
⑤ 資 料	76
⑥ 利用状況（平成29年度）	78
⑦ 平成30年度主要事業	79
(5) 文 化 財	80
① 重 点 目 標	80
② 平成30年度重点施策	80
③ 岡谷市文化財保護審議会委員	80
④ 施 設	80
⑤ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財	81
(6) ふれあい学習・公民館	91
① 重 点 目 標	91
② 平成30年度重点施策	91
③ 施 設	91
④ 利 用 案 内	92
⑤ 利用状況（平成29年度）	94

⑥ 生涯学習館・公民館の事業（平成30年度）	94
(7) 青少年	97
① 重点目標	97
② 平成30年度重点施策	97
③ 主な事業	97
5. スポーツ振興課	
(1) スポーツ振興基本方針	102
(2) スポーツ施設	103
① 市営岡谷球場	103
② 岡谷市営庭球場	103
③ 岡谷市民湖畔広場	103
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	103
⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	104
⑥ 岡谷市学校体育施設	104
⑦ 岡谷市民総合体育館	105
⑧ 岡谷市民水泳プール	106
⑨ 岡谷市やまびこアリーナ	106
⑩ 岡谷市営陸上競技場	106
⑪ 岡谷射撃場	106
(3) 平成30年度体育事業	107
① 岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業	107
② 岡谷市体育協会支援関連事業	108
③ スポーツ少年団事業	109
④ その他スポーツ大会	109
(4) 体育関係団体等	110
① 岡谷市スポーツ推進委員	110
② 体育団体	110
(5) 平成30年度スポーツ教室	110
① スポーツ教室	110
② おかや小学生体育塾	111
③ ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室	111
④ おかやファミリースポーツプログラム	111
⑤ スケート教室	111
⑥ 親子で氷上運動会	111
(6) 体育施設の月別利用状況（平成29年度）	112
① 市営岡谷球場	112
② 岡谷市営庭球場	112
③ 岡谷市民湖畔広場	112
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	113

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	113
⑥ 岡谷市学校体育施設	113
⑦ 岡谷市民総合体育館	114
⑧ 岡谷市民水泳プール	114

1. 教育行政

(1) 教育大綱(概要版)(2015-2018)

岡谷市「教育の理念」

平成27年12月4日制定

岡谷市・岡谷市教育委員会

自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

(めざす教育の姿)

子どもたちには、一人ひとりの人生の礎となる、確かな学びと成長の支えを実現し、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、共生社会を生き抜く力と創造性溢れる、豊かな感性、人間性を育みます。

また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりを進めるとともに、地域に根ざす『ひと、もの、こと』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

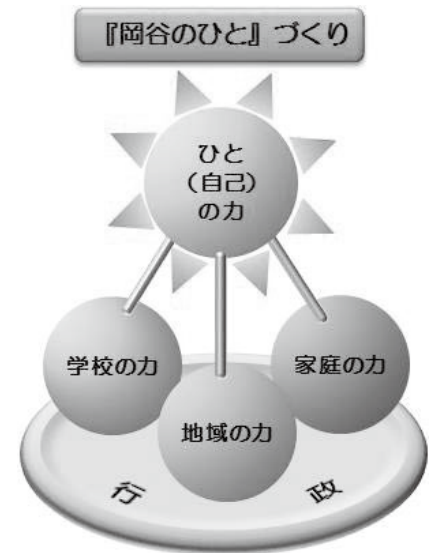
更に、主体的に取り組み、分かり合える **ひと(自己)の力** を育み、支えることができるよう、

魅力と活力ある **学校の力**、

共生社会を支える **地域の力**、

人づくりの根幹を担う **家庭の力** の充実を図り、

互いに連携しながら、**行政** との協働により、『岡谷のひとづくり』を推進します。



(岡谷のひとづくりを推進する教育の分野別スローガン)

学校教育

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

生涯学習

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

スポーツ

親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

教育の重点 ※今後、重点的に取り組む項目を掲げ、施策の展開につなげます。

学校教育

- 1 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
- 2 ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進
- 3 安心して学べる教育環境の整備
- 4 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
- 5 自立と共生につながる教育活動の充実

生涯学習

- 1 地域に学び貢献する生涯学習
- 2 ふるさとを誇りに思う生涯学習
- 3 未来を担う青少年を育む生涯学習
- 4 親力、家庭力が向上する生涯学習

スポーツ

- 1 市民ひとり1スポーツの実現
- 2 競技力の向上
- 3 子どものスポーツ機会の充実
- 4 スポーツによるまちづくり
- 5 スポーツ環境の整備・充実

施策の展開(第4次岡谷市総合計画)

＜生涯学習の推進、文化・スポーツの振興、国際理解の醸成＞

◆学校教育の充実	(1) 学習環境の整備 (2) 教育施設などの整備 (3) 児童・生徒の育成 (4) 学校・家庭・地域との連携 (5) 高等学校以上の教育 (6) 地域力による子育て支援
◆青少年の健全育成	(1) 子育て土壌づくりの支援 (2) 地域における健全な環境づくり (3) 青少年活動の推進 (4) 子育て支援の充実
◆社会教育の充実	(1) 学習活動への参加促進と学習機会の充実 (2) 生涯学習推進基盤の整備
◆文化・芸術の振興	(1) 文化施設の活用 (2) 文化活動の促進支援
◆文化財の保護・活用	(1) 文化財の調査・保存 (2) 文化財の公開・活用 (3) 史跡公園の管理・活用
◆多文化共生の推進	(1) 国際交流の推進 (2) 国際理解の醸成
◆スポーツの振興	(1) 市民ひとり1スポーツの実現 (2) 競技力の向上 (3) 子どものスポーツ機会の充実 (4) スポーツによるまちづくり (5) スポーツ環境の整備・充実

(2) 岡谷市教育の基本目標

－生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち－

本市は将来都市像を「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」と定め、この実現に向けて5つの都市づくりの柱をかかげております。

この都市づくりの柱の一であり、教育の基本目標となる「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」の推進に努めます。

また、前期基本計画に引き続き、後期基本計画においても、「たくましい産業の創造」、「安全・安心の伸展」と並んで子育て支援を重点プロジェクトとして位置付け、市民総参加による「輝く子どもの育成」に向けた取り組みを推進します。

① 第4次岡谷市総合計画

(基本構想2009年～2018年)

(後期基本計画2014年～2018年)

－生涯学習の推進－

1 学校教育の充実

子どもたちの心身の発達を促し、知識の習得と豊かな人間性を育てるため、教育内容の充実、施設・設備の整備を図るなど教育環境の充実に努めます。

また、子どもたちが新しい時代を切り拓く創造性豊かで、人として自立できる力を身に付けていけるよう、学校、家庭、地域、関係機関などとの連携を図り、地域社会全体で心豊かなたくましい人間性や社会性を育む教育を推進します。

2 青少年の健全育成

「おかや子育て憲章」の理念に基づき、子どもの心の自立を支えるよう家庭や地域社会が関係機関との連携のもとに、子どもの健全育成の基礎となる家庭教育力の向上や仲間づくり、また親子の絆を深められるようふれあいの機会の充実に図ります。

青少年の自主性や責任感を育むため、社会参加や交流活動などの機会の充実に図り、多様な人間関係を形成する重要な時期にある青少年の健全育成を推進します。

3 社会教育の充実

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、あらゆるライフステージに応じた学習機会や情報などを提供し、生きがいくくり、仲間づくり、社会貢献など市民が自主的に学び、支えあう生涯学習の環境づくりを進めるとともに、生涯学習活動の参加促進に努めます。

－文化・スポーツの振興－

4 文化・芸術の振興

潤いのある心豊かな暮らしの実現をめざし、楽しさや感動、充実感をもたらす芸術文化の振興および地域文化の伝承を図ります。このため、優れた舞台芸術や美術作品を鑑賞できる機会の充実を図るとともに、市民自らの創作活動による発表の場を提供し、文化団体や人材育成を支援し、市民の芸術文化活動の活性化を図ります。

また、芸術文化の拠点となる施設の環境整備に努めます。

5 文化財の保護・活用

歴史的文化遺産の保護・継承のため文化財保護意識の高揚と文化財保存活動の支援を図り、地域資源としての活用を推進します。

特に、本市の礎を築いた製糸業に関わる近代化産業遺産群については、まちづくりや地域活性化の面からも活用を図ります。

6 スポーツの振興

市民一人ひとりが日常の生活の中で生涯にわたり、自己にあったスポーツに積極的に親しむことは、健康の保持増進、体力の向上、精神面のリフレッシュに役立ちます。

それぞれの目的、健康、体力、年齢に応じたスポーツ・レクリエーションに親しみながら、健康の維持増進を図り、心のふれあいと明るく活力に満ちた「生涯スポーツ」活動を体育関係団体との連携により推進するとともに、競技力の向上をめざしたさまざまな取り組みを行います。

－国際理解の醸成－

7 多文化共生の推進

本市に在住する外国人の数は年々増加傾向にあり、国際理解の醸成と外国人が暮らしやすいまちづくり、外国人との共生の推進が求められています。

このため、国際交流活動を推進し、地域住民と在住外国人の異文化に対する理解を深めるとともに、児童生徒に対しては、国際理解教育の充実を図りコミュニケーション力の育成に努めます。

また、単に在住外国人の生活を支援するだけでなく、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化や習慣を尊重しあい認めあいながら、対等の関係を築き、同じ地域の構成員としてともに生きていくことができる社会をめざします。

② おかや子育て憲章

〔憲章制定の趣旨〕

わたくしたち岡谷市民は、これまで常に時代を先取りする進取の気性に富んだ人材を育て、まちの発展に寄与してきました。

緑と湖に恵まれた美しい郷土岡谷の未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。

大人が、子育てに夢と希望をもち、子どもを愛し、心の自立を促し、生きる力を育み、子どもたちの育つ環境を整え、協力し合いながら互いに支え合う市民総参加による子育てのまちづくりを推進するため、この憲章を定めます。

〔憲章本文〕

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

- 明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- 命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
- 自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- 行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
- 力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

平成 14 年 4 月 1 日制定

〔憲章実践の共通指針〕

子どもの生きる力を育むには、家庭・地域・学校が「子育て憲章」を共通の指針として、それぞれの役割を果たし、機能を発揮し合うことが大切です。家庭・地域・学校の連携した取り組みによってこそ、子どもはより強く、より大きく成長します。

家庭 《子育ての原点は家庭です》

- ・ 子どもは家族みんなで楽しく過ごすことを願い、**心をつなぎ合うコミュニケーション**を求めています。
- ・ 子どもが家庭で身に付けた**基本的な生活習慣**は、生涯にわたって子どもの心に生き続けます。
- ・ 子育ては家族みんなが参加・協力してバランスが保たれます。子どもが、**心身ともに調和のとれた成長**を続けるよう支えましょう。
- ・ 家庭を支える親の尽くす姿は、子どもの心に届き、**家族みんなでつくる生活の価値**に気づかせます。

地域 《地域の子どもは地域で育てます》

- ・ 子どもたちに、地域での自然体験や遊びを経験させ、子どもの**豊かな心の育ち**を支えましょう。
- ・ 子どもたちに、地域の伝統・文化を伝える体験の場と機会を提供し、**地域への愛着心**を育てましょう。

- ・ 子どもたちに、異世代・異年齢交流ができる地域活動に参加させ、**地域の人や友だちとかかわる力や、思いやりの心**を育てましょう。
- ・ 子どもは地域の財産です。子ども会活動や地域子育てミニ集会などを通して、**地域一体となつての子育て**の実践に努めましょう。

学校 《基礎・基本の定着を図ります》

- ・ 学校は、特色ある教育課程の具現を通して、子どもの個性伸長と、調和のある全人的な成長を助け、**人としての自立への育ち**を支えましょう。
- ・ 共に学び合う学習活動を通して、子どもに**基礎的・基本的学力の定着**と、心に響く**学びの喜び**を得させましょう。
- ・ 共同社会としての学校生活を通して、子どもに思いやりの心や協調性・社会性などの**人間関係づくりの力・規範意識**を育てましょう。
- ・ 総合的な学習の時間を通して、子どもに活動的・協同的・課題解決的な学びの体験をさせ、**生きる力の育ち**を支えましょう。

お父さん、お母さんへ

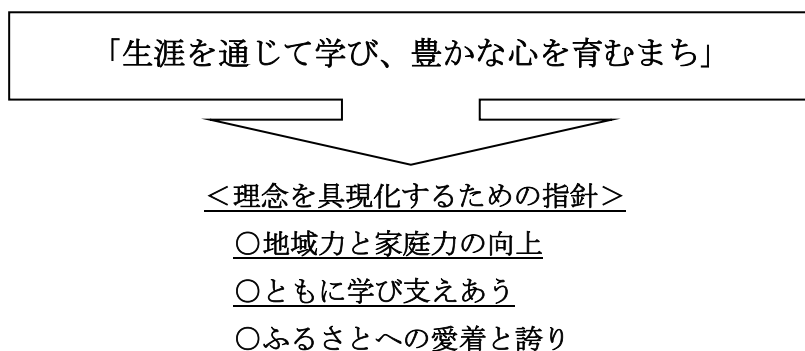
- ・ 子育ては、親にとって**人生の一大事業**です。
- ・ 子どもは、親の愛を実感することで**心を安定させ、強くたくましく成長**します。
- ・ 子どもの願いに耳を傾け、その願いを支える**親子の会話の機会**をもち続けましょう。
- ・ 親からの**正しいしつけが、子どもへの最大の贈り物**です。社会的ルールや善悪の判断、思いやりの心は、人とかかわりや遊びの中で身につけます。
- ・ 子どもに、家族の一員としての役割分担をもたせ、実感を伴った生活体験をさせることによって、**人としての自立の心**を育てましょう。

③ 第5次岡谷市生涯学習推進計画（2015年—2019年）

第5次岡谷市生涯学習推進計画は、第4次岡谷市総合計画の基本目標の一つである「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」を基調とし、特に後期基本計画（平成26年度からの5ヵ年）と一体的推進を図るものです。

また、岡谷市環境基本計画、岡谷市地域福祉計画、岡谷市高齢者福祉計画、岡谷市障がい者福祉計画、岡谷市児童育成計画（岡谷市子ども・子育て支援事業計画）、岡谷市健康増進計画、男女共同参画おかやプランなど、関連する部門計画と連携をもった計画として位置づけます。

1. 基本理念



2. 重点ポイント

（1）「地域に学び貢献する」生涯学習

地域社会の基盤は、区などの身近な地域であり、こうした地域での学びが重要となります。市民一人ひとりがそれぞれの地域で「自分たちの住んでいる地域を自分たちの手で守り育てていこう」という地域住民の自治意識を高め、地域独自の文化を伝承していくことが重要となります。

これまで伝統的に培われてきた市民の学びをさらに広げ、学習の成果を単に個人だけのものとせず、地域活動に発展させ、地域の人と人との学び合いや周囲の人々の支えと励ましの中で、学習成果を還元することで「学びの循環」が生まれます。

こうした「学びの輪」の中でみずからの学びが評価されることで自己肯定感が生まれ「地域への貢献」意識が高まってきます。

（2）「ふるさとを誇りに思う」生涯学習

本市には、シルクをはじめ素晴らしい文化や歴史があります。市民一人ひとりが、ふるさとを学び学習を深めることにより本市の良さを味わい、ふるさとをより身近に感じ愛着と誇りを持つことが重要です。また、先人の築き上げてきた歴史や文化を学び「地域力」を高めることが、ともに学びともに支え合う社会をつくります。

さらに、地域の大人が子どもに夢や希望を語りかけ、子どもたちに生活常識や地域の良さ、さまざまな知恵を伝授し、子どもと大人がともに学び合い高め合い、世代間の連帯を育むことで、将来、大人になったときにまちへの愛着を深めていくことにつながります。

(3)「未来を担う青少年を育む」生涯学習

子どもたちは、次の時代の「まちづくり」を担う大事な宝です。青少年を取り巻く環境はめまぐるしく変容し、膨大な、また多様な情報が存在し、青少年の意識や行動に大きな影響を与えています。子どもは学校だけでなく、家庭や地域社会の中で過ごし、社会性を身につけながら成長していきます。青少年の健全育成と自立支援に関しては、家庭、学校、地域が連携し、奉仕活動をはじめ、自主的・自発的な地域活動、社会貢献活動などへの参画を促し、心豊かに成長できるよう努めていく必要があります。また、自分の課題を学び考える資質や能力など豊かな人間性を備えた生きる力を培うことが必要です。

さらに、「若い世代の学び」は、生涯学習のスタートとなります。感受性の高い子どもたちに学びのきっかけを与え、社会や世界に羽ばたく動機付けとなり、岡谷市の未来を担う人材の育成につながります。

また、高校生をはじめとする青年期では、地域とのつながりが希薄となり、非行や引きこもりなどが懸念されており、青年期の居場所づくりについて、さまざまな視点から研究・検討していく必要が生じています。

本市では、地域住民との協働による放課後子どもの居場所づくり事業が行われています。地域住民の参画により地域社会の中で心豊かで健やかに育む環境づくりを図ることが必要です。

さらに、野外活動や自然体験学習活動などの学校外活動を充実するとともに、地域行事やボランティア活動を通して、地域社会への積極的な参加を促進します。

(4)「親力、家庭力を向上する」生涯学習

すべての教育の原点である家庭教育は、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的な倫理観や正義感、社会的なマナー、学習に対する意欲や態度等の基礎を子どもたちに育むものであり、重要なものです。一方、少子化、核家族化や都市化の進展などを背景に地域とのつながりが希薄化し親が身近な人から子育てを学んだり、助け合う機会が減少してきており、家庭及び地域の教育力の低下が問題となっています。温かい安らぎのある家庭を築くために親自身が学び、「親力」や「家庭力」を高めることが求められています。

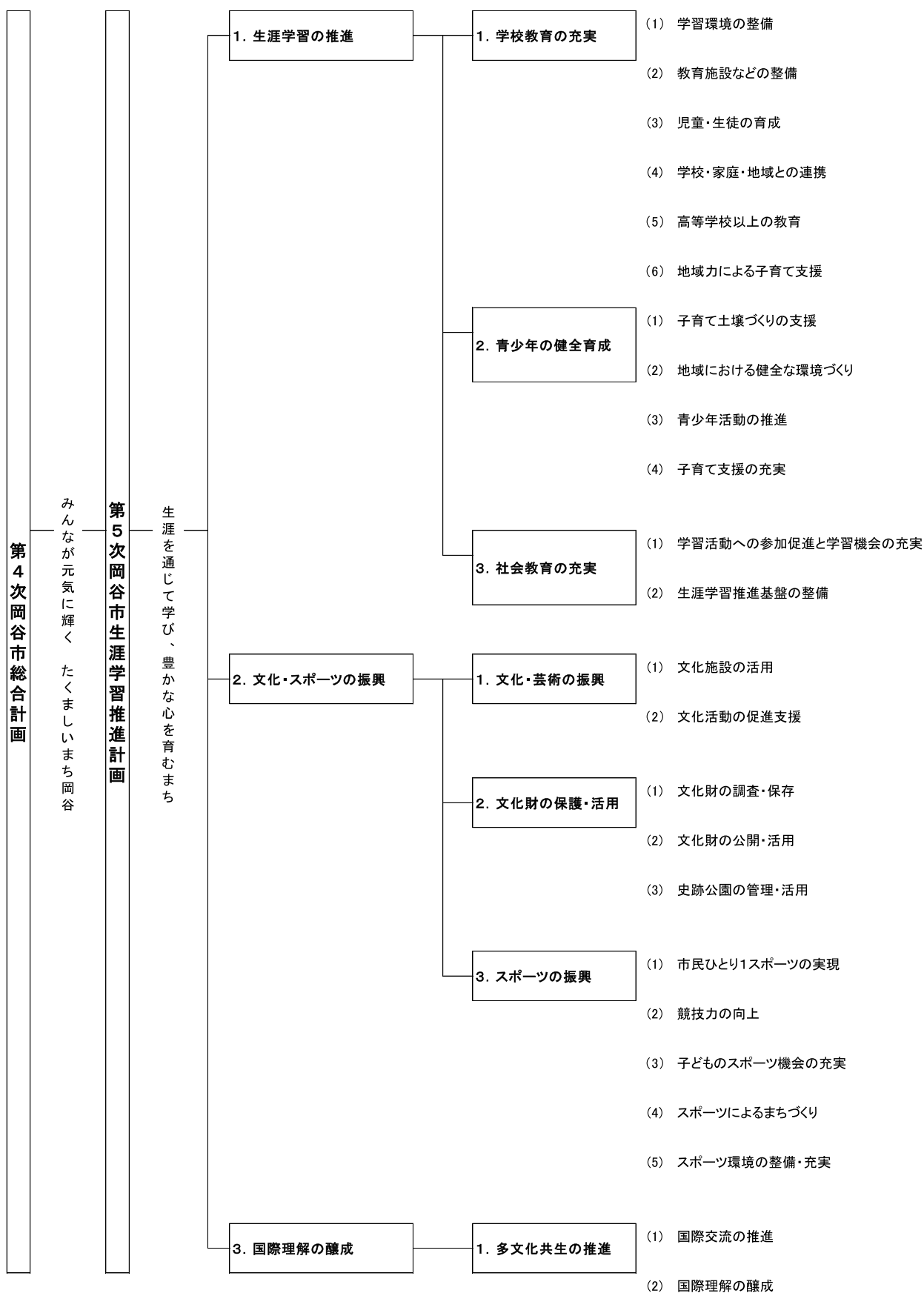
このため保護者が、子どもの発達段階に応じた関わり方を学び、理解を深め実践することで、家庭をつくり子どもを育む力を磨くことが重要となります。

行政、家庭、地域が相互に連携し、地域に溶けこめない保護者等にも、あらゆる機会を通じて参加や相談の機会を提供し充実していくことが大切です。

本市では、おかや子育て憲章の具現化のため作成した「成長樹（期）子育て実践ポイント」を活用し、成長期に沿った子育てに関する意識啓発を推進しています。

また、各種相談業務を充実するとともに、子育て講座や家庭教育学級の開催、親子の交流の場の創出、子育て経験者と親との交流の場の創出、身近な地域における子育て支援事業などにより体制の充実を図り、家庭教育への支援を展開します。

第5次 岡谷市生涯学習推進計画体系図



（３）市理事者・市教育委員会・関係市議会議員

① 市 理 事 者

（平成３０年５月１日現在）

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	備 考
市 長	今 井 竜 五	平１９． ９． ２ ９	平３１． ９． ２ ８	
副 市 長	小 口 明 則	平２８． ４． １	平３２． ３． ３ １	

② 市 教 育 委 員 会

（平成３０年５月１日現在）

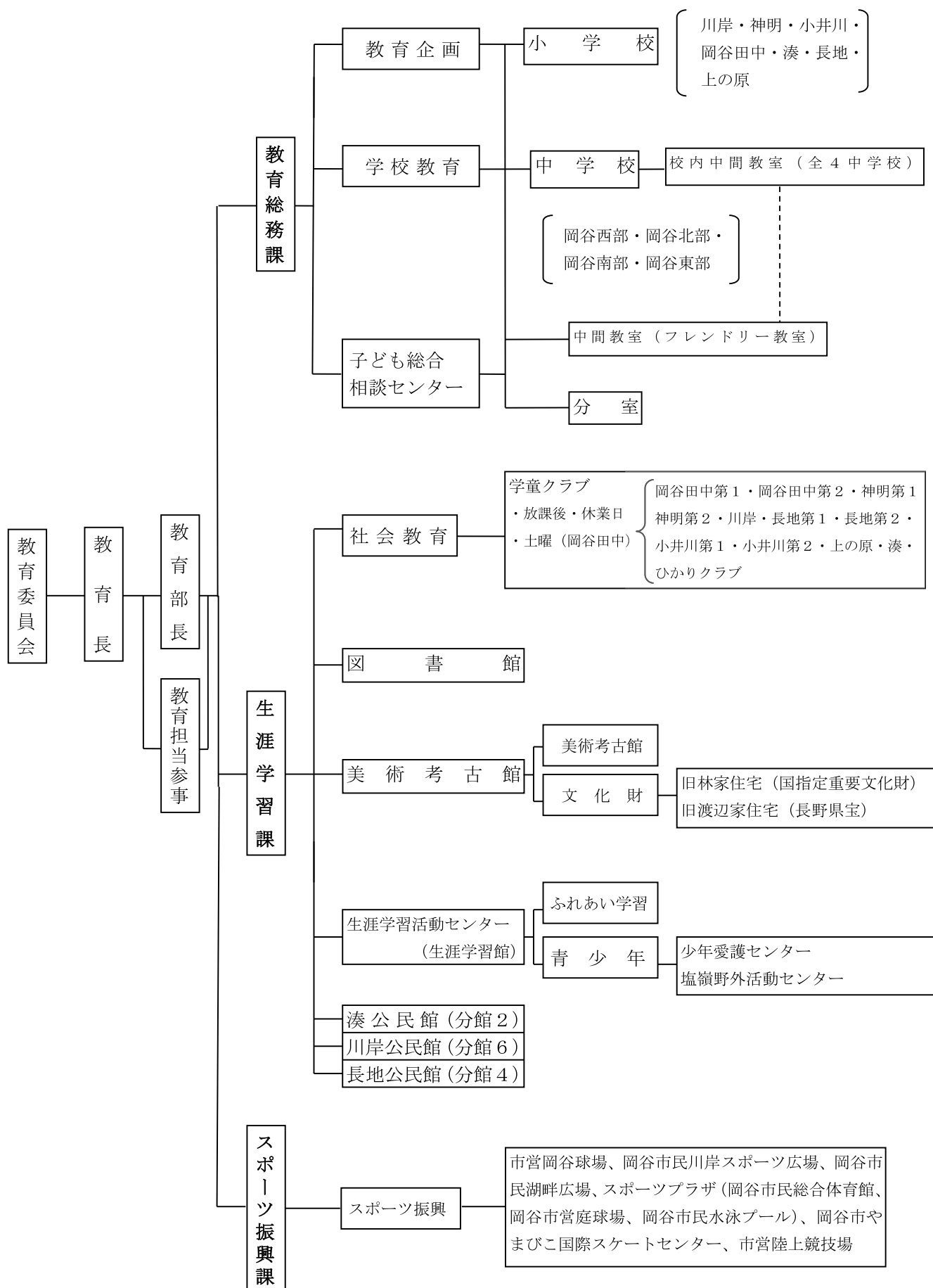
職 名	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	備 考
教 育 長	岩 本 博 行	平２６． ８． １ １	平３１． ３． ３ １	新教育長就任 平２８． ４． １
職 務 代 理 者	草 間 吉 幸	平１９． ３． １ ０	平３１． ３． ９	職務代理者就任 平２８． ４． １
委 員	太 田 博 久	平２７． ３． １	平３１． ２． ２ ８	
委 員	高 木 千 奈 美	平２７． １ ２． １	平３１． １ １． ３ ０	
委 員	藤 森 一 俊	平２８． １ ０． １	平３２． ９． ３ ０	
委 員	小 平 陽 子	平３０． ３． １ １	平３４． ２． １ ０	

③ 関係市議会議員

（平成３０年５月１日現在）

職 名	氏 名	備 考
議 長	武 井 富 美 男	議長就任 平２９． ５． １ ７
副 議 長	共 田 武 史	副議長就任 〃
総務委員会	委 員 長	中 島 保 明 委員長就任 平２９． ５． １ ７
	副委員長	今 井 康 善 副委員長就任 〃
	委 員	武 井 富 美 男
	〃	早 出 一 真
	〃	今 井 秀 実
	〃	大 塚 秀 樹

(4) 教育委員会機構



(5) 事務分掌

区 分		事 務 分 掌
教 育 総 務 課	教 育 企 画	1. 教育委員会の会議 2. 教育委員会規則の制定及び改廃 3. 事務局、学校、その他の教育等機関の職員の人事 4. 教育委員会の施策の企画及び調整 5. 法第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価等 6. 教育財産の管理 7. 学校その他の教育等機関の設置、管理、廃止 8. 教育委員会所属職員の厚生及び福利 9. 教育に係る調査及び基幹統計 10. 公印の管理 11. 文書の収受及び保管 12. 教員住宅 13. 校長及び教職員の服務並びに研修 14. 育英事業 15. P T A 等 16. 事務局、部及び課の庶務
	学 校 教 育	1. 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導 2. 学力向上 3. 教科書その他教材の取扱い 4. 通学区域の設定及び変更 5. 学齢児童、生徒の就学並びに入学及び転学 6. 児童生徒の保健、衛生、安全 7. 学校給食 8. 学校施設の整備及び営繕 9. その他学校教育
	子ども総合 相談センター (分室・フレンドリー教室)	1. 教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括 2. 就学支援に関する総合調整 3. 学校・家庭・関係機関との連携 4. 学校諸問題に関する総合的な教育・相談支援 5. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会に関すること 6. 岡谷市いじめ問題対策調査委員会に関すること 7. 岡谷市子ども教育支援チームに関すること 8. その他教育委員会が特に必要と認めること

生涯学習課	社 会 教 育		1. 生涯学習の総合計画及び推進 2. 社会教育の振興 3. 社会教育委員の会議及び研修 4. 社会教育施設の整備及び監督管理 5. 成人式 6. 放課後子どもの居場所づくり事業の運営 7. 学童クラブの管理運営 8. 人権教育 9. 課の庶務
	図 書 館		1. 図書館の管理 2. 図書館活動の総合的企画及び調査 3. 図書館資料の収集、整理及び保存 4. 図書館資料の利用のための相談、閲覧及び貸出し 5. 図書館関係機関、関係団体、読書団体との連携及び調整 6. 公印の管理
	美術考古館	美術考古館	1. 美術考古館の管理 2. 美術考古館活動の総合的企画及び調査等 3. 美術品及び考古等に係る資料の収集、保管並びに調査、研究 4. 美術考古館資料等の公開、利用及び活用並びに教育普及活動 5. 公印の管理
		文化財	1. 文化財の保護及び調査 2. 旧林家住宅の管理 3. 旧渡辺家住宅の管理 4. 文化財保護審議会
	生涯学習活動センター (生涯学習館)	ふれあい学習	1. 生涯学習に係る学級、講座、講演会等の企画実施 2. 社会教育団体及び学習グループの育成 3. 学習ボランティアの育成 4. 生涯学習活動センター全体の調整 5. 公民館等の連絡調整 6. 生涯学習活動センターの管理 7. 所管する公印の管理
		青少年	1. 青少年育成関係団体事務の総合調整 2. 青少年育成関係団体及び地区組織等の育成 3. 青少年及び指導者の研修 4. 少年愛護センター 5. 青少年教育並びに青少年の総合対策、企画及び調査 6. 青少年問題協議会 7. 塩嶺野外活動センターの管理運営
	湊 公 民 館 川 岸 公 民 館 長 地 公 民 館		1. 学級、講座、講演会等の企画実施 2. 社会教育団体及び学習グループの育成 3. 分館活動の育成指導 4. 公民館図書室 5. 公民館の管理運営 6. 公印の管理 7. その他各公民館との連携
スポーツ振興課	ス ポ ー ツ 振 興		1. スポーツの振興及び指導 2. 各種スポーツ大会の計画及び運営 3. スポーツ関係団体 4. 市営岡谷球場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民湖畔広場、スポーツプラザ（岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プール）、岡谷市やまびこ国際スケートセンター及び市営陸上競技場 5. 学校体育施設の開放 6. 岡谷市やまびこアリーナの財産管理 7. 課の庶務

(6)教育委員会事務局職員数

(平成30年4月1日現在)

	教育長	部長	参事	課長	副参事	統括主幹	主幹	主査	主任	主事	事務員	嘱託	合計	備考
教育長	1												1	
教育部長		1											1	
教育部教育担当参事			1										1	
教育総務課				1									1	
教 育 企 画							1	2					3	
学 校 教 育					1	1		1		1		3(1)	7	
子 ども 総 合 相 談 セ ン タ ー							1	1				4(3)	6	
生涯学習課				1									1	
社 会 教 育							1	1	1			12	15	
図 書 館						1		1		1		5	8	
美 術 考 古 館												1	1	
【美術考古館】							1	1				1	3	
【文化財】							1				1		2	
生涯学習活動センター (生涯学習館)												1	1	
【ふれあい学習】							1	2				1	4	
【青少年】							1	2				1	4	
【湊公民館】				(1)				1					1	
【川岸公民館】				(1)				1					1	
【長地公民館】				(1)				1					1	
スポーツ振興課				1									1	
ス ポ ー ツ 振 興							1		2	1			4	
合 計	1	1	1	3	1	2	8	14	3	3	1	29	67	

()内は兼務者で外数

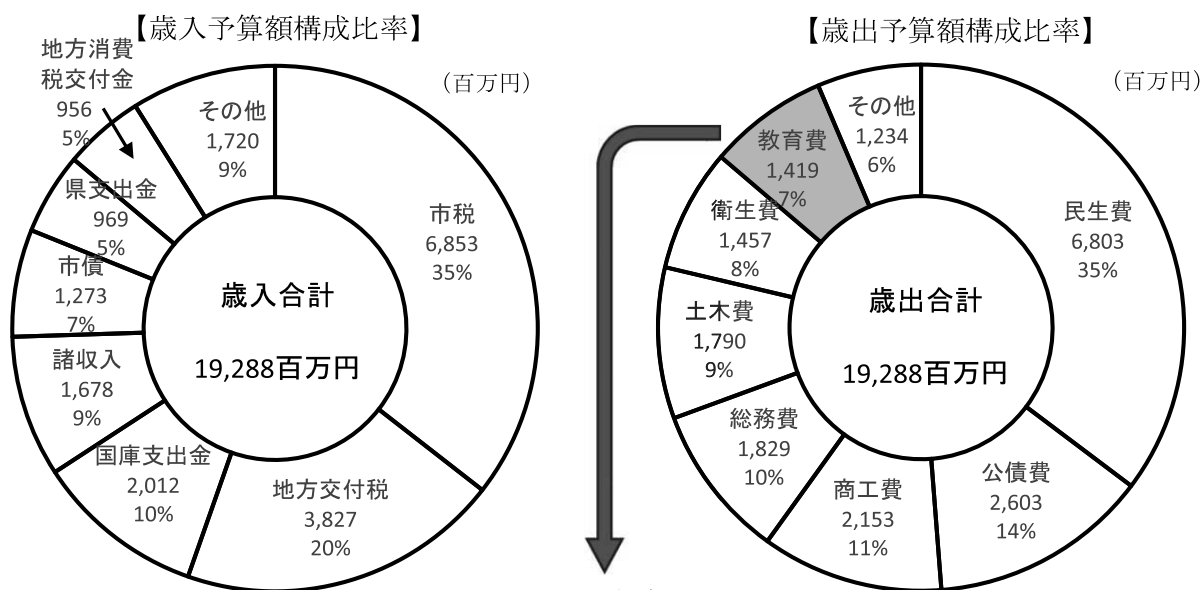
学校教育の()は子ども総合相談センターの兼務者

子ども総合相談センターの()は学力向上アドバイザーの兼務者1名と子ども課の兼務者2名

2. 教育委員会所管予算

(1) 平成30年度岡谷市一般会計当初予算

歳入・歳出予算 192億8,800万円
(前年 197億1,000万円)



	H30	H29	増減
民生費	6,803	6,970	△ 167
公債費	2,603	2,680	△ 77
商工費	2,153	2,469	△ 316
総務費	1,829	1,781	48
土木費	1,790	1,557	233
衛生費	1,457	1,592	△ 135
教育費	1,419	1,511	△ 92
その他	1,234	1,150	84
合計	19,288	19,710	△ 422

	H30	H29	増減
教育費	1,419	1,511	△ 92
教育総務費	326	307	19
小学校費	383	487	△ 104
中学校費	222	215	7
社会教育費	275	278	△ 3
保健体育費	213	224	△ 11

「岡谷市教育大綱 教育理念」

☆自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり☆

平成30年度 教育委員会関係主要事業予算

新 ◎チーム岡谷による学力推進事業	10,880 千円
◎第42回全国高等学校総合文化祭 「2018信州総文祭（放送部門）」開催事業	879 千円
新 ◎ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業	2,553 千円
◎子ども総合相談センター事業	14,190 千円
◎特別支援教育推進事業	5,152 千円
拡充 ◎外国語授業支援事業	23,994 千円
新 ◎学童クラブ室環境快適化事業	2,700 千円
新 ◎岡谷子ども未来塾（放課後の中学生学習支援事業）	1,506 千円
新 ◎美術考古館開館5周年記念事業	1,904 千円
新 ◎読書活動推進事業（第3次岡谷市子ども読書活動推進計画の策定）	14,274 千円
新 ◎図書館はつらつ来ぶらり マンパワー事業	3 千円
新 ◎縄文文化情報発信事業「岡谷・下諏訪親子縄文探検ツアー」	3,000 千円
◎旧林家住宅保存改修事業	3,164 千円
◎スポーツきっかけづくり事業	2,240 千円
◎おかやキッズ運動大好き事業	3,781 千円
◎おかやスケート振興事業	15,000 千円
○通学路交通安全対策事業（土木費 計上）	

(2) 平成30年度教育委員会費歳出項目別当初予算

(単位 千円)

項 目	予 算 額	比率(%)	項 目	予 算 額	比率(%)
1. 教 育 総 務 費	325,742	23.0%	(5) 生涯学習活動 センター 費	42,036	
(1) 教育委員会費	4,954		(6) 図 書 館 費	57,465	
(2) 事 務 局 費	260,230		(7) 文化財保護費	18,157	
(3) 教 員 住 宅 費	2,139		(8) 塩嶺野外活動 センター 費	5,232	
(4) 幼 稚 園 費	58,419		5. 保 健 体 育 費	212,733	15.0%
2. 小 学 校 費	383,431	27.0%	(1) 保健体育総務費	904	
(1) 学 校 管 理 費	356,586		(2) 体 育 施 設 費	197,546	
(2) 教 育 振 興 費	26,845		(3) スポーツ振興費	14,283	
3. 中 学 校 費	222,270	15.7%			
(1) 学 校 管 理 費	202,551				
(2) 教 育 振 興 費	19,719				
4. 社 会 教 育 費	274,517	19.3%			
(1) 社会教育総務費	5,856				
(2) 放課後子ども健全育成費	62,239				
(3) 公 民 館 費	37,595				
(4) 美術考古館費	45,937			1,418,693	100.0%

(3) 教育費の年度別推移

(単位 千円)

年度	当初予算			最終予算		
	一般会計 (A)	教育費 (B)	比率 (B/A)	一般会計 (C)	教育費 (D)	比率 (D/C)
平成元	14,389,000	2,168,603	15.07%	16,366,635	2,203,498	13.46%
平成2	14,453,000	1,898,352	13.13%	17,119,360	1,932,889	11.29%
平成3	16,061,000	2,140,124	13.32%	18,090,724	2,165,157	11.97%
平成4	17,855,000	2,347,761	13.15%	19,745,317	2,364,645	11.98%
平成5	18,576,000	1,906,554	10.26%	21,800,770	1,911,279	8.77%
平成6	20,577,000	1,953,454	9.49%	23,250,264	2,212,756	9.52%
平成7	19,055,000	2,013,162	10.57%	21,180,773	2,090,644	9.87%
平成8	19,195,000	2,296,892	11.97%	23,087,050	2,355,758	10.20%
平成9	24,289,000	2,721,028	11.20%	24,918,813	2,457,550	9.86%
平成10	21,712,000	2,745,935	12.65%	25,381,263	2,853,430	11.24%
平成11	21,534,000	2,183,794	10.14%	24,418,762	2,285,557	9.36%
平成12	21,690,000	2,240,401	10.33%	23,446,224	2,337,230	9.97%
平成13	22,005,000	2,052,788	9.33%	25,089,840	2,128,769	8.48%
平成14	20,820,000	1,983,194	9.53%	25,714,524	2,044,159	7.95%
平成15	23,005,000	2,068,565	8.99%	24,480,365	2,155,178	8.80%
平成16	23,315,000	2,138,048	9.17%	23,944,826	2,279,376	9.52%
平成17	20,935,000	2,167,384	10.35%	22,638,527	2,276,964	10.06%
平成18	19,023,000	1,745,782	9.18%	20,826,798	1,744,625	8.38%
平成19	18,518,000	1,708,261	9.22%	19,489,332	1,715,757	8.80%
平成20	18,655,000	1,614,361	8.65%	20,995,488	1,725,447	8.22%
平成21	18,726,000	1,422,281	7.60%	21,194,892	1,913,727	9.03%
平成22	19,600,000	1,402,813	7.16%	21,615,156	2,098,213	9.71%
平成23	20,240,000	1,641,597	8.11%	22,122,348	2,561,311	11.58%
平成24	20,233,000	1,471,587	7.27%	21,170,830	2,309,364	10.91%
平成25	21,090,000	1,409,364	6.68%	25,480,473	1,948,413	7.65%
平成26	21,352,000	1,487,939	6.97%	24,556,693	1,639,907	6.68%
平成27	20,903,000	2,305,990	11.03%	22,474,002	2,327,267	10.36%
平成28	21,148,000	2,485,000	11.75%	22,054,696	2,502,235	11.35%
平成29	19,710,000	1,511,000	7.67%	20,711,587	1,556,031	7.51%
平成30	19,288,000	1,418,693	7.36%			

3. 教育総務課

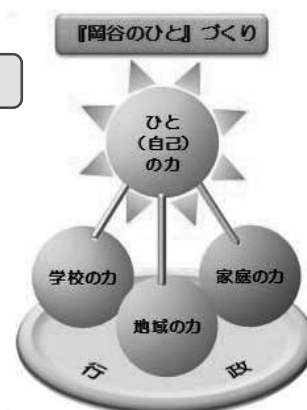
(1) 学校教育基本方針

■ 『学校教育スローガン』

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

おかや子育て憲章及び岡谷市教育大綱に掲げた教育理念のもと、少子高齢化、グローバル化が進む現代社会の中で、一人ひとりの個性、人格、人権を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を推進し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

更に、知識を基盤としながら、思考力・判断力・表現力などの知識を活かす能力を高め、自ら主体的に学び、たくましく生き抜くことのできる力を養います。



■ 「学校教育 5つの重点」

1 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進

- ・地域に息づき、根付く学校「岡谷版コミュニティスクール」の充実
- ・魅力と活力に溢れる特色ある学校づくり、チーム学校の実践
- ・地域とつくる学校、地域と共にある学校づくりの推進

2 ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の推進

- ・ものづくりなど、地域資源を活かした普遍的な学習「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践
- ・岡谷の『ひと・もの・こと』に誇りと自信を持つ「ふるさと教育」の推進、郷土を愛する心の醸成

3 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

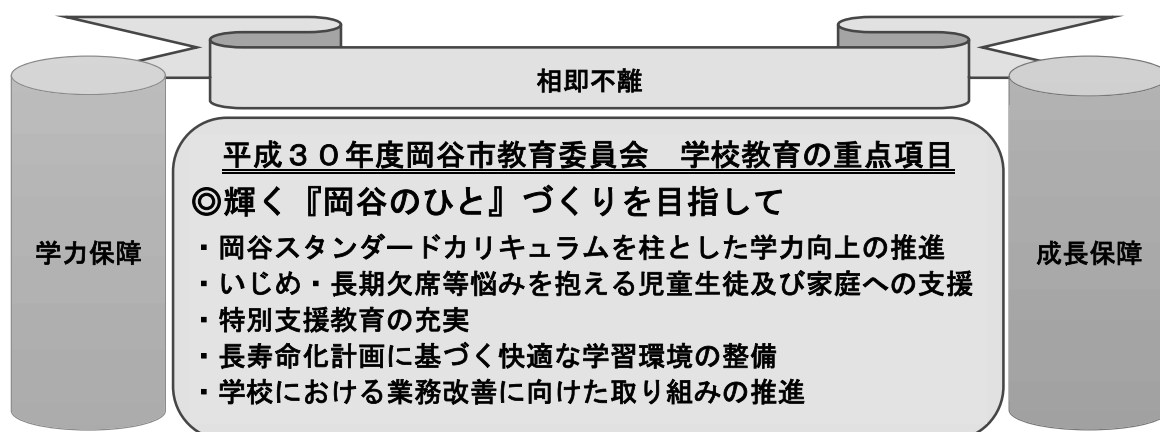
- ・一人ひとりの特性に合わせた学校生活支援、小・中学校と幼稚園・保育園との連携
- ・小・中・高の枠を超えた連続的、横断的な教育支援体制の構築
- ・子どもたちによる「いじめ根絶運動」の取り組みの継続
- ・地域との連携による、笑顔で安心して学べる、安全・安心の教育環境の提供、防災教育の充実

4 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善

- ・確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
- ・ユニバーサルデザイン化を軸に「わかる、できる」授業の実施、家庭学習の工夫を通じた学力向上
- ・全員が力を発揮し、認め合える学級づくり、一人ひとりの子どもに合わせた特別支援教育の推進

5 「自立と共生」につながる教育活動の充実

- ・生き抜く力を育む教育、道徳教育、心の教育の充実
- ・将来の目標と学業を結び付けるキャリア教育の推進
- ・アクティブ・ラーニング、ソーシャルスキルトレーニング(SST)、ピア・サポート・プログラムの実践
- ・自立と共生につながる教育活動の充実、児童生徒会の自治推進



(2) 市内小中学校等

① 市立小中学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	創 立 年 月 日	学 校 長 氏 名
川 岸 小 学 校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番2号	TEL 22-2663 FAX 22-2653	明7.1.	朝 倉 克 博
神 明 小 学 校	〒394-0004 岡谷市神明町一丁目9番40号	TEL 22-2243 FAX 22-2159	昭42.4.1	宮 坂 享
小 井 川 小 学 校	〒394-0023 岡谷市東銀座一丁目1番4号	TEL 22-2234 FAX 22-2641	明6.4.	飯 田 八 重 子
岡 谷 田 中 小 学 校	〒394-0031 岡谷市田中町三丁目5番17号	TEL 22-2425 FAX 22-2851	平28.4.1	井 出 誠 一
湊 小 学 校	〒394-0044 岡谷市湊三丁目6番1号	TEL 22-2728 FAX 22-2529	明6.4.	北 原 克 己
長 地 小 学 校	〒394-0086 岡谷市長地源一丁目1番3号	TEL 27-8792 FAX 27-8598	明5.11	小 林 高 志
上 の 原 小 学 校	〒394-0089 岡谷市長地出早二丁目6番1号	TEL 28-1187 FAX 28-1742	昭48.4.1	曾 根 原 義 治
岡 谷 西 部 中 学 校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番1号	TEL 22-3461 FAX 22-3409	昭22.4.1	河 口 孝
岡 谷 北 部 中 学 校	〒394-0002 岡谷市赤羽二丁目1番24号	TEL 22-3203 FAX 22-3197	昭22.4.1	池 田 秀 司
岡 谷 南 部 中 学 校	〒394-0044 岡谷市湊二丁目1番8号	TEL 22-3243 FAX 22-3241	昭22.4.1	小 松 亨
岡 谷 東 部 中 学 校	〒394-0083 岡谷市長地柴宮一丁目9番13号	TEL 27-8644 FAX 27-8595	昭22.4.8	林 満 彦

② 学校教職員数

(平成30年5月1日現在)

区 分		県 費											市 費										合 計
		校 長	教 頭	教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 員	栄 養 員	小 計	事 務 員	栄 養 員	A L T	給 食 調 理 員	図 書 館 指 導 員	業 務 員	特 別 支 援 教 育 支 援 員	心 の 教 室 相 談 員	中 間 教 室 適 応 指 導 員	小 計	
				男	女																		
学 校 名		長	頭			論	論	論	師	員	員		員	員	T	員	員	員	員	員	員		
小 学 校	川 岸 小	1	1	7	11	1			4	1		26	1	1		4	1	1	4			12	38
	(兼務者)			(1)					(1)			(2)										(2)	
	神 明 小	1	1	10	11	1			4	1		29	1	1		5	1	1	4			13	42
	(兼務者)								(1)			(1)										(1)	
	小 井 川 小	1	1	8	9	1	1	1	2	1		25	1			5	1	1	3			11	36
	(兼務者)			(1)					(1)			(2)										(2)	
	岡谷田中小	1	1	9	9	1			3	1		25	1	1		5	1	1	2			11	36
	(兼務者)			(1)					(3)			(4)										(4)	
	湊 小	1	1	2	6	1			3	1		15		1		3	1	1	1			7	22
	長 地 小	1	1	12	14	1		1	2	1		33	1			7	1	1	5			15	48
	(兼務者)			(1)					(2)			(3)										(3)	
	上 の 原 小	1	1	4	7	1	1		1	1		17		1		4	1	1	2			9	26
(兼務者)			(1)	(1)				(1)			(3)										(3)		
小 計		7	7	52	67	7	2	2	19	7	0	170	5	5	0	33	7	7	21	0	0	78	248
中 学 校	岡谷西部中	1	1	9	5	1			4	1	1	23				3	1	1	1	①	1	7	30
	岡谷北部中	1	1	11	4	1	1		4	1		24	1	1		5	1	1	2	①	1	12	36
	(兼務者)								(1)			(1)										(1)	
	岡谷南部中	1	1	7	7	1	1		5	1		24		1		3	1	1	2	①	1	9	33
	岡谷東部中	1	1	14	9	1			7	1	1	35	1			6	1	1	3	①	1	13	48
小 計		4	4	41	25	4	2	0	20	4	2	106	2	2	0	17	4	4	8	④	4	41	147
合 計		11	11	93	92	11	4	2	39	11	2	276	7	7	0	50	11	11	29	④	4	119	395

※()は兼務者で上段の本務者には含まれない

※丸数字は委嘱者で外数

③ 児童・生徒数及び学級数

・小学校

(平成30年5月1日現在)

		川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計	1学級当たり児童数
1年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	25.5
	男	17	27	27	25	10	36	15	157	
	女	25	34	23	25	7	44	17	175	
	計	42	61	50	50	17	80	32	332	
2年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	27.9
	男	35	19	21	31	6	37	18	167	
	女	29	33	23	32	12	53	14	196	
	計	64	52	44	63	18	90	32	363	
3年	学級数	2	3	2	2	1	3	2	15	25.8
	男	22	36	18	29	9	46	22	182	
	女	25	49	19	29	11	47	25	205	
	計	47	85	37	58	20	93	47	387	
4年	学級数	2	3	2	2	1	3	2	15	28.5
	男	29	30	28	29	9	59	24	208	
	女	29	42	35	32	11	47	23	219	
	計	58	72	63	61	20	106	47	427	
5年	学級数	2	2	2	2	1	4	1	14	28.9
	男	29	25	23	38	10	80	19	224	
	女	24	32	23	30	9	47	15	180	
	計	53	57	46	68	19	127	34	404	
6年	学級数	3	3	2	3	1	4	2	18	25.5
	男	35	36	26	35	11	49	22	214	
	女	39	44	35	43	4	62	18	245	
	計	74	80	61	78	15	111	40	459	
特別支援	学級数	4	3	4	3	1	5	2	22	5.4
	男	19	15	18	12	3	25	7	99	
	女	3	3	4	1	0	5	3	19	
	計	22	18	22	13	3	30	10	118	
合計	学級数	17	18	16	16	7	25	11	110	22.6
	男	186	188	161	199	58	332	127	1,251	
	女	174	237	162	192	54	305	115	1,239	
	計	360	425	323	391	112	637	242	2,490	

・中学校

		西部	北部	南部	東部	計	1学級当たり生徒数
1年	学級数	2	4	3	4	13	29.5
	男	31	56	38	64	189	
	女	31	52	37	74	194	
	計	62	108	75	138	383	
2年	学級数	2	3	3	5	13	31.2
	男	22	54	47	93	216	
	女	40	49	36	64	189	
	計	62	103	83	157	405	
3年	学級数	3	3	2	5	13	29.5
	男	38	47	36	66	187	
	女	37	40	35	84	196	
	計	75	87	71	150	383	
特別支援	学級数	2	3	2	4	11	4.7
	男	6	7	9	18	40	
	女	2	4	2	4	12	
	計	8	11	11	22	52	
合計	学級数	9	13	10	18	50	24.5
	男	97	164	130	241	632	
	女	110	145	110	226	591	
	計	207	309	240	467	1,223	

・小中学校合計

男	1,883	女	1,830	計	3,713
---	-------	---	-------	---	-------

④ 保育園等・幼稚園・認定こども園

・保育園等

<保育園等一覧表>

保 育 園 名	所 在 地	定 員	電 話 番 号
小 口 保 育 園	岡谷市銀座一丁目4-18	110人	22-2489
今 井 保 育 園	岡谷市長地6189番地1	90	22-2935
あ や め 保 育 園	岡谷市湖畔一丁目10-3	120	22-2680
川 岸 保 育 園	岡谷市川岸中二丁目7-14	90	22-3829
夏 明 保 育 園	岡谷市川岸西一丁目18-16	60	22-3861
成 田 保 育 園	岡谷市成田町二丁目10-6	90	22-2464
み な と 保 育 園	岡谷市湊三丁目6-50	90	22-3566
長 地 保 育 園	岡谷市長地鎮一丁目7-29	150	27-4194
若 草 保 育 園	岡谷市加茂町三丁目8-28	90	22-4038
西 堀 保 育 園	岡谷市堀ノ内一丁目6-4	120	22-7670
神 明 保 育 園	岡谷市神明町四丁目4-11	120	22-4555
横 川 保 育 園	岡谷市長地出早三丁目4-16	90	28-1180
つ る み ね 保 育 園	岡谷市川岸上三丁目14-13	90	22-2911
聖ヨゼフ保育園岡谷（私立）	岡谷市山下町一丁目1-37	90	24-1477
ひまわり保育園（私立）	岡谷市長地権現町二丁目8-30	60	27-2816
信学会東堀保育園（私立）	岡谷市長地御所二丁目1563番地	150	27-9366
きらり岡谷市民病院園（私立）	岡谷市本町四丁目-11-33撫子寮1階	17	23-6656
計		1,627	

※信学会東堀保育園は1号認定定員を含む

<保育園職員数>

(平成30年4月1日現在)

区 分	園長	保育士	臨時 保育士	長時間保 育補助員	栄養士	臨時 調理員	臨時 相談員	合計
保育園名								
小口	1	4	9	4	0	4	0	22
今井	1	4	4	3	0	3	0	15
あやめ	1	8	15	5	1	5	1	36
川岸	1	5	9	4	1	4	1	25
夏明	1	2	1	0	0	1	0	5
成田	1	4	7	4	0	4	0	20
みなと	1	4	8	3	1	4	1	22
長地	1	5	16	6	1	5	0	34
若草	1	2	3	0	0	2	0	8
西堀	1	5	7	4	0	4	0	21
神明	1	4	9	3	1	5	0	23
横川	1	4	8	3	1	4	0	21
つるみね	1	3	3	1	0	2	0	10
育休、子ども課 付、総務課付	0	15	0	0	2	0	0	17
合計	13	69	99	40	8	47	3	279

<保育園等入所児童数>

(平成30年4月1日現在)

保育園名	定員	当月初日 入所人員	当月初日入所人員の年齢別内訳					
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
小口	110	55 (3)		6	8 (1)	13	17 (1)	11 (1)
今井	90	48		5	3	14	11	15
あやめ	120	117 (1)	2	9	10	25	39	32 (1)
川岸	90	78		7	4	26	23	18
夏明	60	11				3	5	3
成田	90	73	1	5	9	8	25	25
みなと	90	64 (1)		8	9	18	20	9 (1)
長地	150	91	1	13	10	15	26	26
若草	90	19				3	3	13
西堀	120	89		7	11	21	25	25
神明	120	90		2	7	24	23	34
横川	90	75		6	10	10	29	20
つるみね	90	29				10	8	11
公立合計	1,310	839 (5)	4	68	81 (1)	190	254 (1)	242 (3)
(立正)								
東堀保育	120	111		8	11	48	22	22
聖ヨゼフ	90	94 (2)	3	7	13 (2)	24	26	21
ひまわり	60	59		5	13	14	13	14
きらり岡谷	17	8	1	1	6			
私立2,3号合計	287	272 (2)	4	21	43 (2)	86	61	57
東堀教育	30	8				6	2	
聖母	90	72				19	21	32
ヤコブ	60	53				14	15	24
1号合計	180	133				39	38	56
私立合計	467	405 (2)	4	21	43 (2)	125	99	113
総 計	1,777	1,244 (7)	8	89	124 (3)	315	353 (1)	355 (3)

※ () 内は、うち市外からの広域入所児童

・幼稚園

<私立幼稚園>

(平成30年5月1日現在)

園 名	設置 別	学級 数	園 児 数			定 員	教 職 員 数	園 長 名	所 在 地 (電話番号)
			男	女	計				
ヤコブ幼稚園	私立	3	33	32	65	150	21	水 野 礼 子	岡谷市字上ノ原262番地2 (22-2618) (山崎学園24-0134)
聖母幼稚園	私立	4	43	52	95	150	23	水 野 礼 子	岡谷市大栄町二丁目3番26号 (22-5090) (山崎学園24-0134)
瑞穂幼稚園	私立	1	13	2	15	105	3	堀 順 一	岡谷市中央町一丁目8番13号 (22-3806)

※市外からの入所児童含む

・認定こども園

<私立認定こども園>

(平成30年4月1日現在)

園 名	設置 別	学級 数	園 児 数			定 員	教 職 員 数	園 長 名	所 在 地 (電話番号)
			男	女	計				
信学会東堀保育園	私立	7	48	71	119	150	26	酒 井 重 明	岡谷市長地御所二丁目1563番地 (27-9366)

⑤ 30人規模学級（35人学級）導入経過

年度	学年	実施校	備 考
14	小1	川岸小 神明小	全額県費負担
15	小1～小3	川岸小 神明小 長地小	
16	小1～小3	川岸小 神明小 小井川小 長地小	
16	小4	長地小	県費・市費負担により実施
17	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
17	小5	長地小	県費・市費負担により実施
18	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
18	小5～小6	川岸小 神明小 長地小	県費・市費負担により実施
19	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
19	小5～小6	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
20	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
20	小5～小6	神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
21	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
22	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
23	小1～中1	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷南部中	全額県費負担
24	小1～中2	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
25	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
26	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷東部中	全額県費負担
27	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
28	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷田中小 長地小 上の原小 岡谷西部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
29	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 岡谷田中小 長地小 上の原小 岡谷西部中 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
30	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 岡谷田中小 長地小 上の原小 岡谷西部中 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担

⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み（平成30年5月1日現在）

* 各小中学校の児童生徒数及び学級数に特別支援は含まない。

川岸小学校（特別支援学級：4学級（知障2、情障2））

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	42	2	54	2	61	2	56	2	50	2	42	2	34	1
2学年	64	2	42	2	54	2	61	2	56	2	50	2	42	2
3学年	47	2	64	2	42	2	54	2	61	2	56	2	50	2
4学年	58	2	47	2	64	2	42	2	54	2	61	2	56	2
5学年	53	2	58	2	47	2	64	2	42	2	54	2	61	2
6学年	74	3	53	2	58	2	47	2	64	2	42	2	54	2
計	338	13	318	12	326	12	324	12	327	12	305	12	297	11

神明小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	61	2	64	2	52	2	59	2	46	2	48	2	48	2
2学年	52	2	61	2	64	2	52	2	59	2	46	2	48	2
3学年	85	3	52	2	61	2	64	2	52	2	59	2	46	2
4学年	72	3	85	3	52	2	61	2	64	2	52	2	59	2
5学年	57	2	72	3	85	3	52	2	61	2	64	2	52	2
6学年	80	3	57	2	72	3	85	3	52	2	61	2	64	2
計	407	15	391	14	386	14	373	13	334	12	330	12	317	12

小井川小学校（特別支援学級：4学級（知障1、情障3））

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	50	2	57	2	61	2	42	2	42	2	54	2	37	2
2学年	44	2	50	2	57	2	61	2	42	2	42	2	54	2
3学年	37	2	44	2	50	2	57	2	61	2	42	2	42	2
4学年	63	2	37	2	44	2	50	2	57	2	61	2	42	2
5学年	46	2	63	2	37	2	44	2	50	2	57	2	61	2
6学年	61	2	46	2	63	2	37	2	44	2	50	2	57	2
計	301	12	297	12	312	12	291	12	296	12	306	12	293	12

岡谷田中小学校(特別支援学級:3学級(知障1、情障2))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	50	2	65	2	53	2	51	2	52	2	57	2	51	2
2学年	63	2	50	2	65	2	53	2	51	2	52	2	57	2
3学年	58	2	63	2	50	2	65	2	53	2	51	2	52	2
4学年	61	2	58	2	63	2	50	2	65	2	53	2	51	2
5学年	68	2	61	2	58	2	63	2	50	2	65	2	53	2
6学年	78	3	68	2	61	2	58	2	63	2	50	2	65	2
計	378	13	365	12	350	12	340	12	334	12	328	12	329	12

湊小学校(特別支援学級:1学級(情障))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	17	1	8	1	20	1	20	1	17	1	16	1	12	1
2学年	18	1	17	1	8	1	20	1	20	1	17	1	16	1
3学年	20	1	18	1	17	1	8	1	20	1	20	1	17	1
4学年	20	1	20	1	18	1	17	1	8	1	20	1	20	1
5学年	19	1	20	1	20	1	18	1	17	1	8	1	20	1
6学年	15	1	19	1	20	1	20	1	18	1	17	1	8	1
計	109	6	102	6	103	6	103	6	100	6	98	6	93	6

長地小学校(特別支援学級:5学級(知障1、情障4))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	80	3	83	3	85	3	82	3	98	3	91	3	104	3
2学年	90	3	80	3	83	3	85	3	82	3	98	3	91	3
3学年	93	3	90	3	80	3	83	3	85	3	82	3	98	3
4学年	106	3	93	3	90	3	80	3	83	3	85	3	82	3
5学年	127	4	106	3	93	3	90	3	80	3	83	3	85	3
6学年	111	4	127	4	106	3	93	3	90	3	80	3	83	3
計	607	20	579	19	537	18	513	18	518	18	519	18	543	18

上の原小学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	32	1	33	1	32	1	20	1	25	1	27	1	23	1
2学年	32	1	32	1	33	1	32	1	20	1	25	1	27	1
3学年	47	2	32	1	32	1	33	1	32	1	20	1	25	1
4学年	47	2	47	2	32	1	32	1	33	1	32	1	20	1
5学年	34	1	47	2	47	2	32	1	32	1	33	1	32	1
6学年	40	2	34	1	47	2	47	2	32	1	32	1	33	1
計	232	9	225	8	223	8	196	7	174	6	169	6	160	6

7小学校合計(特別支援を含む)

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
川岸小	360	17	340	16	348	16	346	16	349	16	327	16	319	15
神明小	425	18	409	17	404	17	391	16	352	15	348	15	335	15
小井川小	323	16	319	16	334	16	313	16	318	16	328	16	315	16
岡谷田中小	391	16	378	15	363	15	353	15	347	15	341	15	342	15
湊小	112	7	105	7	106	7	106	7	103	7	101	7	96	7
長地小	637	25	609	24	567	23	543	23	548	23	549	23	573	23
上の原小	242	11	235	10	233	10	206	9	184	8	179	8	170	8
計	2,490	110	2,395	105	2,355	104	2,258	102	2,201	100	2,173	100	2,150	99

岡谷西部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	62	2	79	3	61	2	61	2	50	2	67	2	43	2
2学年	62	2	62	2	79	3	61	2	61	2	50	2	67	2
3学年	75	3	62	2	62	2	79	3	61	2	61	2	50	2
計	199	7	203	7	202	7	201	7	172	6	178	6	160	6

岡谷北部中学校(特別支援学級:3学級(知障1、情障2))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	108	4	135	4	106	4	117	4	124	4	85	3	96	3
2学年	103	3	108	4	135	4	106	4	117	4	124	4	85	3
3学年	87	3	103	3	108	4	135	4	106	4	117	4	124	4
計	298	10	346	11	349	12	358	12	347	12	326	11	305	10

岡谷南部中学校(特別支援学級:2学級(知障1、情障1))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	75	3	94	3	95	3	88	3	84	3	88	3	71	3
2学年	83	3	75	3	94	3	95	3	88	3	84	3	88	3
3学年	71	2	83	3	75	3	94	3	95	3	88	3	84	3
計	229	8	252	9	264	9	277	9	267	9	260	9	243	9

岡谷東部中学校(特別支援学級:4学級(知障1、情障3))

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	138	4	179	6	183	6	184	6	159	5	137	4	142	5
2学年	157	5	138	4	179	6	183	6	184	6	159	5	137	4
3学年	150	5	157	5	138	4	179	6	183	6	184	6	159	5
計	445	14	474	15	500	16	546	18	526	17	480	15	438	14

4中学校合計(特別支援を含む)

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度		平成36年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
岡谷西部中	207	9	211	9	210	9	209	9	180	8	186	8	168	8
岡谷北部中	309	13	357	14	360	15	369	15	358	15	337	14	316	13
岡谷南部中	240	10	263	11	275	11	288	11	278	11	271	11	254	11
岡谷東部中	467	18	496	19	522	20	568	22	548	21	502	19	460	18
計	1,223	50	1,327	53	1,367	55	1,434	57	1,364	55	1,296	52	1,198	50

⑦ 人口及び児童生徒数の年比較

(毎年5月1日現在)

年度	人口(A)	増減指数	小 学 校			中 学 校		
			児童数 (B)	人口対比 (B/A)	増減指数	生徒数 (C)	人口対比 (C/A)	増減指数
	人	%	人	%	%	人	%	%
40	56,005	100.0	4,612	8.23	100.0	2,679	4.78	100.0
59	61,113	109.1	6,171	10.09	133.8	3,075	5.03	114.8
60	61,197	109.3	5,968	9.75	129.4	3,164	5.17	118.1
61	61,501	109.8	5,658	9.20	122.7	3,182	5.17	118.8
62	61,188	109.3	5,248	8.58	113.8	3,192	5.22	119.1
63	60,834	108.6	4,938	8.12	107.1	3,065	5.04	114.4
元	60,282	107.6	4,637	7.69	100.5	2,967	4.92	110.8
2	60,359	107.8	4,351	7.21	94.3	2,768	4.59	103.3
3	59,599	106.4	4,141	6.95	89.8	2,696	4.52	100.6
4	59,456	106.2	3,996	6.72	86.6	2,476	4.16	92.4
5	58,944	105.2	3,841	6.52	83.3	2,344	3.98	87.5
6	58,705	104.8	3,738	6.37	81.0	2,088	3.56	77.9
7	58,367	104.2	3,561	6.10	77.2	2,006	3.44	74.9
8	57,725	103.1	3,458	5.99	75.0	1,878	3.25	70.1
9	57,220	102.2	3,303	5.77	71.6	1,884	3.29	70.3
10	57,070	101.9	3,172	5.56	68.8	1,812	3.18	67.6
11	56,960	101.7	3,144	5.52	68.2	1,808	3.17	67.5
12	56,837	101.5	3,087	5.43	66.9	1,701	2.99	63.5
13	56,290	100.5	3,082	5.48	66.8	1,635	2.90	61.0
14	55,932	99.9	3,084	5.51	66.9	1,557	2.78	58.1
15	55,613	99.3	3,049	5.48	66.1	1,529	2.75	57.1
16	55,424	99.0	3,096	5.59	67.1	1,508	2.72	56.3
17	54,986	98.2	3,097	5.63	67.2	1,516	2.76	56.6
18	54,380	97.1	3,105	5.71	67.3	1,486	2.73	55.5
19	53,877	96.2	3,112	5.78	67.5	1,507	2.80	56.3
20	53,616	95.7	3,093	5.77	67.1	1,495	2.79	55.8
21	53,271	95.1	3,120	5.86	67.6	1,521	2.86	56.8
22	52,772	94.2	2,992	5.67	64.9	1,528	2.90	57.0
23	52,556	93.8	2,898	5.51	62.8	1,555	2.96	58.0
24	52,041	92.9	2,856	5.49	61.9	1,524	2.93	56.9
25	51,376	91.7	2,833	5.51	61.4	1,505	2.93	56.2
26	50,845	90.8	2,760	5.43	59.8	1,441	2.83	53.8
27	50,341	89.9	2,671	5.31	57.9	1,464	2.91	54.6
28	49,824	89.0	2,682	5.38	58.2	1,350	2.71	50.4
29	49,413	88.2	2,609	5.28	56.6	1,308	2.65	48.8
30	48,826	87.2	2,490	5.10	54.0	1,223	2.50	45.7

⑧ 中学校卒業者の進路状況

(平成30年3月卒業者)

学 校 名	男 女 別	進学者(就職進学者を含む)							教育訓練機関入学者				就 職 者	左 記 以 外 者	卒 業 者 総 数	
		高等学校			高等 学校 別 科	高等 専門 学校	盲聾養護 学校高等部		専修学校		各種 学校	訓練 施設 等				公共 職業
		全 日 制	定 時 制	通 信 制			本 科	別 科	高 等 課 程	一 般 課 程						
岡谷西部	男	48		2			1									51
	女	39		1										1		41
	計	87	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		92
岡谷北部	男	63		2		1	1						3	1		71
	女	69		3												72
	計	132	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	3	1		143
岡谷南部	男	28		1										1		30
	女	42		1												43
	計	70	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		73
岡谷東部	男	80	2	5							1			2		90
	女	90	1	1												92
	計	170	3	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2		182
計	男	219	2	10	0	1	2	0	0	0	1	0	3	4		242
	女	240	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		248
	計	459	3	16	0	1	2	0	0	0	1	0	3	5		490

⑨ 小中学校通学区域

学 校 名		通 学 区 域
小 学 校	川 岸	川岸地区全部
	神 明	今井 1. 4～12. 16 町内、今井 3 町内国道下、間下全部、 小井川 12. 13. 15. 16. 17 国道下、18. 22. 23. 24. 26. 27. 28 町内、 今井神明台、今井塩嶺、樋沢
	小 井 川	小井川 1～11. 14. 19. 20. 21. 25. 29 町内 小口全部、西堀全部
	岡谷田中	下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、新屋敷全部
	湊	湊地区全部
	長 地	中屋全部、中村 1～6. 8. 9 町内、東堀全部
	上 の 原	横川全部、中村 7 町内、今井 2. 13. 14. 15 町内、今井 3 町内国道上 小井川 17 町内国道上
中 学 校	西 部	川岸地区全部
	北 部	今井全部、間下全部、小口全部、小井川 3. 4. 10～29 町内、樋沢
	南 部	湊地区全部、下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、 新屋敷全部
	東 部	長地地区全部、西堀全部、小井川 1. 2. 5～9 町内

⑩ グランドデザイン

小 学 校

- ・川 岸 小 学 校 P29
- ・神 明 小 学 校 P30
- ・小 井 川 小 学 校 P31
- ・岡 谷 田 中 小 学 校 P32
- ・湊 小 学 校 P33
- ・長 地 小 学 校 P34
- ・上 の 原 小 学 校 P35

中 学 校

- ・岡 谷 西 部 中 学 校 P36
- ・岡 谷 北 部 中 学 校 P37
- ・岡 谷 南 部 中 学 校 P38
- ・岡 谷 東 部 中 学 校 P39

「岡谷市教育大綱」

「おかや子育て憲章」

わたくしたち岡谷市民は
 ○明るく元気で健やかな
 ○命を大切にし、感謝の心と思いやりのある
 ○自ら求め、粘り強くやり抜く
 ○行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる
 ○力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する
 子どもに育てます。

学校教育の重点（岡谷市教育の重点）

- 1 地域に根ざした特色ある学校
- 2 ふるさと岡谷に学ぶ学習
- 3 安心して学べる教育環境
- 4 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
- 5 自立と共生につながる教育活動

学校教育目標

「たくましい子ども」

<願う子どもの姿>

- からだと心をきたえ、明るく元気な子
- わたしもあなたも大切にする子
- きづき、考え、意欲的に学ぶ子
- しっかり働き、責任を果たす子

川岸の子どもたちの実態

【よい面】

- ・体を動かして、元気に遊べる子が多い。
- ・素直な子が多く、指示されたことは、一生懸命やろうとする。
- ・男女仲良くできる。
- ・授業に落ちついて真面目に取り組む子が多い。
- ・掃除に一生懸命取り組める子が多い。

【課題】

- ・自分の考えを表現することが苦手である
- ・自分に自信がなく、自己肯定感が低い子が多い。
- ・相手への言葉遣いがきつい傾向がある。
- ・自分から大きな声で挨拶する子が少ない
- ・授業中、積極的に発言し、主体的に学ぶ子が少ない。

<本年度の重点> 全校研究テーマ 「関わり合い、進んで自分を表現する子の育成」

○主体的に学ぶ楽しい授業づくり・・・・・・・・・・（探求的・協働的な授業への授業改善）

重点研究（算数科・図画工作科・特別の教科「道徳」）

○互いに心を通わせ、感謝と思いやりの心を育む活動の充実・・（交流・集団活動）

○進んで心と体をきたえ、粘り強くやり抜く活動の継続・・・・・（体力づくり、無言清掃）

○地域のよさに触れ、地域に誇りが持てる活動の重視・・・・・（地域とつながる体験活動）

<学力向上推進プラン>

○主体的に学ぶ楽しい授業づくり

- (1) 授業改善や学力向上をめざした重点的な取り組み
- ① どの子どもも分かる授業のユニバーサルデザイン化の工夫
 - ② 生活場面を活かした学習場面や探求的な学習課題の工夫
 - ③ ペアや小集団、全体での対話・話し合い活動の重視
 - ④ 学習過程がわかる板書の見え易化と丁寧なノート指導
 - ⑤ 既習事項の復習時間の確保
・授業開始時や単元初めに
 - ⑥ 定着・活用問題の十分な確保
 - ⑦ 伸びを自覚できるステップタイムの工夫
 - ⑧ 授業と連動した家庭学習の工夫
・チャレンジ学習（自主学習）
・プラス15分の読書
- (2) 授業改善や学力向上を評価する検証方法
- ① 全国学調の平均比を、5年時のC調査より向上させる。
 - ② CRT検査について、全国平均比以上にする。（1月）
- (3) 教職員の指導力向上のための研修
- ① 授業力向上に向けた授業研究会
職員研修会を年5回程度開催
 - ② 一人一授業公開を実施し、授業を見合う研修会を開く。
（市学力向上アドバイザーの活用）

○互いに心を通わせ、感謝と思いやりの心を育む活動の充実

- ① 姉妹学年との交流活動の継続
- ② 保育園や西部中との交流活動
- ③ 地域にある各種施設や団体との交流活動
- ④ 児童会を中心とした「挨拶運動」や集会活動の充実
- ⑤ 年2回の人権教育月間（旬間）
- ⑥ 全校児童対象の人権講演会の開催
- ⑦ 合唱活動の日常化
- ⑧ 集団の所属感を高める学級活動の充実
- ⑨ 自然体験や栽培活動
- ⑩ 社会生活技能訓練（SST）の定期的実施
- ⑪ 道徳教育の充実（毎週金曜日1校時を全校統一道徳の時間とする）

○進んで心と体をきたえ、粘り強くやり抜く活動の継続

- ① 新体力テストの全学年実施
- ② 「輝け岡谷キッズ体力アッププログラム事業」によるコーディネーショントレーニング（低学年）
- ③ 隔週水曜日の「げんきワクワクタイム」の体力づくり
- ④ 体育の授業での継続的な体力アップトレーニング
- ⑤ 児童会を中心とする遊びの奨励、みんなで遊ぶ場の設定
- ⑥ 清掃前の黙想と無言清掃の徹底
- ⑦ 朝清掃の取り組み（6学年）
- ⑧ 小中合同による地区清掃活動
- ⑨ 保護者と連携した「早寝・早起き・朝ご飯」の推進

○地域のよさに触れ、地域に誇りが持てる活動の重視

- ① 地域の特性を生かした学習活動や地域を知る見学等の充実（岡谷市スタンダードカリキュラムによる学習）
- ② ともそだちボランティアの積極的な活用による総合的な学習の時間の充実
- ③ エコロータリークラブ支援の「自然の玉手箱」による自然体験・地域学習（年10回）
- ④ 放課後子ども教室「とちっ子ひろば」による地域の方々による各種講座（月2回程度）
- ⑤ 地域のよさや特性を知る職員研修会の開催

○「チーム川岸」を意識した協働的関わり

- ① 悩みを語り、相談に乗る温かな職員集団
- ② 「報・連・相」を大切に、のりしろ厚い
同一歩調で対応する職員集団
- ③ 切磋琢磨しながら、学び求め合う同僚性
- ④ 特別支援教育への理解を深め、特性に応じた教育の推進
- ⑤ 人権感覚を磨き、子どもを大切にする職員集団
「さん・君」呼びの徹底

<つつじが丘学園との職員連携>
 合同職員会（年2回）
 打ち合わせ会（毎月1回）
 訪問交流活動（年2回）

<西部中との職員連携>
 合同職員会の開催（1月）
 合同授業研究会の開催（年2回）
 合同健全育成大会の開催（7月）

○川岸コミュニティスクールの運営

学校運営委員会（小中合同）

- ① 安全部
- ② 健全育成部
- ③ 学校支援部

ともそだちボランティア
 ふれあいパトロール隊
 放課後子ども教室「とちっ子ひろば」
 エコロータリークラブ

平成30年度 岡谷市立神明小学校グランドデザイン

おかや子育て憲章

- 明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- 行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子どもに育てます。

岡谷市教育大綱

～子ども心の自立を支えるために 市民総参加による 子育てのまちづくり～
 ○命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。 ○自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
 ○力を合わせ人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

学校教育のスローガン「生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かな人づくり」

〔学校教育目標〕 つむぐ～「絆」「学び」「夢」～

〔学校長の願い〕

岡谷小学校と統合して新たな神明小学校がスタートして3年目を迎える。岡谷市の教育大綱を礎にして互いの学校のよさや伝統などを融合し、子どもたちが「絆」をつむぎ、「学び」をつむぎ、「夢」をつむいでいくことができる「子どもが主人公」の学校づくりを更にすすめていく。本校の子どもたちは地域に学び地域と共に育っている。地域と願いを共有しながら、地域と共にある学校づくりを更にすすめていきたい。特に本年度は、公開に向け「つむぎの時間」の教科運動を提案しつつ、あらゆる面での内部充実の年に、また職員相互で切磋琢磨し合いながら同僚性を更に高める年としたい。

〔願う子ども像〕

【絆をつむぐ子ども】

相手の側に立ち、もの・ひと・こととのかかわりを深めていく子ども

【学びをつむぐ子ども】

学んでいく一つ一つがつながり合い、自分を豊かにしていく子ども

【夢をつむぐ子ども】

自分の可能性を信じて、今を精一杯に生き、未来に向かって歩む子ども

子どもが主人公の学校

子どもが主人公…主体的に、協働的に、創造的に学んでいくことができる学校

〔本年度の重点目標・具体的方策〕

1 ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進

- 1 ふるさと岡谷を心から愛することができることのできるふるさと教育の推進
 - 本物に学ぶつむぎの時間の充実
 - ふるさと教材のカリキュラムに基づく授業実践
 - 地域の産業から学ぶキャリア教育の推進

2 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善

- 2 子どもと共に創る「わかる」「できる」「味わう」授業
 - ◇ 検証…授業・家庭学習評価を学期ごとに行い、改善状況を検証する。
 - * 評価内容がそれぞれ前回を上回る
 - * 評価内容がそれぞれ前回を上回る
 - ◇ 学力向上の柱
 - 柱1：くらしを創り、学びをつむぐ夢のある学校…子どもが夢や願いを実現するつむぎの時間の実践を基盤に
 - 柱2：子どもが主人公の学び…子どもが自分ごとの学習問題を解決していく日常の問題解決的な学習
 - 柱3：一人ひとりが主体的に取り組む家庭学習（のべトワーク、VS宿題くん等）・読書を楽しむ「家読」…家庭との連携
 - ◇ 研修：学び続ける教師…岡谷市全体講師：松本健一先生、中心講師：奈須正裕先生に学ぶ5回の研修会を柱にした授業研究
 - …「科学が好きな子どもを育てる」ソニー子ども科学教育プログラムへの参加

3 安心・安全な学校づくり

- 3 安心・安全な学校づくり
 - チーム支援・チームでの対応 “チーム神明小”
 - 職務を自覚し、心をひとつにする非違行為防止研修
 - 「いじめ根絶子ども会議」と連動した年間の取組
 - 子どもの丸ごとを受け止める生徒指導
 - 防災教育の日常化

4 インクルーシブ教育システムの構築

- 4 インクルーシブ教育システムの構築
 - 子どもの特長に応じた支援体制の構築（特支4 学級を核に）
 - 水曜日のふれあいタイム
 - ビジョントレーニング、ソーシャリスキルトレーニングの取組
 - エンバーサルデザインの充実
 - 担任と児童との個別懇談

5 「自立と共生」につながる教育活動の充実

- 5 思いやりと活気に満ちた学校生活の創造 “四つの宝物（笑顔で挨拶・清掃・友だちの呼称・響く歌声）”を更に磨いていく
 - 児童会を中心とした自主的・自律的な活動の充実…縦割り活動
 - 地域・異年齢集団との交流
 - 挨拶を交わし、あったか言葉があふれる学舎
 - 子どもにしみ入る道徳の時間と人権教育の日常化
 - 歌声と思いがハーモニーを奏でる音楽集会
 - 元気に遊び、体を鍛える
 - 気働きできる清掃

地域に根ざした特色ある学校創りの推進 コミュニティスクール「フワワープラン」を核に



【フワワープラン…主な活動内容】

- ＜スマイルサポート＞
 - 「神明っ子スエスが見守りたい」
- ＜スタディーサポート＞
 - 教科学習、つむぎの時間、クラブの講師
 - 日常的な学習支援
- ＜ライブラリーサポート＞
 - 読み聞かせボランティア
- ＜グリーンサポート＞
 - フラワーロード
 - 学校環境整備
- ＜神明っ子 はばたき ラボ＞
 - 放課後子ども居場所づくり事業

平成 30 年度 小井川小学校 グランドデザイン

岡谷子育て憲章

わたくしたちは

- ・明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- ・命を大切に感謝の心とおもいやりのある子どもを育てます。
- ・自ら求め粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- ・行動に責任を持ち独り立ちのできる子どもに育てます。
- ・力を合わせ人のために尽くし郷土を愛する子どもに育てます。

【学 校 教 育 目 標】

自ら求めてうごく子ども

具体目標

- 1 進んで学ぶ子ども
- 2 思いやりの心を持った子ども
- 3 粘り強くやり抜く子ども
- 4 健康でたくましい子ども

魅力ある岡谷の学校づくり

- ・地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
- ・ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の充実
- ・確かな学力保障と成長保障を図る授業の充実
- ・えがおで安心して学べる教育環境の整備
- ・「自立と共生」につながる教育活動の充実

【児童の様子】

- ・優しく素直一生懸命に取り組む
- ・明るくあいさつができる
- ・指示されたことが誠実にできる

【さらに育てたい力や心】

- ・自ら課題を発見し、粘り強く追究する力
- ・相手を意識して自分の思いや考えを伝える自己表現力

重点目標 ひびき合う学校

おもいやり あたたか言葉、感謝の心
いい声 いい汗 歌声 清掃 運動
かわりひろげ 良さを広げ、進んで協力
わかる喜び 自分の考えをもって
友と学び合おう

【学校を取り巻く環境】

- ・文化や伝統が息づく歴史のある地域
- ・えがおまもり隊・ラムラム広場
おいかわっ子など学校支援ボランティアや地域の方の支え
- ・学校に協力的な保護者
- ・学校を支援する行政組織

今年度のめざす児童の姿

自ら動き出す子ども：自己を見つめ、友と関わり成長する姿

全校研究テーマ

自ら課題を持ち、友に関わり合いながら確かな力をつけていく子ども

自ら学び深める授業 <知>

◇目指す子どもの姿

- ・誠実に授業に取り組む姿
- ・生き生きと取り組み、わかった喜びを実感する姿
- ・地道に家庭学習に取り組む姿

◇本年度の指導の重点 <日常授業の充実>

- ①授業改善を進めるための重点な取組
 - ・明確な課題設定 授業が良くなる3観点
 - ・国語力を伸ばす（話しを聞く、読解力、語彙力）
授業展開と授業形態（少人数学習）
 - ・学習習慣の形成：家庭学習の充実
- ②児童につける力が身についたかどうかを評価するための検証方法
 - ・PDCA 学力向上事業、全国学力状況調査等の活用
 - ・教職員、児童、保護者による授業評価
- ③教職員の指導力向上に向けた校内外研修
教材研究 ミニ研修会 授業公開
校外から指導者を招いての研修

- ◆自ら課題を発見し、粘り強く追究し、自らの考えを伝え合える子ども
- ◆お互いの良さを認め合い、お互いを気づかうことができる子ども
- ◆自分の体や心を見つめ、友とともに健全な生活を送ろうとする子ども

豊かな体験活動を生かした教育 <徳>

◇目指す子どもの姿

- ・明るくあいさつができる姿
- ・関わり合いを通じてお互いの良さを認め合える姿
- ・相手を思いやる心 あたたかい言葉づかい
- ・友と協力して活動する良さを体験から学ぶ姿
- ・役割を誠実にこなす姿

◇本年度の指導の重点

<思いやりの心と自己有用感の育成>

- ・道徳・人権教育・無言清掃
- ・児童主体の特別活動 児童会 学年学級活動
- ・自主性を柱に据えた総合的な学習の時間

児童会 スロ-ガン

全校のみんなが行きたくなる学校をつくろう。

健全な生活と体づくり<体>

◇目指す子どもの姿

- ・規則正しい生活習慣の定着
早寝・早起き・朝ご飯
- ・気持ちよい挨拶ができる
- ・清掃に真剣に取り組める
- ・様々な運動にたのしむ姿
- ・技能の習得に励む姿
- ・友と励まし協力する姿

◇本年度の指導の重点

<健全な身体育成>

- ・しなやかな体、しっかりとした体幹
- ・きまりよい学校生活
- ・健康教育、食育 各種健康診断
- ・各種体育的行事
- ・子どもたちの安全対策
- ・マナーを守ってメディアの使用ができる

学校自己評価の重点

開かれた学校

- ・安心して生活できる場となる学校
- ・楽しいと感じられる学校
- ・授業参観やPTA活動との連携を通じて、教育活動への理解と参画意識の醸成
- ・各種通信等を通じて教育方針、活動の報告
- ・地域、家庭との連携

日常授業の充実

- ・楽しくわかりやすい授業
- ・授業で、考え判断し表現できる場の設定
- ・言語活動の充実
- ・3観点を意識した見届けのある授業
- ・親身な学習相談
- ・授業内容の定着につながる家庭学習
- ・児童理解に根ざした指導（特別支援教育）

思いやりの心の育成

- ・認め合い、高め合える仲間づくり
- ・自分の役割がある
- ・道徳、学級活動を通じて自己有用感、思いやりの心の育成
- ・特別活動、総合的な学習を通じて、自主性の伸長
- ・活動を通じて自分を見つめる目を養う
- ・気働き清掃

健全な生活と体の育成

- ・時間を守り、きまりよい生活が送れている
- ・清掃に真剣に取り組める
- ・あいさつがきちんとできる
- ・正しい姿勢がとれる
- ・さまざまな運動に楽しく取り組める。
- ・好き嫌いをなく給食を食べる。
- ・マナーを守ってメディアの使用ができる

家庭へのお願い

<きまりよい生活>

- ・早寝・早起き・朝ご飯
- ・挨拶、礼儀、時間を守る
- ・履き物を揃える
- ・ノーテレビデー

<継続した家庭学習>

- ・家庭学習をする習慣づくり

<正しい判断と行動の育成>

- ・良いことはほめ、悪いことは叱る
- ・過保護にならず児童の主体性を伸ばす
- ・家事や仕事の手伝い
- ・親子の団らん いたわり
- ・マナーを守ったメディアの使用

平成30年度 岡谷市立岡谷田中小学校 グランドデザイン



岡谷市子育て憲章（岡谷市のめざす子ども像）

- ・明るく、元気で、健やかな子ども
- ・命を大切に、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、ねばり強くやり抜く子ども
- ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子ども
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子ども

岡谷市教育大綱

【自立し、共生し創造性溢れる『岡谷のひと』づくり】

誰にでも進んで挨拶し、思いやりをもって人とのかかわる子ども

よく聴き、考え、判断し、それを表現できる子ども

困難を乗り越え、心身共に健康な粘り強い子ども

家庭では（PTA）

- ・あいさつの日常化
おはよう日における家庭間の連携
- ・家庭における全人的教育

- ・家族内の対話UP
- ・学校と連携した家庭学習
（学習の手引きの活用）

- ・早寝、早起き、朝ごはん推進
- ・日々の健康管理
- ・おはよう日における安全指導

重点目標1

【やさしい子】互いの気持ちをわかり合おう！ 湊を好きになろう！

- ①心をつなぐ挨拶
- ②地域を思うふさと学習
- ③思いやりを育む異学年交流
- ④様々な立場を認め合う教育活動

具体目標：一人ひとりの子どもが『学校が楽しい』と考える、居心地の良い学校！

- ①児童会を中心にしたり呼びかけ。児童会企画。
- ②地域素材を生かした体験的交流活動及び創造的な授業作り。
- ③縦割り班活動の充実。児童会による企画。
- ④児童会とタイアップした思い合い週間との交流の日常化。

来入居・中学校（OEE）交流。道徳教育の充実。外国語活動の充実。
※教師の力量を高める研修 … 児童理解。（QU等）いじめ・不登校についての理解。

重点目標2

【かしこい子】対話により学びあいを深めよう！ 基礎学力を定着させよう！

- ①対話による学びあい
- ②基礎基本の定着をはかるドリル学習
- ③自主的な家庭学習

具体目標：学テ・CRTで全国比（102）の学力が身につく！

- ①友との対話が生まれる授業の日常化。子ども主体の授業の日常化。
（話す力・聞く力・考える力・活用する力）
- 生活科・総合的な学習を充実させ「対話」についての見識を深める。
- ②チャレンジタイムの活用。日々の家庭学習の充実。
- ③学習の手引きの活用。自分の課題を持った自主学習の推進。

※個に応じた支援の工夫 … 授業のユニバーサルデザイン化。補充の個別支援。
※教師の力量を高める研修 … 授業改善。（相互授業参観）ドリル学習の共有。家庭学習指導。

重点目標3

【たくましい子】自分の心や体を鍛えよう！ 自分の心や体のことを知ろう！

- ①体力づくり
- ②健康安全の推進
- ③リコーダー活動

具体目標：マラソン大会で前年度記録更新80%！

- ①マラソンカードによる日々の練習の啓発。
- 具体目標：自分の健康に関心をもち、管理のできる！
- ①保健学習・指導。②自校給食を活かした食育。③命の大切さを知る学習。
- 具体目標：「技能」「努力」「受け継ぐ心」が育つリコーダー！
- ①日々の練習。リコーダー講習会。②地域への発信。③まとめの会。

湊コミュニティスクール

… 地域で学ぶ良さを実感し、地域を元気にする学校。（貢献しようとするひとづくり）

◎ 教育活動全体で地域のよさや課題を共有し、子どもと大人が一体となって湊をよりよくしようとするひとづくり。

平成30年度 湊小学校グランドデザイン

学校教育目標

岡谷市立湊小学校

やさしい子 かしこい子 たくましい子

めざす子どもの姿

～地域全体でめざす子どもの姿～
湊地域のよさを知り、将来にわたって地域のために貢献しようとする子ども
そして、将来「豪雨災害を忘れない」「春四之柱」を30年後も湊地域で曳いていく大人

地域では

- ・湊小運営委員会と連携し、あいさつの地域拡大（ハイタッチ）
- ・ボランティア、地域の人材、関係団体の異学年交流の推進（あそぼう日）

- ・大人との対話
- ・子ども主体の地域行事
- ・関係団体

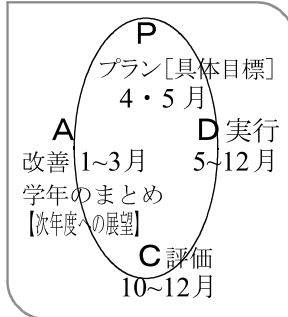
- ・体力アッププログラム
- ・おはよう日における安全指導



学校長のねがい

- ◎行きも帰りも笑顔
・あかるく
・なかよく
・元気よく
・自分らしく輝こう！

[学校評価]



学校教育目標

自己を見つめよく考え、自分の力で生きていく子ども

<具体目標>

- 1 よく考えやりぬく子ども
- 2 仲よくみんなのためにつくす子ども
- 3 いつも明るくじょうぶな子ども
- 4 美しいものに感動し、あこがれをもつ子ども

岡谷市教育大綱

自立し、共生し、
創造性あふれる
『岡谷のひと』づくり

岡谷子育て憲章

- ・明るく元気で健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と思いやりある子ども
- ・自ら求め粘り強くやりぬく子ども
- ・行動に責任をもち、一人立ちできる子ども
- ・力を合わせ人にために尽くし郷土を愛する子ども

長地小の合い言葉

けんこうで・あいさつ・おしごと・おべんきょう

一人ひとりが輝く、日本一のおさっちゃん

「明るい笑顔、日本一のOSAT」↓

児童会スローガン O:大きな声で S:進んで A:あいさつ
T:ともだち思いの I:いい学校」の実行

～今年の重点～

学びの力・表(あらわ)す力 = 実感 =

けんこうで

進んで心とからだ
をきたえる子

- 食育の推進
 - ・食事と健康・文化
 - ・マナー・社会性
- 保健指導
 - ・視力低下肥満防止
- けが・病気の予防
 - ・安全、生活と健康
- 体力づくり
 - ・体育学習の充実
 - ・体育的行事
 - ・休み時間の活用
- 困難を乗り越える心
 - ・励ましと賞賛

あいさつ

あかるくあいさつ
思いやりのある子

- だれにもあいさつ
 - ・いつでもどこでも誰にでも
- 返事・聞く・話す
 - ・はざれ良く「ハイッ」
 - ・姿勢、視線
 - ・相手意識
- 言葉
 - ・場に応じた言葉
 - ・「～さんくん」
- 思いやり
 - ・優しさ、感謝、礼儀

おしごと

自分を高め
みんなに役たつ子

- 教室で
 - ・当番活動
 - ・係り活動
- 児童会・行事で
 - ・はたらく楽しさ
 - ・ペア・相手意識
 - ・協調・協働
- 無言清掃
 - ・黙想の時間：掃除のめあてをもつ
 - ・だまって、気づいて、時間いっぱい
- 奉仕の心

おべんきょう

楽しく、とことん学ぶ子
みんなで学ぶ子

- 基礎学力の定着
 - ・ねらい、メリハリ、見届け
 - ・朝読書の充実
 - ・グングンタイムの活用
 - ・ノート名人
- 生活科・手作り（総合的な学習の時間）の充実
 - ・地域素材の教材化
 - ・岡谷スタンダードカリキュラム
 - ・人・もの・ことの出会いを大切に。
- 言語・表現活動の充実
 - ・5K（聴く・感じる・考える・書く・語る）の充実
 - ・歌、絵、立体等で表す

○開かれた学級づくり

- ・行きも帰りも笑顔
- ・豊かな人間関係の構築

新学習指導要領への対応

- 主体的、対話的、深い学び
- 日課の工夫:水曜 6 時間
- 道徳科の実践・評価
- 英語、英語活動の実践
- 新しい教科書、教育課程
- 学年会の充実

職員の研究・研修・授業改善を進めるための重点的な取組

社会科部会	英語部会	算数部会	特別支援教育部会
・社会的な見方、考え方を働かせた学びの推進 ・地域素材の開発	・3・4 年(含 1・2 年)の英語活動実施に向けて教材開発 ・5・6 年生の英語の実践と評価	・学びを実感できる授業研究 ・CRT 結果を活かした授業力向上、家庭学習の工夫 ・グングンタイムの推進 ・1点アップへの執着	・どの子にもわかる授業づくり ・ユニバーサルデザイン ・教材教具の工夫 ・チーム支援の充実 ・特支学級の理解や交流
・子どもと向き合う時間の確保、業務改善と時間外勤務の縮減 ・非違行為防止研修の充実、スクールセクハラ対策(保健室)			

家庭教育・PTA

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・家庭学習(読書)の充実
 - 時間、内容、丁寧に、親子読書
- ・「おさっちゃん育て 10 カ条」の実行
- ・PTA 諸活動の協力、連携
- ・郊外生活の規範意識、交通安全

幼保小・中学校との連携(OEE)

- ・保育園、幼稚園交流
- ・来入児検査、1 日入学
- ・年 4 回の中学校との連携(OEE)
- ・いじめ根絶子ども会議

長地コミュニティースクール

- の充実・発展
- <地域との連携・協力>
 - ・学習諸活動の支援
 - ・おさっちゃん(放課後子ども教室)の充実
 - ・「長地会」からの支援
 - ・おひさまファームの方々等



平成30年度 岡谷市立上の原小学校グランドデザイン

H30. 4. 1

学校目標

上の原の教師として

- ・子ども一人ひとりに温かく関わる (共感)
- ・子ども一人ひとりの力を引き出す (共鳴)
- ・子どもと共に活動を創り出す (共創)
- ・一人ひとりの児童へのチーム支援 (共有)

誠なる子 明なる子 健なる子
～ 郷土を愛し、心豊かでたくましい子ども～

学校をふるさとに → ふるさとを学校に

自立し、共生し、創造性溢れる
「岡谷のひと」づくり
生き抜く力と創造力、知的的好奇
心溢れる心豊かな人づくり

みんななかよし

- ・さんをつけて互いの名前を呼べる子ども
- ・明るく元気な挨拶、返事を交わせる子ども
- ・あったか言葉を使える子ども
- ・学級、学年をこえて仲良しの子ども

しっかり勉強

- ・自らの考えをまとも話す力の育成
- ・理科実験を大事にした知的好奇心の育成
- ・自らの考えを書き出す力の育成
- ・地域を知り学ぶ力の育成

心も体もすこやかに

- ・歌声の響く、クラス・学校を作る取組み
- ・思いや願いを伝え合う「伝えようタイム」の取組み
- ・掃除や作業への真面目な取組み
- ・自らの体力を向上させる取組み

互いを守り合い育て合うかけがえのない「命」と捉え 自分を他者(ひと)を輝かせて生きる
自ら考え・求め続け・支え合う子どもの育成

全校研究テーマ 子どもと教師が織りなす「できた・わかった・楽しかった」の学び

↓ 具体的支援

- ①子どもたちの心に寄り添い、共感し、一人ひとりが自らの力で成長していけるよう関わる。
 - 積極的に子どもとふれあう(遊ぶ)教師
 - 子どもたちの理解を深める教師
 - 少しいの変化や成長の姿を認める教師
- ②子ども達が安心して生活できる温かな学校・学年・学級づくりをすすめる。
 - 学級活動、道徳教育、人権教育の充実から、「思いやる温かく豊かな心の育成」
 - 生活や学習のルールを共有し高め合う学級集団づくり
 - Q-U (アセス) を活かした学級集団づくり
 - 温かい人間関係で結ばれた仲間づくり
 - 情報モラル教育の徹底

↑ 教師の資質向上

- ①子ども主体の授業をめざし、基礎力を身につける
 - 学ぶこと、学んだことがわかる1時間の授業
 - 授業をもっとよくする3観点(ねらい・めり・見とどけ)を意識し、1時間の学びが実感できる学習。
 - 「うえのはらベネシック」の実践・検証を柱に授業改善を進める

うえのはらベネシック：願いや意欲が生まれる導入→必然性のある追究・学び合いの場の保障→達成感を感じ取る見返し

- 家庭学習の充実(定着と内容の吟味)
- 一人一人に寄り添う、インクルーシブ教育
- ・多様な学びの場を提供できる支援
- ・SSSTの日常的取組

- ②題材の価値を明確にした「扇平の時間」

- ①望ましい生活リズムづくりを家庭と連携して進める。
- ②子どもたちの興味関心を大切にし、目的をもった活動を通して、運動好きな児童の育成や体力づくりに取り組む。
- ③心を育てる道徳教育
 - 一人一人の可能性の芽を育む「道徳の時間」
 - ・自らを見つめる道徳の時間
 - 落ちついた学校生活のスタートとしての朝読書。
 - 岡谷スタンダードカリキュラムの効果的活用
 - ・題材の価値と学ぶ見通しを持った取組み
 - 地域を知り地域への愛着を高める活動
 - ふれあい隊、里山の会、洗心荘等との交流から学ぶ学習
 - 放課後居場所づくり「うえのはらっば」との連携・協力

↑ 家庭の協力・地域からの支援

平成30年度 岡谷西部中学校グランドデザイン

学校長の願い

一人一人が「明日もまた学校へ来たい」と思える学校

目指す学校像

- ・生徒の能力を引き出し、伸ばせる学校
- ・保護者地域から信頼される学校
- ・安心・安全への配慮を怠らない学校
- ・教師の力量が高められる学校

歌声が響く学校

学校教育目標

自立を育み **共生**に生きる

自立

夢・ねがい・問いをもち、それに向かって粘り強く追究する姿をめざす

共生

個の思いを仲間との関わり合いでより一層ふくらめて新しい見方、考え方の獲得をめざす

岡谷子育て憲章

- ・明るく元気で、健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子
- ・自ら求め、粘り強くやり抜く子
- ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子

重点

学力の向上

人権意識の向上

自主性の向上

学力向上推進プラン

テーマ：子どもの声が響く授業

—できる・わかる 喜びある 授業作り—

I 現状の把握と課題の共有化から

- ①各種テスト、検査の実施による課題の把握と改善策の実施
(全国学力状況調査・NRT、Q-U検査)
- ②家庭・小学校・中学校の連携により課題の改善策の提案(対話的な学びある授業)
- ③生徒と先生方が課題を共有化、そして生徒が主体的に動く意識づくり

II 授業改善から

- ①教科会充実
 - ・同僚性を高める日常的な相互参観授業[教科内・外]
 - ・家庭学習の見直し[主体的(自主課題)・授業の復習、見直し]と評価
- ②授業改善
 - ・授業(教室環境)のユニバーサルデザイン化
 - ・生徒の心が響く授業作り「人」「こと」「もの」とじっくり向き合い、見て、聞いて、話す活動の充実
 - ・授業規律の定着
 - ・「ねらい」の明確化と「見とどけ」の充実
 - ・疑問・問いを大切にした単元・授業構想

III 主体的な学びから

- ① 補充学習の実施
 - ・学習意欲が高まるドリルの実施と学力の向上を実感できる評価方法の検討
- ②家庭学習の充実
 - ・西部中学校充実の学習5ヶ条の定着
 - ・家庭学習の支援と評価(主体的な授業の復習)

I 安心して学べる集団づくり

- ①落ち着いて授業に取り組める環境作り。
→授業のユニバーサルデザイン化
- ②お互いの違いを認め、思いやりの心を育む。
→仲間との認め合い活動
- ③一人一人が活躍できる場を設定し、物事を肯定的にとらえ、自己肯定感を高める。
→学校生活における自己評価、他者評価

II 心を育む道徳

- 多様な価値観を認め合いながら、道徳心を培い、自分も他者も大切にする心を育む。
- ①共に考え、議論する授業作り。
 - ②心をゆさぶる題材の選定と、授業改善。

III 心を磨く人権教育

- 自分の心と向き合うことを土台にして、様々な人権感覚を磨き、身近な人権問題を解決する力をつけるための年間を通した人権教育。
- ①いじめ根絶子ども会議の活動をもとに、生徒自らが人権意識を高める活動を設定する。
 - ②人権旬間の実施。

I 平成30年度学友会スローガン

『心-思いを一つに新たな西中へ』達成に向けて「3つ」を重視

- ①一人一人を大切に、思いやりの心を育てる人権活動
- ②西中をよりよくするための各委員会の新たな試み
- ③生徒一人一人が活躍する学友会を目指した学級・学年学友会の活性化

II 心を育てる活動

- ①一人一人を大切に、思いやりの心を大切にする人権活動
- ②西中の伝統、清掃三本柱「身支度」「無言」「時間いっぱい」の「時間いっぱい」に焦点を当てた、「気づく目」「感じる心」を養う清掃

III 探究する力を育てる「2つ」の総合的な学習の時間

- ① 生徒一人一人が自ら問い、課題を持ち、探求的に学びを深める授業展開
- ② 学年ごとの課題を設け追究を進める「探究の時間」と岡谷の「人」「もの」「こと」に出会い追究を進める「探究の時間(講座別)」

歌声が響く学校

こんな良さをを持った生徒たちが

- ・素直になれる
- ・やさしい
- ・人なつこい
- ・思いやりがある
- ・授業で真面目
- ・落ちついて授業ができる
- ・提出物をしっかりやる
- ・チャイム着席ができる
- ・誠実
- ・明るい
- ・行動面
- ・性格面
- ・給食をよく食べる
- ・協力を大切にしている
- ・元気が良い
- ・整然と整列できる
- ・周りに気を配れる
- ・気持ち良く挨拶できる
- ・誰とでも仲良くできる
- ・礼儀正しい

さらにこんな姿を引き出そう

- ・自分に自信を持とう
- ・周りの人に優しくしよう
- ・物事に積極的になるよう
- ・気持ちを強く持とう
- ・向上心を持とう
- ・間違いを恐れないように
- ・学習習慣を身につけよう
- ・基礎基本を大切にしよう
- ・指示される前に動こう
- ・姿勢を良くしよう
- ・目を見て話そう
- ・忘れ物をなくそう
- ・社交性を身につけよう
- ・視野を広く持とう
- ・表現力を豊かにしよう
- ・関係づくりを大切に

地域との連携

- ・地域にある組織との連携
区長会 民生児童委員 各種ボランティア
- ・地域にある素材を利用し積極的に教材化を図る

小学校との連携

- ・川岸コミュニティスクールの運営
学校運営委員会(小中合同)
- ・川岸小との職員連携
合同職員会の開催(1月) 合同健全育成大会の開催(7月)
合同授業研究会の開催(年2回)

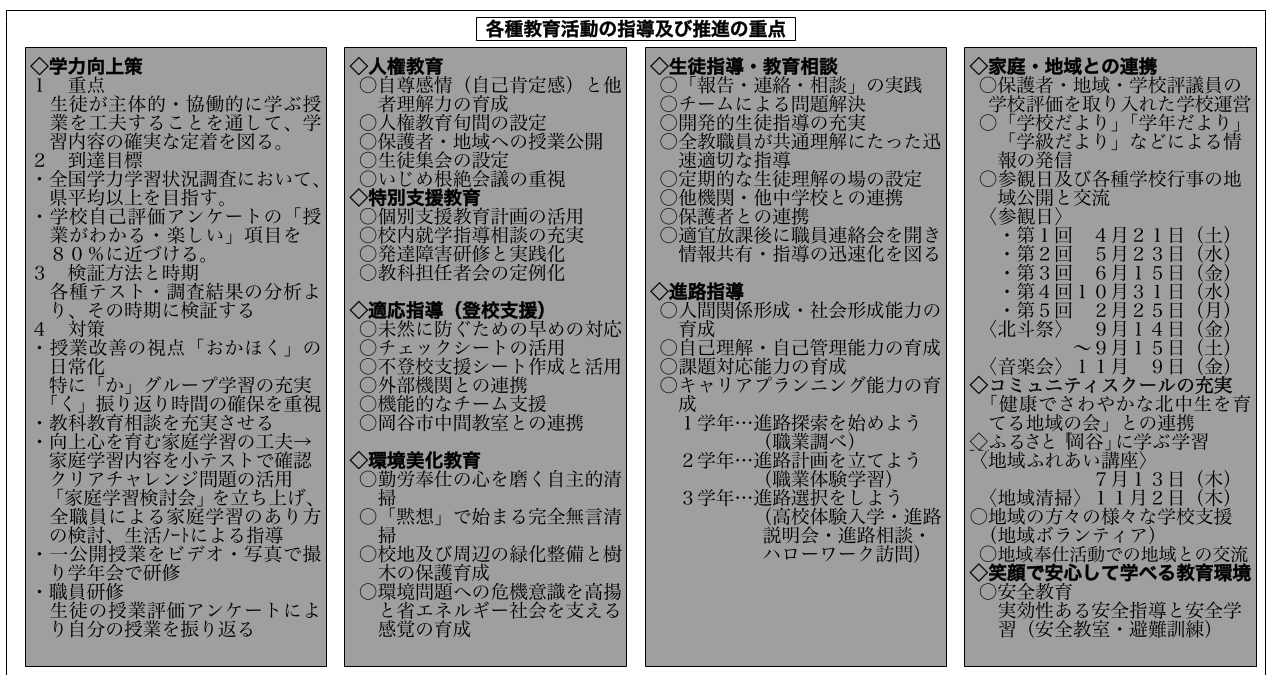
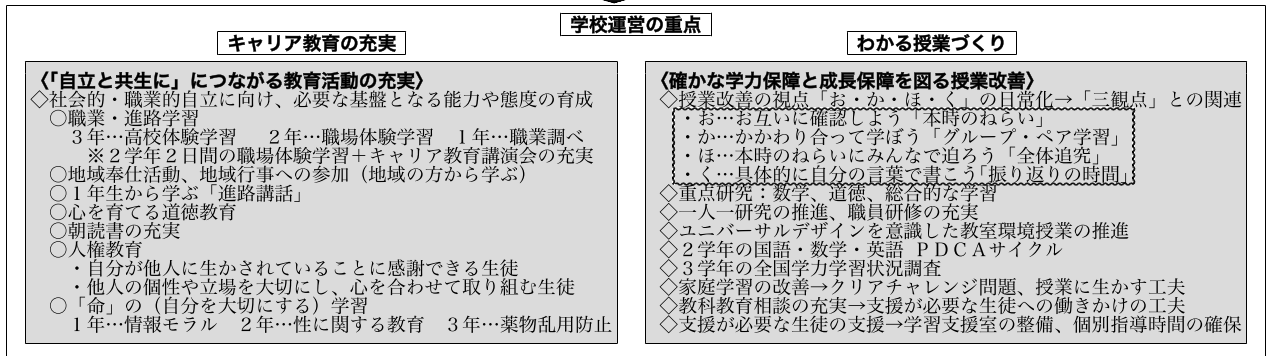
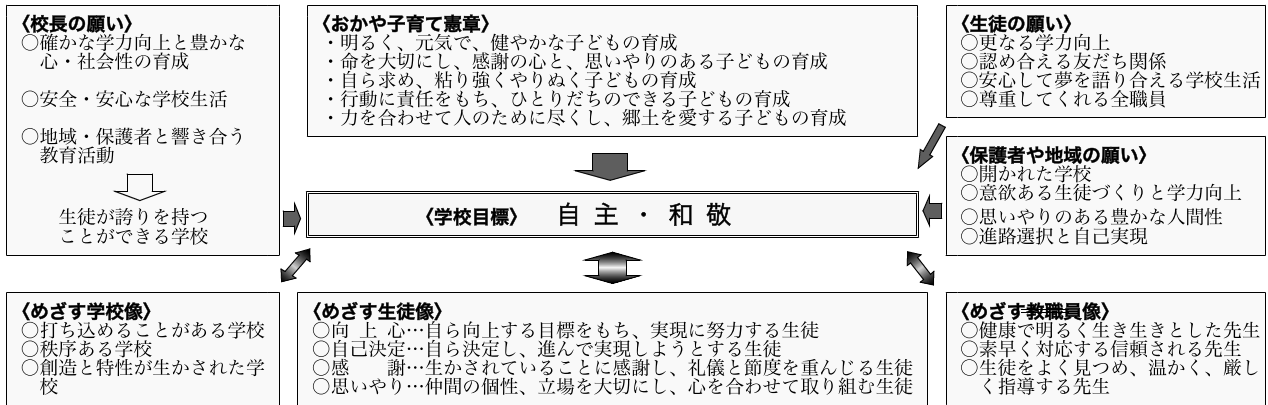
家庭との連携

- ・たよりを通して
- ・PTA活動の充実

外部機関との連携

- ・市子ども総合相談センター
- ・医療機関・SSW等

平成30年度 岡谷市立岡谷北部中学校グランドデザイン



平成30年度 岡谷南部中学校 学校教育目標を具現化するためのグランドデザイン

学校教育目標 ひとりひとりが誠実を貫く

めざす生徒の
具体像

- 主体的で対話的な学びのなかで、自分の言葉で語れる生徒
- 自分の心と語りながら他と関わり、自己を高めていく生徒
- 自分の姿を通して、地域とつながり、ふるさと岡谷を愛する生徒

望む教師の
具体像

- 自己課題を明確にし、授業改善に取り組みながら、学び続けていく教師
- 生徒のよさを認め励ます、生徒の心に寄り添う豊かな教育力を持った教師
- 地域と願いを共有しながら、地域と一体となって教育課題に取り組む教師

今年度めざす生徒像 自分を語れる人になる

Key Word

すべての根幹は授業

魅力ある授業、わかる授業、
力のつく授業をめざします

①授業のユニバーサルデザイン化

- ・すべての生徒に「学びに向かう力」を育てる
- ・「授業がもっとよくなる3観点」の質的向上

②協働的に学ぶ学習指導の工夫

- ・小グループでの学び合いの場の設定
- ・ホワイトボードなど対話のためのツール活用

③自ら学ぶ姿勢を育成する

家庭学習のあり方検討

Key Word

地域とつながる

生徒の姿を地域に発信し、
地域とともに生徒を育てます

①地域とつながる

コミュニティスクールの活性化

- ・地域の方と触れあい、人と関わる力や
社会で生きる力を高める
- ・地域と学校との Win-Win の関係づくり
- ・「岡谷子ども未来塾」との連携

②「3つの姿」を意識した生徒会活動の充実

岡谷南部中学校
伝統の姿

- あいさつをする姿
- 歌声を響かせる姿
- 清掃に取り組む姿

『誠実』とは『自分の姿』を通して
『貫く』ことができる

自分の言葉
で語れる

自分の心
と語れる

自分の姿
で語れる

Key Word

自己肯定感を育む

認め合い、支え合うことができる
集団作りをめざします

①すべての生徒への居場所づくり

- ・「チームとしての学校」相談支援体制の構築
- ・中間教室・相談室・外部機関との連携
- ・生徒主体の「いじめ根絶運動」

②特別支援教育の充実 ～確かな生徒理解～

- ・困った生徒はいない 困っている生徒
- ・インクルーシブ教育システムの構築

③道徳教育の充実 ～自分の心と語る～

- ・「考え、議論する」ことで、生き方を学ぶ

岡谷市教育委員会 学校教育 5つの重点

- 1 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
- 2 ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進
- 3 笑顔で安心して学べる教育環境の整備
- 4 確かな学力保障と成長保障を図る授業改善
- 5 自立と共生につながる教育活動の充実

地域の願い

- ・ふるさと岡谷を愛し、やがて岡谷を支える大人へと成長してほしい。
- ・夢や目標をもって、明るく元気にたくましく生きてほしい。
- ・学力を確実に身につけ、進路希望の実現をめざしてほしい。

平成30年度 岡谷東部中学校グランドデザイン
 岡谷市教育大綱 「自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり」

学校教育目標

未来を拓き、共に自立する生徒

未来を拓く生徒

自分の将来像を思い描き、その実現のために、今何をすべきか考え実践できる生徒

共に育つ生徒

自分も相手も、互いに怨（思いやり）の心）を実践し、「阿留辺幾夜宇和（あるべきようわ）」の探求を通し、共に育つ生徒

自立する生徒

正しい判断力のもと、自らの自覚と責任において行動し、自立できる生徒

平成30年度 学校経営の重点 ～ 未来を拓く 新たな一歩 ～
 学校創立60周年を受け、61年目の新たな一歩を刻み、共に未来を拓く
 「温かな人間関係でつながり、未来を拓く力を育む学校」

今年度の重点目標

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| (1) つなぐキャリア教育 | 地域と連携し、3年間の積み上げを大切にしたキャリア教育の推進 |
| (2) 学力の向上 | 考える力を伸ばし、プランニングの力を培う学習指導への改善 |
| (3) 清掃・挨拶の充実 | 自己肯定感と相手意識を育み、学校環境を整える清掃・挨拶活動 |

教育活動の評価の視点として教師・生徒・保護者・地域で共通理解

- ・ねらいの明確化と確実な見届け
- ・伝え合う力を伸ばすグループ学習やペア学習
- ・チャイムスタートとチャイムエンドの徹底
- ・計画性をもって取り組む家庭学習やドリル学習の実施
- ・指導力向上を目指す「新星の会」の研修充実

- ・小学校との連携強化による中1ギャップの軽減
- ・SC、心の相談員や関係諸機関との密接な連携
- ・保護者・本人との連絡・相談の継続
- ・不登校・不応適生徒への個別指導体制（個に応じた相談室・学習室・カウンセリング・中間教室等の活用）

- ・自己を見つめ、生き方を考える道徳の実践
- ・ユニバーサルデザインを大切にしたい特別支援教育
- ・岡谷市いじめ根絶子ども会議と連携した人権尊重委員会による人権に関する啓発活動
- ・人権アンケート等によるいじめや問題行動の早期発見と早期対応

- ・60周年の活動を受け継ぎながら主体的に取り組む生徒会活動
- ・清掃、挨拶を向上させる委員会活動の工夫と連携
- ・縦の人間関係を築く力を培う生徒会活動と部活動
- ・「スポーツ文化活動運営委員会」を中心に地域力を活用した部活動の推進

- ・地域とつながったキャリア教育の展開
- ・キャリア教育に関する活動発表（東中祭、参観日等）
- ・地域の題材・人材を活用した総合的な学習の実施
- ・地域とともに進める防災訓練
- ・生徒の活動の成果を地域へ積極的に発信（学校だより、学年だより等）

重点10項目の励行による、学校生活の素地づくり

- | | | | | | |
|-----------|---------|--------|------------|-------|-----|
| ①清掃 | ②挨拶 | ③合唱 | ④黙想 | ⑤時間厳守 | ⑥読書 |
| ⑦下駄箱昇降口整頓 | ⑧服装・身なり | ⑨無言入退場 | ⑩資源回収・ゴミ拾い | | |

学力の着実な向上

不登校・不応適生徒への自立支援

伝え合い支え合う学級集団づくり

生徒会活動・部活動の更なる充実

保護者・地域に開かれた学校

学力

○友達と関わり合って考えを深めるよさを感じる生徒
 ※考える力、計画し実践する力の向上

不登校・不応適

○自己肯定感の高まり、やり抜く経験の増加
 ※閉じた人間関係・孤立傾向の改善

学級集団づくり

○相手のことを考えて行動できる生徒の増加
 ※潜在化しつつあるいじめの防止

生徒会・部活動

○主体的に考え、活動する生徒 意欲的な運動系部活動
 ※全ての会員や部員による主体的活動

地域での姿

○地域で活躍する文化系部活動 地域行事参加者の増加
 ※地域行事への積極的参加の拡大

学校自己評価・関係者評価等で検証・フィードバック

生徒のよさと課題

⑪ 学校給食実施状況

(平成30年5月1日現在)

	給食人員		給食施設 (㎡)							計	給食設備										給食開始 年月日	備 考	
	児童・生徒数	職員数	調理室	倉庫	戸棚	控室	パン・牛乳置場	通路その他	消毒保管庫		食器洗浄機	野菜裁断機	球根皮剥機	高速ミキサー	冷蔵蔵庫	冷凍庫	牛乳保冷库	給湯設備	ガス回転釜	焼物機			
小 学 校	岸 明	360	38	398	150.0	16.0	19.0	12.0	15.0	127.0	339	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.4～	
	神 明	425	42	467	105.9	8.5	16.5	11.4	7.1	67.6	217	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.42.4～	
	小井川	323	36	359	72.6	7.8	3.8	9.4	4.0	49.4	147	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.4～	
	岡谷田中	391	36	427	95.6	8.0	7.5	12.0	6.4	72.5	202	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.2～	
	湊	112	22	134	60.8	8.1	6.5	4.9	1.7	11.0	93	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.4～	
校	長 地	637	48	685	155.2	15.4	20.0	11.8	18.3	63.3	284	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.11～	
	上の原	242	26	268	88.8	11.5	7.1	13.8	3.8	55.0	180	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.48.4～	
中 学 校	西 部	207	30	237	139.4	9.4	10.2	16.1	5.4	149.5	330	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.33.7～	
	北 部	309	36	345	116.1	13.0	15.3	14.8	11.2	85.6	256	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.22.12～	
	南 部	240	33	273	119.4	11.7	7.5	18.6	3.4	79.4	240	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.36.4～	
	東 部	467	48	515	115.2	12.9	18.1	18.7	2.0	55.1	222	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.11～	
計		3,713	395	4,108	1219.0	122.3	131.5	143.5	78.3	815.4	2,510												

◎給食費 () は一食分の単価

※給食日数が各校違うため、平均値を掲載

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
小学校 (完全給食)	月額4,398.8円 (255)	月額4,390.8円 (255)	月額4,356.3円 (255)	月額4,754.1円 (280)	月額4757.1円 (280)	月額4760.0円 (280)
中学校 (完全給食)	月額4,966.2円 (290)	月額4,930.0円 (290)	月額4,899.8円 (290)	月額5,366.8円 (320)	月額5420.0円 (320)	月額5453.3円 (320)
	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校 (完全給食)	月額4,774.6円 (280)	月額4,768.8円 (280)	月額4,869.6円 (290)	月額4,888.6円 (290)	月額4864.4円 (290)	月額4861.0円 (290)
中学校 (完全給食)	月額5,493.3円 (320)	月額5,473.3円 (320)	月額5,561.9円 (330)	月額5,500.0円 (330)	月額5493.1円 (330)	月額5534.4円 (330)

◎米飯給食

S52.4.11～週1回開始	S55.10.1～週2回開始	H3.4.1～週2.5回開始	H14.4.1～週2.75回開始
H24.4.1～週3回開始			

⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

平成30年4月1日現在

	総合管理医・保健管理医 (内科医)	内 科・外 科	耳鼻咽喉科	眼 科	歯 科		薬剤師
川岸小	薩摩林恭子 (H18. 4. 1)	木下真理子 (H26. 9. 1)	梅垣 油里 (H7. 4. 1)	春山 洋 (H25. 4. 1)	大滝 祐吉 (S61. 4. 1)	百瀬 恵治 (H28. 4. 1)	高市 成子 (S63. 4. 1)
神明小	今井 清泰 (H14. 4. 1)	今村 均 (H25. 4. 1)	梅垣 油里 (H10. 4. 1)	春山 洋 (H16. 4. 1)	笠原 恒久 (H6. 4. 1)	三井 義久 (S58. 4. 1)	林 力廣 (S57. 11. 1)
小井川小	小野 博正 (H16. 4. 1)	朱 尚孝 (H24. 4. 1)	小口 直彦 (H11. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	名和 孝行 (H25. 4. 1)	笠原 初雄 (S58. 4. 1)	小口 裕史 (S62. 4. 1)
岡谷田中小	向山 茂雄 (H28. 4. 1)	今井 智彦 (H27. 9. 1)	梅垣 油里 (H10. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	前川 雅美 (S58. 4. 1)	林 三雄 (H28. 4. 1)	高橋 克典 (H20. 4. 1)
湊小	花岡 宏 (S39. 4. 1)		小口 直彦 (H18. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	藤岡 泰正 (S59. 4. 1)		岡村 淳也 (H28. 4. 1)
長地小	林 晋一郎 (H17. 4. 1)	小野 正博 (H29. 4. 1)	梅垣 油里 (H20. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	太田 宅哉 (H27. 4. 1)	牛山 尚也 (S6. 4. 1)	御子柴美智子 (H23. 4. 1)
上の原小	牛山 千冬 (H23. 4. 1)	米山 大 (H23. 4. 1)	小口 直彦 (H20. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	早出 啓子 (H23. 4. 1)	林 潤太郎 (H16. 4. 1)	池波 寛 (H18. 4. 1)
西部中	酒井 宏 (H19. 4. 1)	米山 大 (H27. 4. 1)	小口 直彦 (H19. 4. 1)	春山 洋 (H25. 4. 1)	藤森 恒美 (H6. 4. 1)	浦野 順 (H11. 4. 1)	横内 功晴 (H25. 6. 1)
北部中	稲村いづみ (H6. 4. 1)	片倉 智 (H18. 4. 1)	小口 直彦 (H18. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	小口 久雄 (S58. 4. 1)	小口 順司 (H18. 4. 1)	花岡 孝次 (S54. 4. 1)
南部中	笠原 忠夫 (H58. 4. 1)	平林 直人 (H59. 2. 1)	梅垣 油里 (H7. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	宮坂 伸 (S57. 4. 1)	山田 元彦 (S58. 4. 1)	丸田 哲 (H24. 4. 1)
東部中	山崎 正彦 (H8. 4. 1)	濱 弘毅 (H18. 12. 1)	小口 直彦 (H19. 4. 1)	林 秀行 (H27. 4. 1)	太田 宅哉 (H2. 4. 1)	林 隆広 (S58. 4. 1)	井上 君子 (H21. 4. 1)

※括弧内は委嘱年月日

○ 岡谷市医師会

岡谷市中央町2-5-22

22-3870

○ 岡谷下諏訪歯科医師会

岡谷市幸町4-10

23-8320

(3) 学校施設

① 学校建物保有面積

(平成30年5月1日現在)

区 分 学校名		建 物 保 有 面 積							
		校舎等				屋内運動場			
		木造	非木造	計	一人当り 面積	第1	第2	計	一人当り 面積
小 学 校		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	川 岸	86	8,515	8,601	23.9	905	328	1,233	3.4
	神 明	195	6,175	6,370	15.0	744	324	1,068	2.5
	小井川	132	6,158	6,290	19.5	278	836	1,114	3.4
	岡谷田中	148	6,102	6,250	16.0	363	1,180	1,543	3.9
	湊	80	3,301	3,381	30.2	873		873	7.8
	長 地	115	8,170	8,285	13.0	1,072	294	1,366	2.1
	上の原	10	6,389	6,399	26.4	805		805	3.3
	計	766	44,810	45,576	18.3	5,040	2,962	8,002	3.2
中 学 校	西 部	233	6,464	6,697	32.4	1,881	640	2,521	12.2
	北 部	209	7,806	8,015	25.9	2,390		2,390	7.7
	南 部	0	4,897	4,897	20.4	2,401		2,401	10.0
	東 部	2,196	6,299	8,495	18.2	897	522	1,419	3.0
	計	2,638	25,466	28,104	23.0	7,569	1,162	8,731	7.1

② 学校敷地保有面積

(平成30年5月1日現在)

		校地総面積	校地内訳			左のうち借用 地	校地の一人当り 面積
			校舎敷 地	屋外運動 場	その他 実験実 習地		
小 学 校		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	川 岸	17,753	11,003	6,750			49.3
	神 明	22,161	11,080	10,481	600		52.1
	小井川	15,589	7,318	7,360	911	245	48.3
	岡谷田中	18,905	9,019	9,200	686	498	48.4
	湊	19,490	10,901	8,589			174.0
	長 地	25,026	13,111	11,325	590		39.3
	上の原	24,925	15,735	9,190			103.0
	計	143,849	78,167	62,895	2,787	743	57.8
中 学 校	西 部	20,568	11,525	9,043			99.4
	北 部	27,866	17,422	10,248	196		90.2
	南 部	20,999	9,185	11,814			87.5
	東 部	29,414	15,308	13,521	585		63.0
	計	98,847	53,440	44,626	781		80.8

③ 学校建物棟別保有面積(主要棟)

学校名		校 舎 名	建築年	構造階	保有面積㎡	備 考
小 学 校	川岸小学校	管理教室棟	S54	R3	2,000	H21耐震改修
		特別教室棟	S56	R2	1,903	
		教室棟中	S55	R3	2,252	H18耐震改修
		教室棟西	S55	R2	1,704	H20耐震改修
		第一体育館	S56	S1	905	H18耐震改修
		第二体育館	S44	S1	328	H18耐震改修
	神明小学校	1棟教室棟	S42	S1	821	H12大規模改修
		2棟教室棟	S42	R2	2,073	H13大規模改修
		3棟教室棟東	S41	R3	1,962	H24耐震・大規模改修
		3棟教室棟西	S51	R3	534	H24大規模改修
		第一体育館	S43	S1	744	H18耐震改修
		第二体育館	S42	W1	324	
		給食室	S42	S1	217	S53増築H12大規模改修
	小井川小学校	教室棟	S45	R4	3,903	H16耐震改修
		管理教室棟	S46	R2	1,827	H16耐震改修
		西体育館	S37	S1	836	H17耐震改修
		東体育館	S7	W1	278	
	岡谷田中小学校	特別教室棟	S54	R3	1,920	H24耐震改修
		普通教室棟南	S60	R3	1,727	H24大規模改修H27増改築
		普通教室棟北	S59	R3	2,148	H24大規模改修
		大体育館	S62	R2	1,180	
		小体育館	S60	R1	363	
		給食室	S50	S1	202	H24大規模改修
		学童クラブ棟	H27	W1	91	
	湊小学校	普通教室棟	S48	R2	1,822	
		特別教室棟	S48	R2	937	
		昇降口棟	S48	R1	253	H21耐震改修
		体育館	S48	S1	873	
	長地小学校	管理教室棟	S58	R2	1,937	H23大規模改修
		教室棟南	S57	R2	1,590	H23大規模改修
		教室棟中東	S55	R3	1,825	H23大規模改修
		教室棟中西	S46	R3	1,240	H23耐震改修
		特別教室棟	S42	S2	513	H17耐震改修
		小体育館	S57	S1	294	
		大体育館	S58	R2	1,072	
		給食室	S55	R1	284	
	上の原小学校	普通教室棟南	S48	R2	966	
		普通教室棟中	S48	R1	473	H18災害復旧改修
		普通教室棟北	S51	R3	1,571	H18災害復旧改修
		特別教室棟南	S48	R1	257	
		特別教室棟中	S48	R1	261	
		特別教室棟北	S49	R2	599	
		昇降口棟	S48	R1	493	
		大体育館	S48	S1	805	H18災害復旧改修
中 学 校	西部中学校	給食室昇降口棟	S48	R1	659	
		管理教室棟	H28	R3	2,219	H28耐震改築
		昇降口棟	H3	R3	1,984	
		特別教室棟	S62	R3	2,687	
		第一体育館	S63	R3	1,881	
	北部中学校	第二体育館	H29	S1	640	H29耐震改築
		1棟普通教室棟	H17	R2	1,649	
		2棟特別教室棟	S60	R1	495	
		2棟普通教室棟	S57	R3	1,806	
		3棟特別教室棟	S60	R3	1,171	
		管理教室棟	S59	R3	1,923	
		体育館	S61	R2	2,390	武道場を含む
		給食室	S57	R1	256	
	南部中学校	管理教室棟	H1	R4	4,002	
		給食室棟	S63	R2	580	
		北校舎	H19	S2	798	H19耐震改築
		体育館	H5	R2	2,401	武道場を含む
	東部中学校	1棟普通教室棟東	S39	R3	2,015	
		1棟普通教室棟西	S50	R3	917	
		2棟普通特別教室棟	S58	R3	2,932	
		特別教室棟	H22	W1	427	H22耐震改築
		昇降口棟	S50	S1	80	
		第一体育館	S40	S1	897	H16耐震改修
		第二体育館	S47	S1	522	H18耐震改修
		給食室	S58	R1	222	
		中間教室	H22	S1	37	H22新設

④ 学校水泳プール

学 校 名		建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
小 学 校	川 岸	44.7 (H16.7)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H17.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	神 明	42.6 (H16.7)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 6 コース (H16.7) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H16.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	小井川	44.7 (S63.6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H23.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	岡谷田中	43.6 (S63.6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H19.6) 10m×7.5m×0.7m	砂ろ過式 (H5.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	湊	43.6 (H 元.6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H6.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	長 地	42.7 (S61.6) (H16.7)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H16.7) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H4.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	上 の 原	48.7 (H 元.6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H19.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H19.3)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽

学 校 名		建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
中 学 校	西 部	H29.3	25m×11.0m× $\frac{1.1}{1.3}$ m 5 コース	砂ろ過式 (H29.3)	機械室、器具庫、シャワー、 洗眼台
	北 部	S38.7 (H4.5)	25m×13.6m× $\frac{1.2}{1.2}$ m 7 コース	砂ろ過式 (H14.5)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	南 部	S38.7 (H13.7)	25m×13.6m× $\frac{1.2}{1.2}$ m 6 コース	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	東 部	S42.6 (H9.12)	25m×13.6m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 7 コース	砂ろ過式 (H9.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽

⑤ 小中学校施設等主要整備状況（平成22年度～平成29年度）

年度 学校名	22	23	24	25	26	27	28	29
川 岸		給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、小型風力発電設置、ケーブル配管改修	FF暖房設備設置工事 高架水槽改修工事	プールろ過機改修工事		体育館非構造部材脱落防止工事	ガス管入替工事 駐車場等改修工事	体育館放送機器繕工事
神 明	第一体育館改修	給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、小型風力発電設置、プールろ過機改修	北校舎耐震・大規模改修			体育館非構造部材脱落防止工事、埋設ガス管改修工事		
小井川		給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、小型風力発電設置、プールろ過機改修	給食室換気設備改修工事			体育館非構造部材脱落防止工事、埋設ガス管改修工事		
岡 谷	アスベスト除去工事	給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、小型風力発電設置	耐震・大規模改修（実施設計）	耐震・大規模改修工事、複合遊具改修工事	小体育館非構造部材脱落防止工事			昇降口屋根等修繕工事
田 中		給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、小型風力発電設置	FF暖房設備設置工事 高圧受電設備改修工事		職員玄関改修工事	体育館非構造部材脱落防止工事		給食室グリス阻集器破損修繕工事
湊		中・南校舎耐震大規模改修、給水設備改修、中空ガラス補強、給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、小型風力発電設置		階段手摺修繕工事、受水槽取替え工事		体育館非構造部材脱落防止工事、給食室低圧ボイラーク缶体入替工事、埋設ガス管改修工事		プール修繕工事
長 地								
上の原	屋内消火栓ポンプ取替	給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、小型風力発電設置	高圧受電設備改修工事		体育館非構造部材脱落防止工事	埋設ガス管改修工事		
西 部		給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置、誘導灯取替				体育館非構造部材脱落防止工事	管理教室棟、第二体育館、プール改築工事 グラウンド整備工事	給食室給湯器入替工事
北 部		給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置	屋根防水改修工事 高圧受電設備改修工事		小体育館非構造部材脱落防止工事、給食室ボイラーク缶体取替工事	体育館非構造部材脱落防止工事、埋設ガス管改修工事		外壁補修工事
南 部	高圧受変電設備改修	給食室・保健室エアコン設置、特別支援学級・家庭科室整備		プールろ過機改修工事		体育館非構造部材脱落防止工事	管理教室棟改修工事	図書室等カーテン設置工事
東 部	特別教室棟耐震改築、太陽光発電システム設置、中間教室設置、二棟防水改修、調理室換気設備設置	給食室・コンピュータ設置、保健室エアコン設置	給食室給湯管改修工事 高圧受電設備改修工事	ガス管改修工事		体育館非構造部材脱落防止工事	防火戸改修工事	第1理科室ガス管入替

⑥ 小中学校コンピュータ整備状況

(平成30年4月1日)

学校名	設置場所	台数	用途	機種	メーカー	整備年度	整備方法
川 岸	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 6	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	1	児童貸出	ノート			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	26	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
神 明	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 6	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	1	児童貸出	ノート			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	25	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
小井川	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 6	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	1	児童貸出	ノート			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	25	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
岡谷田中	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 6	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	1	児童貸出	ノート			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	20	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
湊	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 6	リース
	コンピュータ室	30	児童機	ブック			
	図書室	1	児童貸出	ノート			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	14	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
長 地	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 6	リース
	コンピュータ室	36	児童機	ブック			
	図書室	1	児童貸出	ノート			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	38	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
上の原	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 6	リース
	コンピュータ室	34	児童機	ブック			
	図書室	1	児童貸出	ノート			
	図書室	1	蔵書管理	ブック			
	職員室	2	校務	タワー			
	職員室	22	教諭	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務 栄養	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			

学校名	設置場所	台数	用途	機種	メーカー	整備年度	整備方法
西 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 5	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	28	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	1	事務	デスクトップ			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
北 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 5	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	35	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務	デスクトップ・ノート			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
南 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 5	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	26	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	1	事務	デスクトップ			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			
東 部	コンピュータ室	2	先生機	タワー	E P S O N	H 2 5	リース
	コンピュータ室	36	生徒機	デスクトップ			
	特別支援学級	1	生徒機	ノート			
	中間教室	1	生徒機	ノート			
	職員室	1	生徒機	ノート			
	図書室	1	生徒貸出	デスクトップ			
	図書室	1	蔵書管理	ノート			
	職員室	2	校務共用	タワー			
	職員室	44	教職員	ノート			
	校長室	1	校長	ノート			
	事務室	2	事務	デスクトップ・ノート			
	事務室	1	栄養士	ノート			
	保健室	1	養護	ノート			

(4) 専門委員会等

① 岡谷市就学支援委員会

(担当: 子ども総合相談センター)

1 内容

岡谷市教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 就学教育相談及び支援に関すること。
- (2) 就学先及び就学義務猶予等の判断に関すること。
- (3) 就学後の教育支援に関すること。

また、前項に規定するもののほか、児童生徒等の就学及び教育支援に関する事項について、教育委員会に対し、意見を述べることができる。

② 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会

(担当: 子ども総合相談センター)

1 内容

いじめの防止等に関係する機関及び団体相互の連絡調整を行い、当該機関及び団体の連携の推進のために必要な事項を協議する。

2 組織

協議会は、委員15人以内をもって組織し、いじめの防止等に関係する行政機関の職員、団体の代表者その他岡谷市教育委員会が必要と認める者のうちから、教育委員会が委嘱し又は任命する。

【委員】臨床心理士

スクールソーシャルワーカー

児童相談所

警察署

人権擁護委員

民生児童委員

市PTA代表

岡谷市子ども教育支援チーム「いじめ・人権部会」チーム員

【事務局】教育総務課

③ 岡谷市いじめ問題対策調査委員会

(担当: 子ども総合相談センター)

1 内容

いじめの防止等の対策を実効的に行うための調査研究や重大事態に係る調査を行う。

2 組織

委員会は、委員5人以内をもって組織し、学識経験者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

【委員】精神科医師

弁護士

臨床心理士

社会福祉士

精神保健福祉士

【事務局】教育総務課

④ 岡谷市子ども教育支援チーム

(担当: 子ども総合相談センター)

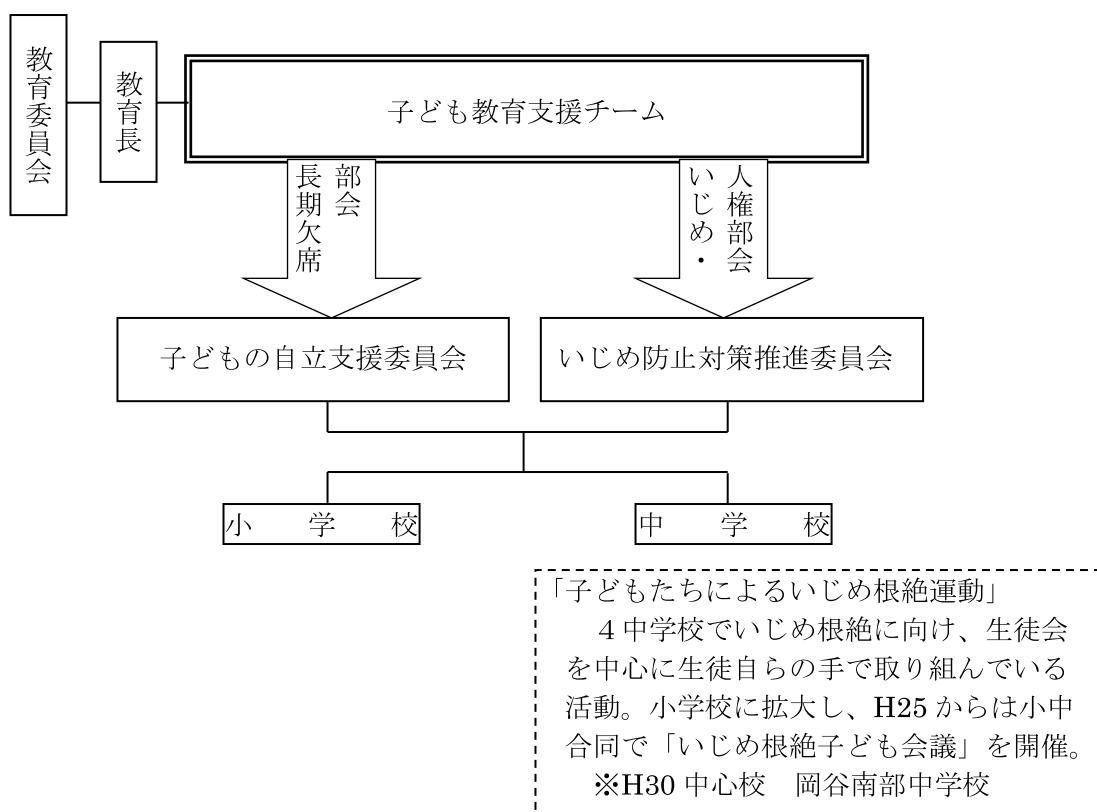
1 目的

長期欠席及びいじめ人権問題を含む児童生徒の教育課題を解決するため、調査研究や支援を行う。

2 内容

- (1) 長期欠席児童生徒の支援に関すること
- (2) いじめ問題への対応に関すること
- (3) 学校諸問題への対応に関すること
- (4) その他児童生徒の教育課題に対する調査研究及び支援に関すること

3 組織図



⑤ 岡谷市小中学校子どもの自立支援委員会

(担当: 子ども総合相談センター)

1 内容

- (1) 各校における委員会計画や活動状況の把握
- (2) 学校現場の視点からの教育課題の検証、研修
- (3) 子ども教育支援チームとの連携、実践
- (4) その他、長期欠席児童生徒に係る課題、人間関係力や自己肯定感の高揚等、子どもの自立支援に関すること (Q・U、ソーシャルスキルトレーニング、ピアサポートプログラムなど)

⑥ 岡谷市いじめ防止対策推進委員会

(担当: 子ども総合相談センター)

1 委員会の趣旨

小中連携の『いじめ根絶子ども会議』を中核とし、市内の全ての学校で児童生徒活動を継続的にを行い、「いじめ根絶」に向けての意識を高める。

また、岡谷市子ども教育支援チームのいじめ・人権部会との連携のもと、本市における基本方針を受け、学校現場の視点から検証し、各校における実践に繋げる。

⑦ 岡谷市小中学校生徒指導推進委員会

(担当: 子ども総合相談センター)

1 目的

岡谷市の小学校、中学校、高等学校、家庭、地域社会が密接な連携を取りながら、相互に協力し合い、生徒指導等についての対策の充実と徹底を図り、児童生徒の健全育成に資する。

2 内容

- (1) 各学校の生徒指導の実態や課題に即した対応と推進、連絡調整、情報交換
- (2) 長期休業中(夏休み・冬休み・春休み)における生徒指導の申し合わせ事項の検討及びきまりの作成と実践
- (3) 「豊かな心を育てるために」の実践的な活用についての啓発
- (4) 校外指導活動(地域活動)の推進
- (5) 生徒指導研修に関する活動(年1回)
- (6) 児童生徒の健全育成に関する支援と協力
- (7) 生徒指導関係機関や関係諸団体(警察、民生児童委員、保護司等)、PTA、校長会、高等学校との連携

⑧ 岡谷市小中学校情報教育委員会

(担当: 学校教育)

1 内容

- ・児童生徒及び教職員の、情報処理・加工能力を高め情報発信する能力を養うため、情報教育機器の有効な活用のあり方を研究する
- ・情報モラルの育成と小中を見通した市内情報教育年間指導計画を作成する
- ・各校の情報機器利用における問題点を究明し、改善策を提言する

⑨ 岡谷市学校図書館教育推進委員会

(担当: 教育企画)

1 内容

読書センターとして、また、学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりに積極的に取り組むことにより、学校及び家庭における児童生徒の読書活動の充実を図り「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成に資する。

- ・児童生徒の読書活動の幅を広げ、読書体験を深めるための活動
- ・読書・学習・情報センターとしての学校図書館づくり
- ・学校図書館でのコンピューター活用にかかわる課題等の検討
- ・読書指導及び学校図書館運営に関する研修・情報交換
- ・岡谷市子ども読書活動推進会議など読書活動に係わる各種団体との連携

⑩ 岡谷市学力向上推進委員会

(担当: 学校教育)

1 内容

- ・知識や技能の活用という分野を中心に、学力向上に向けた各学校の取組状況を把握し、教育課題や学習指導の課題を明確化し改善する
- ・分析結果等を基に本年度の学力向上・授業改善の具体的な取組計画を作成する
- ・調査結果に基づいた各校の分析結果から、市全体の分析及び改善の視点を探る

⑪ 岡谷市外国語活動推進委員会

(担当: 学校教育)

1 内容

- ・平成23年度より完全実施された小学校外国語活動の授業が各学校で円滑に推進できるよう、支援活動を行う。
- ・平成30年度より段階的に実施される小学校の英語の教科化に向け、各学校で円滑に推進できるよう支援活動を行う。

⑫ 岡谷市道徳教育推進委員会

(担当:子ども総合相談センター)

1 内容

- ・各学校において、道徳教育の方針を持ち、道徳教育推進教師を中心に、学校として組織的に道徳教育が推進できるよう、道徳教育改善に向けた取り組みを行う。
- ・道徳の教科化を視野に入れながら、今後の道徳教育の内容等を研究する。

⑬ 岡谷市学校保健会

(担当:学校教育)

1 目的

学校保健の普及進展を図り以って児童生徒及び幼児の成長と発達に寄与することを目的とする。

2 内容

- ・学校保健に関する調査研究
- ・学校保健思想の普及並びに啓発
- ・学校保健資材の斡施
- ・その他学校保健の目的を達成するに必要な事業

(5) 学校評議員

1 内容

評議員は、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協し一体となって子どもの健やかな成長を図る観点から、校長の求めに応じて学校運営に関し意見を述べ、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進に資する。

- ・保護者や地域住民等の意向を把握・反映すること
- ・保護者や地域住民等の協力を得ること
- ・学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと

(6) 岡谷市通学路安全対策会議

1 会議について

市内小中学校の通学路の安全確保に向け、安全対策に係る一連の取り組みを定めた「岡谷市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携し、継続的な推進を図ることを目的としている。

2 会議の任務

会議は、岡谷市通学路交通安全プログラムの実現に向け、市内小中学校の通学路の安全対策の総合的な検討、協議及び調整を行う。

＜具体的な内容＞

- ・危険箇所の抽出、合同点検の実施
- ・安全対策の検討
- ・安全対策の実施
- ・PDCAによる改善、充実

3 会議の組織

会議は、教育総務課長を会長に委員25名以内で組織し、教育委員会が任命又は委嘱する。

＜メンバー＞

【会 長】教育総務課長

【副会長】委員から互選（校長会長）

【委 員】岡谷市小中学校長会会長

岡谷市小中学校教頭会長

岡谷市小中学校生徒指導推進委員会会長

保護者代表（PTA会長）

地域住民代表（関係区長）

道路管理者（国道事務所、県建設事務所、市土木課）

岡谷警察署

その他市及び市教育委員会の職員

【事務局】教育総務課

(7) 岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン策定委員会

1 目的

岡谷市教育大綱の基本方針に掲げる重点項目を着実に実現するための施策や事務事業の推進を図り、また、将来のさらなる少子化を見据えた、新しい時代に対応した学校教育環境の整備を計画的に推進するため「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」を策定する。

2 内容

○プランの重点項目・取り組み内容

1 学校教育の現状と課題の整理

2 「岡谷市教育大綱」の学校教育の重点ごとの推進施策検討（ソフト面・ハード面）

①地域に根ざした特色ある学校づくりの推進

②ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進

③笑顔で安心して学べる教育環境の整備

④確かな学力保障と成長保障を図る授業改善

⑤「自立と共生」につながる教育活動の充実

3 組織

委員会は、教育部長を委員長に、教育担当参事と岡谷市校長会会長を副会長とし、委員は岡谷市教育委員会の職員から教育委員会が任命する。

<メンバー>

【会 長】教育部長

【副 会 長】教育担当参事及び校長会長

【委 員】教育総務課長

生涯学習課長

スポーツ振興課長

子ども総合相談センター長

学力向上アドバイザー

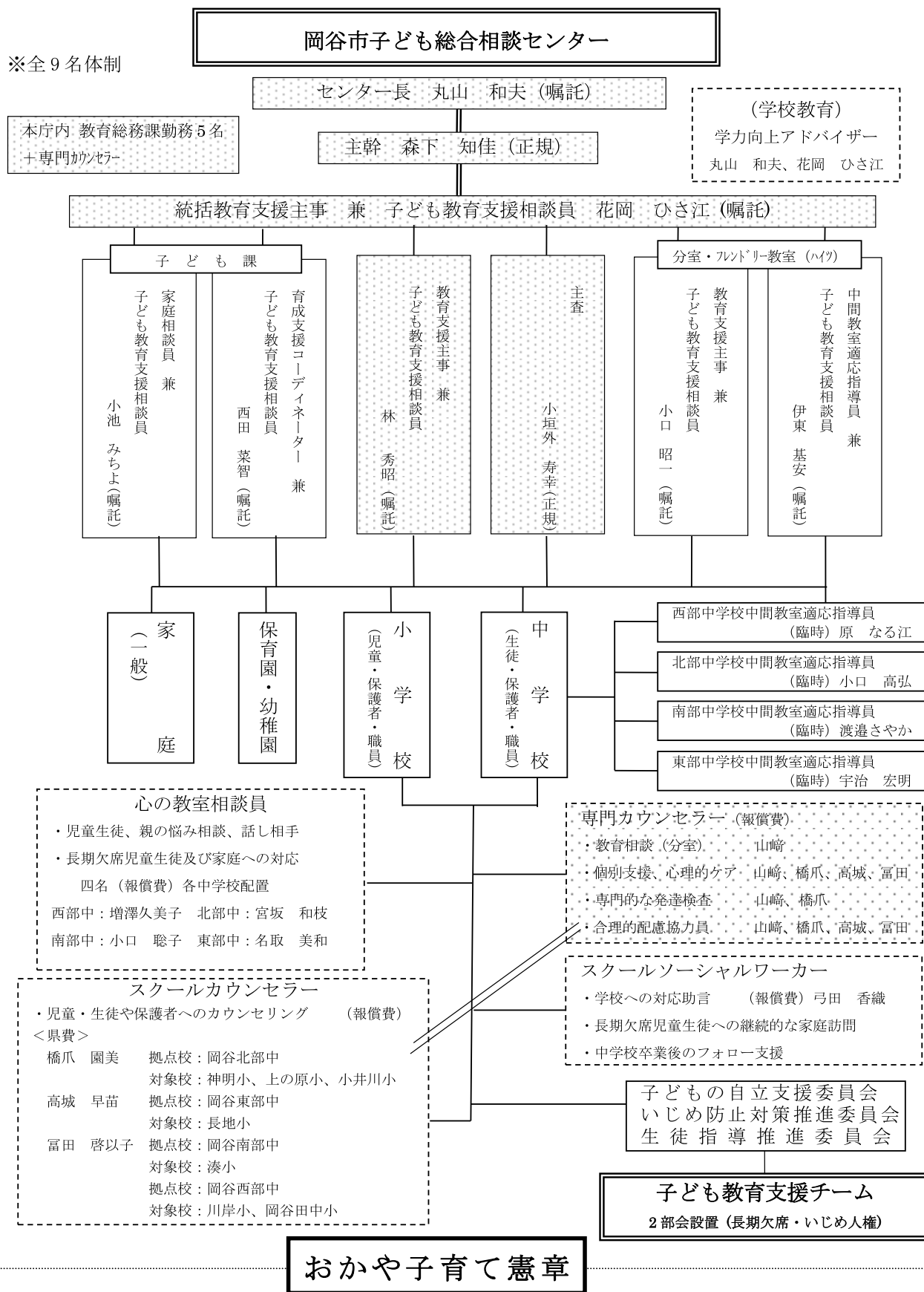
教育企画主幹

学校教育主幹

子ども総合相談センター主幹

(8) H30 子ども総合相談センター・カウンセリング体制 30.4月

※全9名体制



① 子ども総合相談センター

子どもが自ら成長しようとする“子どもの育ち”全般に関する相談を総合的に受け付け、各機関と連携し個々の状況に応じた助言や指導を行う。

センター業務の一環として、諏訪湖ハイツの分室にフレンドリー教室、各中学校に中間教室を設置するほか、カウンセリング体制の充実を図り、連携支援に努める。

(1) 場 所 岡谷市役所 2 階 教育総務課内

(2) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 8:30～17:00

(3) 業務内容

- ・教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括に関すること
- ・就学支援に関する総合調整に関すること
- ・学校、家庭及び関係機関との連携に関すること
- ・学校諸問題に関する総合的な教育支援及び相談支援に関すること
- ・岡谷市いじめ問題対策連絡協議会に関すること
- ・岡谷市いじめ問題対策調査委員会に関すること
- ・岡谷市子ども教育支援チームに関すること

(4) 年度別の相談件数

	27年度	28年度	29年度
相談実数	466	526	634
相談延べ件数	1,511	1,552	1,955

(5) 平成29年度の相談状況（延べ件数）

相談対象者	乳幼児 園児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
29年度	201	1,075	622	53	4	1,955
28年度(参考)	98	797	601	55	1	1,552

内容別	就学相談	身体障害	発達障害等	虐待	育児・教育
29年度	440	0	28	26	373
28年度(参考)	370	2	62	45	227
	長期欠席	問題行動	家庭環境	その他	合計
29年度	413	233	419	23	1,955
28年度(参考)	520	86	213	27	1,552

② 分室

幼児及び児童・生徒の不適応行動は近年ますます複雑化、多様化してきている。教職員や保護者、子どもが抱えている悩みや心配ごとに対して幅広く積極的に相談を受け、ともに考え助言・指導を行う。

子ども総合相談センターの分室として、本庁と連携した相談支援体制を心がける。

(1) 場 所 岡谷市長地権現町 4-11-50 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内

(2) 業務内容

- ・通常相談業務 土・日・祝祭日を除いた 8:30～16:30
- ・保育園・幼稚園・学校への訪問、連携支援
- ・いじめ、長期欠席、生徒指導等の問題に関する調査研究、資料収集
- ・専門カウンセラーによる教育相談

毎月 2 回 一人あたり 50 分（予約制）

③ フレンドリー教室・中学校中間教室

学校と家庭を結ぶ中間的な教室で、専任の適応指導員により、心理的または情緒的理由から登校できない状態にある児童生徒の自立心を養い、学校・学級復帰の援助をする。

(1) 対 象 者 岡谷市の中学校に在籍し、適応指導を必要とする長期欠席生（小学生も相談に応じる）

(2) 場 所 フレンドリー教室

…岡谷市長地権現町 4・11・50 おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内
中学校中間教室…市内 4 中学校

(3) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 9:00～15:00（各学校と相談）

(4) 年間開設日数 中学校の登校日に準ずる

(5) 通室生の状況（フレンドリー教室、中学校中間教室の総計）

平成 29 年度 通室児童生徒数

学年		小 学 生	中 学 1 年	中 学 2 年	中 学 3 年	合 計
男	女					
男	岡 谷 市	1	1	4	3	12
	下諏訪町等					
女	岡 谷 市			1	2	
	下諏訪町等					

平成 29 年度 復帰児童生徒数

学年		小 学 生	中 学 1 年	中 学 2 年	中 学 3 年	合 計
男	女					
男	岡 谷 市					1
	下諏訪町等					
女	岡 谷 市			1		
	下諏訪町等					

※中学校中間教室から学校復帰 1 名

④ 心の教室相談員

生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る相談員を中学校全校に配置し、生徒の悩み相談や自主的生活の支援を行うとともに、小学校への派遣を行う。スクールソーシャルワーカーと連携した家庭訪問事業についても、積極的に展開する。

⑤ スクールカウンセラー（専門カウンセラー）

臨床心理に関して、高度で専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを学校に派遣し、児童生徒や保護者へのカウンセリングや教職員への相談と助言を行い、いじめや長期欠席等の問題の解決と予防にあたる。

なお、県費スクールカウンセラー事業の仕組みを生かし、特別支援教育の観点から、市内小・中学校で活動している臨床心理士等に対し、市費で専門カウンセラーを委嘱。域内ネットワークの一層の強化を図り、より多くの視点や関わりを得て合理的配慮の提供につなげ、インクルーシブ教育システム構築に資する。

⑥ スクールソーシャルワーカー

長期欠席児童生徒対策の一環として、家庭環境や対人関係等で複層的な悩みを抱えるケースに対し、粘り強くきめ細かな支援を継続するために、ソーシャルワークの手法を取り入れ、家庭訪問によるアプローチや学校への対応助言を行う。また、スーパーバイザー的な役割に立ち、支援者の連携によるチーム支援を推進する。

(9) 高等学校・専修学校・専門学校等

① 高等学校

1 所在地

学 校 名	所 在 地 (電話番号)	創立年月日	学校長氏名
岡 谷 南 高 等 学 校	岡谷市湖畔三丁目3番30号 (23-2355)	昭 15.10.30	小 林 敏 一
岡 谷 東 高 等 学 校	岡谷市南宮二丁目1番17号 (23-3161)	大 2. 4. 1	北 野 亨
岡 谷 工 業 高 等 学 校	岡谷市神明町二丁目10番3号 (22-2847)	明 45. 4.11	羽毛田 哲 朗

2 高等学校生徒数及び学級数 (平成30年5月1日現在)

		岡 谷 南 高等学校	岡 谷 東 高等学校	岡谷工業 高等学校	計
1 年	学級数	5	4	5	14
	男	105	64	189	358
	女	95	90	11	196
	計	200	154	200	554
2 年	学級数	5	4	5	14
	男	118	67	180	365
	女	80	92	10	182
	計	198	159	190	547
3 年	学級数	5	4	5	14
	男	110	53	171	334
	女	95	100	10	205
	計	205	153	181	539
合計	学級数	15	12	15	42
	男	333	184	540	1,057
	女	270	282	31	583
	計	603	466	571	1,640

② 専修学校・専門学校

学 校 名	所 在 地	校 長 名	科 目	生徒数	教職員数
上條経理専修学校	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上 條 重 信	商 業 実 務 一 般	0	3
岡谷音楽専門学校	岡谷市東銀座一丁目11番2号	林 か ず え	器 楽	4	3
岡谷市看護専門学校	岡谷市2413-1	百瀬 芳隆	看 護	57	8

③ 各種学校

学 校 名	所 在 地	校 長 名	科 目	生徒数	教職員数
岡谷市医師会附属 准 看 護 学 院	岡谷市中央町二丁目5番22号	山 田 雄 三	准 看 護 師 養 成	42	5
上條珠算簿記学園	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上 條 重 信	経 理 事 務	90	4

(10) 教員住宅

(平成30年4月1日現在)

住宅番号	建設年度	戸数	所在地	構造	1戸当面積 (㎡)
37～38	昭和47	2戸	小井川小南側	ブロック造平家建	55.75
40～41	昭和48	2戸	中山団地	ブロック造平家建	52.14
42～45	昭和49	4戸	中山団地	ブロック造平家建	49.67
52～53	昭和51	1棟2戸	川岸能登舟南	ブロック造平家建	49.67
58～59	昭和52	1棟2戸	湊垣外	ブロック造平家建	49.67
62	昭和54	1戸	今井二本松	木造平家建	52.17
68～69	昭和55	1棟2戸	旧湊小跡地	木造二階建	55.48
70	昭和55	1戸	旧湊小跡地	木造平家建	52.17
76～77	昭和57	1棟2戸	湊垣外東側	木造二階建	56.51
79	昭和57	1戸	南部中南側	木造平家建	52.32
80～83	昭和58	2棟4戸	湊小坂	木造二階建	55.48
84～85	昭和59	2戸	湊小坂	木造二階建	59.61
86	昭和59	1戸	川岸保育園南	木造二階建	59.61
87～88	昭和59	1棟2戸	川岸保育園南	木造二階建	55.48
124	昭和40	1戸	小井川小西	木造平家建	78.98
211～237	平成8	1棟21戸	間下	鉄筋コンクリート三階建	49.99
111～136	平成9	1棟17戸	間下	鉄筋コンクリート三階建	単身用 49.99 世帯用 69.12

総計戸数 67戸(内訳:間下教員住宅38戸、その他教員住宅29戸)

(11) 奨学金制度

① 岡谷市育英基金

◎基金の総額 402, 591, 196円(平成30年3月31日)

◎貸付対象及び要件

- ア. 岡谷市に生活の本拠を有し、引き続き1年以上居住している者又はしていた者であること。
- イ. 成績が優秀で身体が健康であること。
- ウ. 経済的理由により就学が困難と認められること。
- エ. 独立行政法人日本学生支援機構その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと。

◎貸付方法及び金額(平成23年度以降)

ア. 貸付方法 奨学金年4回(4月・7月・10月・1月)に分けて貸付 入学準備金は初回のみ貸付

イ. 貸付金額(奨学金)

高等学校生・高等専門学校生	月額30,000円以内
大学・短期大学生	月額52,000円以内
専修学校生(高等課程)	月額30,000円以内
専修学校生(専門課程)	月額49,000円以内
大学(医学部)	月額200,000円以内
(入学準備金)	
大学	200,000円以内
大学(医学部)	1,200,000円以内

ウ. 償還免除(大学等)

- ・学校を卒業後、岡谷市に居住し償還期間中引き続き居住したときは一部の償還を免除する。
(医学部)
- ・下記期間市内の医療機関において、医師として業務に従事したときは、貸付金額の全額を免除する。
 - ①入学準備金及び奨学金の貸付を受けた者が、臨床研修を受けた後、直ちに医師として業務に従事したとき 6年6月以上
 - ②奨学金の貸付を受けた者が、臨床研修を受けた後、直ちに医師として業務に従事したとき 6年以上

◎返済方法

卒業後6ヵ月後から次の期間内に返済

(奨学金) 高等学校生	120ヶ月	高等専門学校生	180ヶ月
大学校生	180ヶ月	短期大学校生	96ヶ月
専修学校生(高等課程)	120ヶ月	専修学校生(専門課程)	168ヶ月
大学(医学部)	270ヶ月		
(入学準備金) 大学	48ヶ月	大学(医学部)	72ヶ月

◎制度の変遷

- ・昭和41年度から昭和46年度までの奨学生： 年18,000円(月1,500円)/人
- ・昭和47年度から昭和49年度までの奨学生： 年36,000円(月3,000円)/人
- ・昭和50年度から昭和57年度までの奨学生(大学生は除く)： 年60,000円(月5,000円)/人
- ・昭和51年度から昭和57年度までの大学へ入学する奨学生： 年120,000円(月10,000円)/人
- ・昭和58年度からの奨学生(高校生)： 年72,000円(月6,000円)/人
(大学生)： 年180,000円(月15,000円)/人
- ・平成 2年度からの奨学生(高校生)： 年120,000円(月10,000円)/人
(大学生)： 年240,000円(月20,000円)/人
- ・平成11年度からの奨学生(高校生)： 年180,000円(月15,000円)/人
(大学生)： 年300,000円(月25,000円)/人
- ・平成14年度からの奨学生(高校生等)：年360,000円以内(月30,000円以内)/人
(大学生等)：年624,000円以内(月52,000円以内)/人

◎貸付状況

(平成30年5月1日現在)

年度	貸付人員			貸付(見込)額	免除		償還済 人員	償還中 人員	猶予中 人員	貸付中 人員	備考 (30年度 から償還開始)
	高校	大学等	合計		免除額	件数					
41～49	96		96	7,326,000			96				
50	13		13	2,370,000			13				
51	8	7	15	4,080,000			15				
52	3	14	17	6,180,000			17				
53	10	8	18	5,520,000			18				
54	8	8	16	5,160,000			16				
55	1	6	7	3,420,000			7				
56	4	5	9	3,372,000			9				
57	14	5	19	5,256,000			19				
58	5	7	12	5,668,000			12				
59	4	9	13	6,444,000			13				
60	4	12	16	7,884,000			16				
61	8	11	19	8,064,000			19				
62	3	4	7	2,808,000			7				
63	1	7	8	5,076,000			8				
元	1	4	5	1,512,000			5				
2	3	11	14	8,520,000			14				
3	2	15	17	10,800,000			17				
4	3	21	24	18,720,000			23	1			
5	1	22	23	16,680,000			23				
6		9	9	6,240,000			9				
7	1	7	8	5,880,000			8				
8		13	13	9,360,000			13				
9		11	11	7,920,000			11				
10	1	3	4	6,360,000			4				
11	1	8	9	6,540,000			9				
12		10	10	7,560,000			10				
13		11	11	8,820,000			10	1			
14	2	48	50	34,859,000			43	7			
15	5	27	32	45,372,000	156,000	1	16	16			
16		26	26	48,072,000	915,000	4	17	9			
17	1	22	23	51,312,000	429,000	1	14	9			
18	2	12	14	45,036,000	1,619,100	7	5	9			
19		15	15	37,470,000	1,715,000	4	6	9			
20		15	15	33,132,000	1,478,250	7	3	12			
21		21	21	32,412,000	4,634,000	11	5	15			1
22	1	26	27	40,935,000	4,630,500	7	9	17			1
23		16(1)	16	44,176,000	4,512,000	8	1	13	1(1)		1
24	1	15(1)	16	45,888,000	4,146,250	11	4	10	1		1(1)
25		16	16	43,780,000	1,834,875	6		16			
26		20(2)	20	44,698,000	3,911,200	9		6	2	3(2)	9
27	1	18(2)	19	44,960,000	5,784,500	16		4		11(2)	4
28		14(1)	14	45,204,000	3,086,730	9				10(1)	4
29		13(1)	13	44,440,000	1,524,000	4				13(1)	
30		10	10	26,024,000						10	
計	208	582	790	901,310,000	40,376,405	105	564	154	4	47	21

()は大学(医学部)

② 公益信託 山田徳郎奨学基金

- 目的 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する生徒に対して、奨学助成を行い、青少年の健全育成と社会有用の人材を育成する。(昭和63年から給付開始)
- 奨学生の資格
 - 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する者
 - 学業、人物ともに優秀な者
 - 経済的理由により就学困難な者
- 給付方法及び金額

給付方法	年4回(6月・9月・12月・3月)に分けて給付
給付金額	月額15,000円
給付状況	平成28年度 2人 平成29年度 3人 平成30年度 3人 合計 8人
受託者	山田徳郎
受託者	みずほ信託銀行株式会社(東京都中央区八重洲1-2-1)

4. 生涯学習課

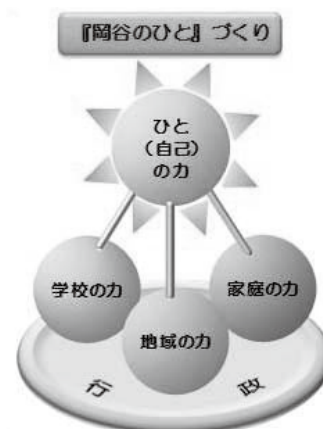
(1) 生涯学習基本方針

■ 『生涯学習スローガン』（基本方針）

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

おかや子育て憲章と岡谷市教育大綱及び第5次岡谷市生涯学習推進計画に掲げた教育理念のもと、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

「岡谷のひとづくり」を推進するため、生涯学習分野におけるめざすひとづくりの姿「人間像」を、『歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり』とし、次の4つのポイントに重点的に取り組みます。



■ 「生涯学習 4つの重点ポイント」

1 「地域に学び貢献する」生涯学習

- ・ 地域独自の文化を継承し、地域に学び貢献する意識の醸成を図ります。
- ・ 学習グループや公民館活動を推進し、「学びの輪」と「学びの循環」を育みます。
- ・ 地域住民の放課後子どもの居場所づくり事業への参画を促進します。

2 「ふるさとを誇りに思う」生涯学習

- ・ 郷土の地域資源に親しみ学び、ふるさとに愛着と誇りを持つ心を醸成します。
- ・ シルクの歴史や童画の文化などを学び、世代間の連携により地域力を高めます。
- ・ 郷土に根ざした考古、芸術、文化の振興を図り、潤いのある心豊かな人を育みます。

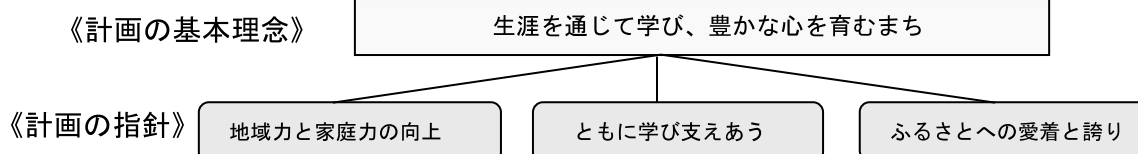
3 「未来を担う青少年を育む」生涯学習

- ・ 地域で子どもを育む「岡谷版コミュニティスクール」の導入を促進します。
- ・ 安心して安全な学童クラブの運営に努め、子育て支援の充実を図ります。
- ・ 「子どもが子どもを育てる」岡谷市リーダーズ倶楽部の活動を支援します。
- ・ 図書館、学校、公民館が連携して、子ども読書活動の推進を図ります。

4 「親力、家庭力を向上する」生涯学習

- ・ 子どもと保護者の関わり方や家庭で学ぶ力など、家庭教育の充実を図ります。
- ・ 子育て支援学級や学級懇談会、地区懇談会など親同士の交流の場づくりを促進します。
- ・ 地域子（己）育てサポーターの組織と活動の活性化を図ります。

■ 第5次岡谷市生涯学習推進計画に基づく平成30年度の重点項目



平成30年度岡谷市教育委員会生涯学習課の重点項目

- ・ 「岡谷子ども未来塾」での地域住民による中学生への学習支援
- ・ 地域の子どもの地域で育てる「放課後子どもの居場所づくり事業」の充実
- ・ 美術考古館「開館5周年記念事業」
- ・ 「縄文文化探検ツアー」と「旧林家住宅改修」による文化財の活用と保存
- ・ 「第3次岡谷市子ども読書活動推進計画」の策定
- ・ ふるさとを誇りに思う生涯学習の推進

(2) 社会教育

① 重点目標

- 1 学童クラブの安全・安心な運営と施設の有効活用
- 2 放課後子どもの居場所づくり事業の更なる充実とコミュニティスクールへの住民参加

② 平成30年度重点施策

- 1 岡谷子ども未来塾（放課後の中学生学習支援事業）
- 2 学童クラブ環境快適化事業

③ 岡谷子ども未来塾（放課後の中学生学習支援事業）

苦手教科の解消や、勉強の習慣づけをしたい中学生2年生に対して、部活動の無い水曜日の放課後を活用し、教員OBや地域住民などが学習支援員（講師）となり、学習をサポートする。学習は各学校のパソコン教室のソフトを用い、英語、数学2教科を4中学校で実施する。

④ 放課後子どもの居場所づくり事業

放課後等に学校施設を活用し、地域の人たちが子どもたちの安全・安心な居場所を設け、学習・スポーツ・文化活動等の交流を行う。子どもたちの健やかな成長と地域の人たちの生き甲斐づくりを推進する。

- 1 実施主体 岡谷市教育委員会
- 2 運営委員会の設置

各小学校区に地域住民、学校、行政等からなる運営委員会を設置している。企画内容については地域スタッフの自由な発想のもで行う。

- 3 対象とする子どもの範囲
市内小学校に在籍するすべての児童
- 4 活動状況

（平成30年5月31日現在）

小学校名	呼称	開設年月日	年間開催予定回数
川岸小学校	とちっ子ひろば	平成21年（※モデル校）	21回
神明小学校	神明っ子 はばたき ラボ	平成23.9.14	17回
小井川小学校	おいかわっこ	平成23.7.20	10回
岡谷田中小学校	あやめ基地	平成21年（※モデル校）	12回
湊小学校	あそぼう日	平成21年（※モデル校）	18回
長地小学校	おさっちあ	平成23.5.18	11回
上の原小学校	うえのはらっぱ	平成23.6.29	17回

⑤ 岡谷市社会教育委員の会議

岡谷市社会教育委員の会議は、岡谷市教育委員会の行う社会教育行政に関する諮問機関として、広く各方面の見識と経験を反映させるため、社会教育法第15条、及び岡谷市社会教育委員設置条例に基づき、平成9年4月に発足した。

※社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに一般公募の中から10人を教育委員会が委嘱し、任期は1期2年としている。社会教育委員の職務として、社会教育に関し教育長を通じ教育委員会に助言をするための社会教育に関する諸計画の立案や、会議を開いて教育委員会の諮問に応じて意見を述べることで、さらにそのために必要な研究調査を行う。また、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることもできる。

岡 谷 市 社 会 教 育 委 員

(平成30年4月1日現在)

氏 名	所属団体等	備 考
◎今 井 誠	元PTA役員	平成25年度～
○山 田 和 男	主任児童委員	平成27年度～
間 宮 洋 子	子ども会育成会役員	平成27年度～
佐々木るり子	ガールスカウト役員	平成27年度～
林 邦 子	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員	平成27年度～
宮坂美津章	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員	平成29年度～
谷 口 修 治	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員	平成29年度～
花 岡 文 子	公民館活動、地域活動	平成29年度～
清 水 雅 彦	地域子（己）育てサポーター	平成29年度～
河 口 孝	校長会（岡谷西部中学校）	平成30年度～

(◎=会長、○=副会長)

1期任期2年：平成29年4月1日～平成31年3月31日 ※校長会代表：任期1年)

⑥ おかや子育て憲章理念の普及

おかや子育て憲章具現化への取り組みとして、子育てのポイントを年齢期ごとにまとめたパンフレット「成長樹（期）子育て実践ポイント」を作成している。多くの市民が身近に置き、子育ての不安・悩み解消の参考にしてもらえるよう年齢期ごとに分冊化した。また胎児期を加え母子手帳交付時の資料の袋に収まるサイズに変更するなど工夫し、効果的な普及啓発に取り組んでいる。

⑦ 岡谷市成人式

岡谷市で心身を育んだ男女青年が「人生の節目」として成人を迎えたことを祝い励ます行事。

1 平成29年度（平成30年1月7日）成人式参加者数 単位：人

	平成29年度			平成28年度		
	男	女	計	男	女	計
対象者数	298	294	592	304	252	556
参加者数	211	186	397	226	177	403
参加率	70.8%	63.3%	67.1%	74.3%	70.2%	72.5%

2 平成30年度 成人式の開催予定日

(1) 開催日時 平成31年1月13日（日）（*成人の日の前日、日曜日）

(2) 会 場 岡谷市文化会館（カノラホール）

- (3) 対 象 平成 10 年 4 月 2 日から平成 11 年 4 月 1 日までに生まれた人で本人又は親等が市内に在住する人

⑧ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）

市民の生涯学習活動をより一層推進するため、市職員が担当する業務を直接地域に出向いて説明しながら、市民との交流と市政への理解を深めるとともに、まちづくり全般にわたる推進と市職員の研修・資質向上の機会ともしている。平成 30 年度は 8 部門 94 講座を登録し、メニューにない講座については「リクエスト講座」として対応する体制をとっている。また、公共施設への来館方式による「立ち寄り講座」を新設した。

⑨ 生涯学習人材バンク「おかやマナビスタッフ」活用事業

専門的な知識や技術、技能等を持つ市民に、講師又はボランティアとして登録・名簿管理し、講師等を依頼したい人と登録者を仲介する。

また、ボランティア登録をした方については、活動する際に、「学びのおかやサポート事業」の一環として、ボランティア保険に加入し、サポートを行っている。

⑩ 人権教育

1 人権の尊重

人権は、生命、自由、平等、幸福追求などについて、すべての人間がその尊厳に基づいて持っている、侵すことのできない固有の権利です。人権が尊重されるためには、権利についての理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、お互いの人権を認め合いながら生活し、人権が共存する社会づくりを進めることが重要です。

岡谷市は、平成 8 年 3 月、岡谷市民憲章の理念に基づき「人権尊重都市宣言」を掲げました。人権の世紀である 21 世紀を迎え、この「人権尊重都市宣言」を岡谷市の基本理念とし、市民一人ひとりがさらなる人権意識の高揚とかけがえのない存在として尊重される差別のない社会づくりのため、基本目標に沿った人権教育を推進します。

2 啓発の推進

(1) あらゆる場における人権教育の推進

ア 学校人権教育

- ・ 偏見や差別を正しく見抜く力を持つことができる教育を行う。
- ・ 児童生徒の身近な偏見や差別をなくすために、開かれた学級やともに生きる仲間づくりに努める。
- ・ 人権にかかわる授業研究、教職員研修の充実を図る。
- ・ 人権担当教諭の指導者としての資質の向上を図る。
- ・ 社会科教材として、副読本「あけぼの」の配本助成を行う。

イ 社会人権教育（幼稚園・保育園、学校、地域、企業）

- ・ 幼稚園、保育園における保護者を対象とした人権にかかわる家庭教育学級を実施する。
- ・ 小学校の P T A、児童を対象とした人権にかかわる家庭教育学級、講演会を実施する。
- ・ 生涯学習館等における各種学級の機会を捉えた人権教育講座を開催する。
- ・ 地域における人権にかかわる自主学習活動への支援・奨励を行う。

- ・市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）を活用する。
- ・企業担当者に対する人権学習支援・奨励、学習資料の提供を行う。
- ・企業担当者に対し人権教育指導者研修会への参加を奨励する。
- ・市職員研修における人権問題啓発用DVDの活用を促す。
- ・市新任職員に対する人権教育を実施する。

(2) 人権意識の啓発と教育活動の推進

- ・人権問題啓発映画・DVDの貸出し及びガイドブックの活用
- ・人権啓発リーフレットの活用

⑪ 学童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童及び生徒に対し、適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的としている。学童クラブは、児童福祉法第6条の3第2項に規定する「放課後児童健全育成事業」であり、運営は同法第34条の8に基づいている。平成18年4月から、岡谷市学童クラブ条例を施行し、学校登校日の利用についても有料化を図った。また、平成27年度からは対象学年を6年生まで拡大するとともに、開設時間の延長を行った。

1 入所できる児童及び生徒

- (1) 市内小学校の1年生から6年生までの児童
- (2) 長野県諏訪養護学校の小学部の児童及び中学部の生徒
- (3) 市長が特に入所の必要を認めた児童及び生徒

2 利用できる保護者の要件

保護者（父母等）や65歳未満の同居親族が、下記のいずれかに該当する場合に利用できる。父母が下記に該当しても、65歳未満の祖父母が働いていない場合は利用することができない。

- (1) 外勤労働に従事し、昼間家庭で児童等を養育できない場合
- (2) 自営労働に専従し、昼間家庭で児童等を養育できない場合
- (3) その他（真に養育できない場合に、特例として認める場合がある。）
 - ① 病気・身体障がい等により昼間家庭で児童等を養育できない場合
 - ② 家族の介護、看護により昼間家庭で児童等を養育できない場合
 - ③ 妊娠による体調不良時、産前産後の入院時など昼間家庭で児童等を養育できない場合
 - ④ 就学（職業訓練校等）の時間帯と重なり、昼間家庭で児童等を養育できない場合
 - ⑤ 求職中（ひとり親家庭のみが対象。学童クラブ入所後3ヶ月以内に就職先が決まらない場合は退所となる。また児童等の帰宅時間に求職活動をしていなければ利用することができない。）

3 開設日・開設時間

	学校の登校日	学校の休業日	
開設日	放課後	夏休み・年末年始休み・春休み・ 学校振替休業日、計画休業日 （日、祝日、8/13～16、12/29～ 1/3を除く）	土曜日 （祝日、8/13～16、12/29～1/3 を除く）
開設時間	下校時から 午後6時45分まで	午前7時45分から午後6時45分まで	

※土曜日は岡谷田中小学校学童クラブで開設

4 使用料

階層	区 分	学校の登校日 (月額)	学校の休業日 (日額)
第 1	生活保護世帯（単給世帯を含む。）	0 円	0 円
第 2	前年度分の市町村民税非課税世帯	900 円	600 円
第 3	前年度分の市町村民税非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	0 円	0 円
第 4	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯	2,300 円	600 円
第 5	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	2,000 円	600 円
第 6	前年度分の市町村民税所得割課税世帯	3,500 円	600 円

※同一世帯で 2 人の児童が同時に入所し利用した場合、2 人目以降の使用料は半額となる。

※同一世帯で 3 人以上の児童が同時に入所し利用した場合、3 人目以降の使用料は 4 分の 3 減免となる。

5 施設概要

(平成 30 年 5 月 31 日現在) 単位：人

学童クラブ名	開設年月日	施 設 (㎡)	登 録 児童数	指導員数		備 考
				嘱託	臨時	
岡谷田中小学校第 1 学童クラブ	S40. 10. 24	69. 00	42	1	2	H28 独立施設
岡谷田中小学校第 2 学童クラブ	H28. 4. 1	66. 40	43	1	2	
神明小学校第 1 学童クラブ	S41. 12. 26	91. 09	47	1	2	S45 独立施設
神明小学校第 2 学童クラブ	H27. 4. 1	62. 40	38	1	2	余裕教室利用
川岸小学校学童クラブ	S43. 10. 1	124. 65	62	1	3	余裕教室利用
長地小学校第 1 学童クラブ	S44. 10. 1	267. 30	50	1	2	H23 独立施設
長地小学校第 2 学童クラブ	H23. 8. 19		53	1	3	
小井川小学校第 1 学童クラブ	S51. 9. 1	114. 07	28	1	2	S51 独立施設
小井川小学校第 2 学童クラブ	H27. 4. 1	92. 48	15	1	1	余裕教室利用
上の原小学校学童クラブ	S52. 9. 6	85. 00	50	1	3	余裕教室利用
湊小学校学童クラブ	H9. 7. 28	80. 65	24	1	1	H12 併用施設
ひかりクラブ	H14. 4. 5	72. 38	5	1	2	H28 独立施設
合 計			457	12	25	
土曜学童クラブ	H14. 4. 6	69. 00	69	2	2～4	岡谷田中小第 1 学童利用
ひかりクラブ（土曜）	H19. 4. 7		2			

※土曜学童の登録児童数及び指導員数は各学童クラブと重複している。

※登録児童数は登校日学童クラブの登録数を記載している。

⑫ 放課後子どもプラン推進事業

放課後子どもの居場所づくり事業と学童クラブ事業の連携により岡谷市としての総合的な放課後対策を推進する。

(3) 図 書 館

① 重点目標

- 1 図書及び視聴覚資料の充実、整備と提供
- 2 「第2次岡谷市子ども読書活動推進計画」の推進
- 3 諏訪地域図書館との情報ネットワークシステム広域利用の推進
- 4 市民読書の普及と推進
- 5 調査、研究に対する情報提供サービスの向上
- 6 ボランティアの育成、読書関係団体の育成と連携、協力

② 平成30年度重点施策

- 1 第2次岡谷市子ども読書活動推進計画の推進及び第3次岡谷市子ども読書活動推進計画の策定
 - ・「うち読でエコ読」の推進
 - ・「子ども読書会議」の実施
 - ・ブックリストの活用促進
 - ・「おはなしの森」「ちいさなおはなしの森」「としょかん子ども読書まつり」の充実等
- 2 図書館活用の促進
 - ・図書館を身近にし、読書普及につながる事業の推進による底辺の拡大
はつらつ来(らい)ぶらり講座、まちかど図書館、おやこルーム、図書館 de 講座、リサイクル本配布事業等
 - ・配架の工夫やテーマブックコーナーの充実
 - ・図書館の広報充実(ホームページ、シルキーチャンネル、図書館メールマガジン、げんきっずおかや等)
- 3 郷土資料及び視聴覚資料の充実
- 4 一般業務ボランティアの参加拡大、読み聞かせボランティア連絡会の立上げ

③ 施設

- | | | | | |
|---|-----|----------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| 1 | 名 称 | 市立岡谷図書館 | | |
| 2 | 所在地 | 岡谷市本町四丁目1番39号 | | |
| 3 | 開 設 | 昭和20年4月1日(昭和54年9月8日現在地で開館) | | |
| 4 | 建 物 | 鉄筋コンクリート2階建一部地階 | | |
| | | 敷地面積 | 4, 090. 22 m ² | |
| | | 建築面積 | 1, 199. 04 m ² | 延床面積 1, 942. 71 m ² |

④ 利用案内

- 1 休館日
 - (1) 月曜日。ただし、この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときを除く。
 - (2) 休日の翌日。ただし、この日が休日、土曜日又は日曜日に当たるときを除く。
 - (3) 年末、年始(12月28日から翌年1月3日まで)

(4) 特別整理期間（９月１日から１０月３１日までのうち１０日間）

(5) 資料整理日（毎月最後の金曜日。ただし、この日が休日に当たるときは、その前日）

２ 開館時間 午前１０時～午後７時

３ 館内閲覧 開架式（自由選択）

４ 館外閲覧 図書（録音資料も含む）は１０点以内、映像資料３点以内 貸出期間２週間

⑤ 蔵書冊数等

総蔵書冊数 ２３２，５９５冊

分類別蔵書冊数、受入及び除籍冊数

（平成３０年３月３１日現在）

分 類	蔵 書 冊 数		２９年度受入冊数		除籍 冊数
		構成比		構成比	
	冊	%	冊	%	冊
０ 総 記	4,693	2.8	83	1.9	44
１ 哲 学	5,653	3.4	119	2.7	98
２ 歴 史	14,089	8.4	386	8.7	236
３ 社会科学	19,461	11.6	487	11.0	172
４ 自然科学	7,062	4.2	327	7.4	88
５ 技 術	7,011	4.2	248	5.6	259
６ 産 業	4,270	2.5	117	2.7	28
７ 芸 術	11,260	6.7	251	5.7	50
８ 言 語	1,693	1.0	39	0.9	14
９ 文 学	41,815	25.4	841	19.1	902
外 国 語	28	0.0	10	0.2	0
大 活 字	639	0.4	9	0.2	1
コ ミ ッ ク	3,609	2.3	211	4.8	380
児 童	45,813	27.2	1,285	29.1	328
小 計	167,096	100.0	4,413	100.0	2,600
団 体 貸 出 用	6,276		172		450
公民館図書室	24,279		583		599
紙 芝 居	1,256		5		129
保育園・幼稚園 親子文庫	33,688		808		1,285
合 計	232,595		5,981		5,063

再掲 (内書)	区 分	蔵 書 冊 数	29 年度受入冊数	除籍冊数
	郷 土	16,252 冊	222 冊	4 冊
	点 字	631 冊	0 冊	0 冊
	洋 書	1,701 冊	10 冊	0 冊
	地区公民館図書室	蔵 書 冊 数	29 年度受入冊数	除籍冊数
	湊 公 民 館	7,401 冊	202 冊	220 冊
	川岸公民館	8,422 冊	186 冊	150 冊
	長地公民館	8,456 冊	195 冊	229 冊
	合 計	24,279 冊	583 冊	599 冊

⑥ 利用状況(平成29年度)

1 館外貸出利用状況

区 分	貸 出 冊 数		利用者別貸出冊数		登録者数	
		内児童図書	中学生以上	児 童		内児童
本 館 計	冊	冊	冊	冊	人	人
	227,855	84,546	187,296	40,559	29,032	1,840
個人貸出	211,156	81,218	170,597	40,559		
団体貸出	3,028	482	3,028			
相互貸借	13,671	2,846	13,671			
湊 公民館	5,406	5,327	2,858	2,548	510	97
川岸公民館	3,655	3,506	2,040	1,615	723	110
長地公民館	9,354	8,873	1,872	7,482	726	124
保育園幼稚園 園親子文庫	47,325	47,325	9,586	37,739	—	—
合 計	293,595	149,577	203,652	89,943	30,991	2,171

※ 個人貸出の内、視聴覚資料利用数 7,968 点

(内訳：ビデオ 96 点、DVD 5,392 点、カセット 260 点、CD 2,220 点)

※ 保育園・幼稚園親子文庫は、保育園・幼稚園における読書環境を整え、親と子が読書を通して、ふれあいを深め心の絆を結び合い、明るい家庭づくりと子どもの健全育成に資することを願って、昭和59年に開設された。市内全保育園・幼稚園の親子文庫へ絵本を配本し、園児と保護者の利用に供している。

2 団体貸出利用状況(本館)

区 分	回 数	貸出冊数	区 分	回 数	貸出冊数
学校・学級文庫	—	407 冊	イルフ童画館	3 回	21 冊
P T A 図書委員会	—	2,402 冊	こどものくに	1 回	25 冊
保育園(6園)	13 回	93 冊	川岸公民館	1 回	1 冊
学童クラブ(1校)	1 回	1 冊	蚕糸博物館	2 回	2 冊
読み聞かせボランティア 団体(6団体)	16 回	43 冊	岡谷市民病院	1 回	8 冊

湖畔病院	4 回	20 冊	乳幼児サークル (2 団体)	3 回	5 冊
			合 計		3,028 冊

学校・学級文庫内訳

<小学校>

学 校 名	貸 出 内 訳
神明小学校	図書室 21 冊、3 年生 1 学級 19 冊
岡谷田中小学校	図書室 14 冊、3 年生 1 学級 13 冊
小井川小学校	図書室 21 冊、6 年生 1 学級 10 冊
長地小学校	図書室 22 冊
湊小学校	図書室 25 冊
上の原小学校	2 年生 1 学級、 3 冊、4 年生 1 学級 32 冊
川岸小学校	図書室 28 冊
小学校 計	208 冊

<中学校・高等学校>

学 校 名	貸 出 内 訳	学 校 名	貸 出 内 訳	貸 出 合 計
岡谷北部中学校	100 冊	岡谷東高等学校	45 冊	
		岡谷南高等学校	54 冊	
中学校 計	100 冊	高等学校 計	99 冊	407 冊

※学級文庫は、身近なところに本のある環境づくりと、市立図書館の活用を目指して、平成2年度より希望の学校・学級を単位としてスタートした。

3 相互貸借内訳

貸 出 先	冊 数	貸 出 先	冊 数
諏訪市図書館	3,701 冊	富士見町図書館	1,596 冊
信州風樹文庫	707 冊	原村図書館	1,201 冊
茅野市図書館	3,787 冊	県内図書館	68 冊
下諏訪町立図書館	2,607 冊	県外図書館	4 冊
		合 計	13,671 冊

⑦ 平成30年度事業概要 (一般貸出業務以外のもの)

事業 ・ 行事名	期間または回数	内 容
おはなしの森	毎週土曜日	語り、絵本の読み聞かせ、紙芝居等
ちいさなおはなしの森 日曜日のちいさなおはなしの森	毎月第3火曜日 5/27 12/9 1/27	乳幼児向け 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、手遊び等
夏休み特集おはなしの森 クリスマス特集おはなしの森	8/8 12/22	戦争の絵本の読み聞かせ、諏訪地方の伝説民話 絵本の読み聞かせ、パネルシアター等

こわ〜いおはなしの森		8/4	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
ぬいぐるみのおとまり会		11/17	お気に入りのぬいぐるみを図書館にお泊りさせ、おはなし会、図書館探検
としょかん子ども読書まつり		10/27 10/28	図書館関係団体（約11団体）と協力 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、人形劇本の紹介等
子ども工作教室		7/28 1/26	夏休み、冬休みの工作教室
としょかんキッズ （1日図書館職員体験）		8/7〜8/9 3/26〜3/28	小学校4年生〜高校生による図書館職員体験
ファーストブックプレゼント事業		毎月	市内0歳児の9・10ヶ月児健診時に、絵本のプレゼント
親子ルーム設置事業		通年（会議室未使用時開放）	図書館2階の会議室を親子ルームとして開放し親子で絵本を介してふれあう環境の提供
うち読でエコ読		通年	毎月第3日曜日（家庭の日）を「うち読でエコ読の日」として家庭でテレビ等を消して読書の時間をつくり、読書を通じて家族のコミュニケーションを図る取り組みの提唱
子ども読書会議		8/3	子どもたちの目線で子どもの読書活動に関する意見や提言を取り上げ、子どもたちが積極的に意見交換する会議
はつらつ来（らい）ぶらり講座		随時	高齢者の図書館利用の促進と認知症予防・介護予防を図るため、シニア世代の関心が高い図書コーナーを設置及び図書館利用講座等を開催
まちかど図書館		通年	市民から受けた寄贈本や、図書館のリサイクル図書を市内公共施設等に置き、いつでもどこでも本が身近にある読書によるまちづくりを推進
図書館 de 講座		6/23〜 7月	男女共同参画週間コーナー設置（企画課との協働）等 岡谷市防災の日 テーマブックスコーナーの設置（危機管理室との協働）
おかぽんポイント付与		通年	貸出で5ポイント付与（商業観光課との協働）
職員派遣による普及活動	地区グループ、関係機関等の依頼による読み聞かせ	随時	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
	絵本と出会う親子ふれあい体験事業	毎月（12回）	10ヶ月児健診時に親子を対象に、本の読み聞かせ、手遊び等実施

関係団体事業	(読書サークル協議会)	
	リサイクル本配布事業	9/30 リサイクル本を市民に提供
	漱石読書会	月 1 回 漱石の世界
	日曜日の読書会	月 1 回 百人一首
	(おはなしだいすきポポーの木)	
	読み聞かせ講座	6/23 「絵本づくりに込めた思いと絵の中のエピソード」 講師 さとうわきこ
		7/21 「読み聞かせ講座 基本の『き』パート 2」 講師 宮坂 米子
		2/9 「絵本と紙芝居からこどもの心をつかむには」 講師 とよたかずひこ
	(その他)	
	おとなのための朗読会	6/24、2/10 朗読の会まどかによるおとなのための朗読会
	読書運動の推進	通年 幼稚園保育園親子文庫委員、小学校 P T A 図書委員会の協力により実施

（４）美術考古館

① 重点目標

- 1 美術作品及び考古資料等の展示及び案内の充実
- 2 ワークショップの開催等による学習活動の推進
- 3 学校との連携・利用促進
- 4 市民ギャラリー・交流ひろば等の利用促進
- 5 資料の収集・整理・保存・調査研究・活用
- 6 施設の適切な維持と管理
- 7 周辺文化施設や商店街等との連携

② 平成３０年度重点施策

- 1 開館５周年記念事業の開催
 - ・美術特別企画展「生誕 100 周年 早出守雄展」
「県展 70 年を支えた岡谷の巨匠展」
 - ・美術収蔵作品展「生誕 110 周年 野村千春展」
 - ・考古特別企画展「華麗な装飾 火焰と水煙の縄文土器展」
「恵みを生み出す器 縄文中期の顔面把手大集合」
 - ・若手アーティスト育成展示
 - ・館長の体験の絵画教室及び魅力あるワークショップ
- 2 収蔵美術作品の公開展示
- 3 市内遺跡出土品の公開展示
- 4 「岡谷市内小学校児童版画展」など学校と連携した企画展の開催
- 5 春市 2018、おかやフェスタ等の周辺文化施設や商店街と連携したイベントへの参加

③ 施設

市立岡谷美術考古館

所 在 地	岡谷市中央町一丁目 9 番 8 号
開館年月日	昭和 45 年 11 月 3 日
建 物	鉄筋コンクリート 3 階建 1,238.85 m ²
備 考	昭和 47 年 12 月 1 日 登録博物館として県教育委員会登録 平成 25 年 11 月 3 日 現在地に移転・開館

④ 利用案内

- 1 休館日 水曜日、国民の祝日の翌日（ただし、この日が休日にあたるときは開館する）
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
- 2 開館時間 午前 10 時～午後 7 時
- 3 入館料 一般おとな（高校生以上） 350 円 こども（小中学生）150 円
団体（10 名以上）おとな 250 円 団体こども 100 円
ただし、特別企画展開催中は特別料金
共通入館料（美術考古館、イルフ童画館、蚕糸博物館、旧林家住宅、旧渡辺家住宅）
5 館入館券 一般 1,100 円 高校生 900 円 中学生 600 円 小学生 400 円
3 館入館券 一般 900 円 高校生 700 円 中学生 500 円 小学生 350 円
2 館入館券 一般 650 円 高校生 600 円 中学生 300 円 小学生 300 円
年間券（おとな） 1,000 円
ただし、諏訪 6 市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料

⑤ 資 料(平成30年4月1日現在)

1 美術関係資料

作 家 名	石膏	セメント	大理石	ブロンズ	木彫	テラコッタ	デッサン	日本画	油彩画	水彩画	水墨画	中国画	工芸	書	版画	複製画	造形資料	刀剣	計
武 井 直 也	50	1	6	58		1	1		3										120
武 井 斌	12		1	12	1		1												27
小 口 節 三	7			9	1	1													18
清 水 多 嘉 示				8			1												9
大 和 作 内				2															2
北 村 西 望				1															1
洞 沢 今 朝 夫					1														1
高 橋 貞 一 郎							1		16										17
高 橋 靖 夫							3		32										35
山 田 郁 夫							3			18									21
宮 原 麗 子							4		24										28
宮 原 む つ 美									6										6
杉 原 元 人								1											1
伝 狩 野 芳 崖								1											1
宮 坂 巴 堂								1											1
岸 竹 堂								1											1
安 藤 耕 斎								1											1
川 崎 春 彦								1											1
花 岡 哲 象								13											13
野 村 千 春									128										128
田 中 隆 夫									22										22
織 田 昇									45										45
志 村 一 男									6										6
篠 原 昭 登									2										2
中 村 一 郎									2										2
西 岡 瑞 穂									1										1
堀 内 唯 生									7										7
松 井 緑									1										1
辰 野 登 恵 子							1		3						10				14
宮 坂 昭 吉									4										4
小 平 鼎									12										12
東 郷 青 児									1										1
早 出 守 雄										30									30

林 勇										1								1	
根 岸 芳 郎										8								8	
中 川 紀 元											2							2	
児 玉 三 鈴											1							1	
天 竜 道 人											1							1	
葛 新 民												1						1	
小 口 正 二													1					1	
浜 達 也														1				1	
小 泉 親 人														1				1	
小 口 稔														1				1	
和 泉 湧 三														2				2	
和 泉 湧 清														2				2	
八 幡 郊 処															4			4	
八 幡 竹 邨															1			1	
津 金 雀 仙															20			20	
上 條 信 山															1			1	
高 浜 虚 子															1			1	
三 井 親 和															1			1	
下 条 康 麿 呂															1			1	
太 田 谷 山															3			3	
木 喰 上 人															3			3	
武 井 吉 太 郎																9		9	
小 口 作 太 郎																9		9	
増 沢 莊 一 郎																41		41	
張 懷 江																8		8	
張 遠 帆																1		1	
赤 壁 画 他																	12	12	
小口太郎エスキース																	1	1	
今 井 章 雄										1								1	
小口雀甫(賢一)															1			1	
佐原永泉(久吉)									1									1	
宮 坂 覚 郎														1				1	
作 者 不 詳																	8	8	
計	69	1	7	90	3	2	15	20	316	57	4	1	9	36	78	12	1	8	729

2 考古関係資料

種 類	縄文時代	弥生時代	古墳時代以降	計
	点	点	点	点
土 器	1,706	759	2,543	5,008
土 製 品	1,136	95	579	1,810
石 器	16,043	465	33	16,541
金 属 器	0	9	853	862
レ プ リ カ	2	0	0	2
計	18,887	1,328	4,008	24,223

・八幡一郎関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数	種 類	点 数
著 書	96	歴 史 一 般	92	美 術	26
考 古	121	遺 跡 地 図	48	雑 誌 類	132
民 族	154	辞 典 類	119	そ の 他	120
民 俗	60	報 告 書	56	計	1,024

3 民俗関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数
衣 ・ 食 ・ 住	920	民 俗 知 識	88
生 産 生 業	381	民 俗 ・ 芸 能 ・ 娯 楽 ・ 遊 戯	87
交 通 ・ 運 輸 ・ 通 信	59	人 の 一 生 (通 過 儀 礼)	18
交 易	78	年 中 行 事	10
社 会 生 活	48	そ の 他	45
信 仰	12	計	1,746

⑥ 利用状況（平成29年度）

1 全入館者数 （開館日数 300日）

※平成29年4月1日～平成30年3月31日

個 人		団 体		年間券 (販売数)	共通券	減 免 割 引 入館者	小中学生 等 無 料 入 館 者	入館者 合 計	入館料 合 計
高校生 以 上	小中学生	高校生以 上	小中学生						
人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
1,081	9	36	0	461 (18)	283 (157)	629	8,784	11,283	597,000

⑦ 平成30年度 主要事業

事業名	事業概要	実施月日等
美術考古館 管理事業	・美術考古館の管理運営 ・美術考古関係発刊図書の販売・ミュージアムグッズの販売 ・岡谷美術考古館だよりの発刊 ・美術・考古資料の整理・保存・調査研究・活用 ・地元出身作家等の作品の収集 ・周辺文化施設や商店街等との連携	年間
学習事業	・体験学習スペースでの考古体験 ・美術・考古に気軽に触れるワークショップの開催 ・展示室見学の際の展示解説などの学習支援 ・彫刻クリーニング ・若手アーティスト育成展示	年間 10月 2月中旬～3月中旬
展示事業	・美術展示 - 収蔵作品展Ⅰ「墨の世界 東洋の美」 - 収蔵作品展Ⅱ「生誕110周年 野村千春展」 - 収蔵作品展Ⅲ - 収蔵作品展Ⅳ ・交流ひろば展示 「岡谷市内中学校・諏訪・大学の文化祭ポスター原画展」 「篆刻の鬼才八幡郊処」ほか収蔵作家、収蔵作品紹介コーナー ・考古展示 - 縄文時代から平安時代までの通史展示 - 国重要文化財顔面把手付深鉢形土器・岡谷市指定文化財壺を持つ妊婦土偶など	4月26日～6月24日 11月8日～1月6日 1月～3月 3月～4月 随時 年間
企画展等開催 事業	・美術特別企画展 「生誕100周年 早出守雄展」 「県展70年を支えた岡谷の巨匠展」 ・考古特別企画展 「華麗な装飾 火焰と水煙の縄文土器展」 「恵みを生み出す器 縄文中期の顔面把手大集合」 ・美術企画展 「岡谷市内小学校児童版画展」 ・考古企画展 「国内を結ぶ諏訪の黒曜石」	6月28日～8月26日 8月30日～11月4日 7月14日～8月15日 8月18日～9月17日 1月中旬～2月中旬 4月～7月

(5) 文化財

① 重点目標

国・長野県・岡谷市から指定された文化財の保護と活用

② 平成30年度重点施策

- 1 市内指定文化財の調査・保護事業
- 2 旧林家住宅及び旧渡辺家住宅の管理事業
- 3 個人住宅等小規模開発事業に先立つ遺跡の試掘、発掘調査による埋蔵文化財の保護と保存

③ 岡谷市文化財保護審議会委員

会 長 宮坂 正博 職務代理 小口 敏高

(平成30年4月1日)

氏 名	就任年月日	任 期
宮坂 正博	平成 30. 4. 1	平成 32. 3. 31
小口 敏高	平成 30. 4. 1	平成 32. 3. 31
熊澤 祥吉	平成 30. 4. 1	平成 32. 3. 31
武居 薫	平成 30. 4. 1	平成 32. 3. 31
宮坂 春夫	平成 30. 4. 1	平成 32. 3. 31
味澤 宏重	平成 30. 4. 1	平成 32. 3. 31

④ 施設

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧 渡 辺 家 住 宅	岡谷市長地柴宮三丁目 8-40	平成 3. 9. 8

- 1 休館日 月・木・金曜日、11月4日から翌年の3月19日まで
- 2 入館料
 - ・一般高校生以上 310 円、小中学生 150 円、団体（10 人以上）と高校生以上 210 円
小中学生 100 円ただし、諏訪 6 市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料。
 - ・共通入館券（旧渡辺家住宅、旧林家住宅、岡谷美術考古館、岡谷蚕糸博物館、イルフ童画館）
 - 5 館入館券 一般 1,100 円、高校生 900 円、中学生 600 円、小学生 400 円
 - 3 館入館券 一般 900 円、高校生 700 円、中学生 500 円、小学生 350 円
 - 2 館入館券 一般 650 円、高校生 600 円、中学生 300 円、小学生 300 円

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧 林 家 住 宅	岡谷市御倉町 2-20	平成 6. 4. 21

- 1 休館日 水曜日、国民の祝日の翌日（ただし、この日が休日にあたるときは開館する）、年末年始(12月29日～1月3日)
- 2 入館料
 - ・一般高校生以上 570 円、小中学生 260 円、団体（10 人以上）高校生以上 360 円
小中学生 100 円ただし、諏訪 6 市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料。
 - ・共通入館券（旧渡辺家住宅に同じ）

⑤ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財

1 指定・登録文化財数

	有形文化財								無形民俗文化財	有形民俗文化財	史跡	天然記念物	計
	仏像	木喰作品	石造物	絵画	建造物	古文書類	工芸	考古資料					
国指定文化財					1			1			1		3
国登録有形文化財					23								23
県指定文化財	2				1				1	442			446
市指定文化財	25	34	5	1	13	2	3	10			11	18	122

2 国指定文化財

No.	名 称	所有者 管理者	所在地・遺構及び形式	指定年月日
1	国指定史跡 梨久保遺跡 なしくぼ	岡谷市教育委員会	長地梨久保二丁目 縄文時代	昭和 59. 1. 11
2	国指定重要文化財 顔面把手付深鉢形土器 がんめん とつ てつき ふか ぼちがた どき	市立岡谷美術考古館	中央町一丁目 9-8 縄文時代	平成 元. 6. 12
3	国指定重要文化財 旧林家住宅 主屋 おもや	岡谷市教育委員会	御倉町 2-20 明治時代 木造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 219. 03 m ²	平成 14. 12. 26
	国指定重要文化財 旧林家住宅 離れ はな	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 74. 45 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 洋館	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造、鉄板葺 建築面積 84. 46 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 内蔵穀蔵及び味噌蔵 うちぐらこくぐら	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 81. 14 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 外蔵 そとぐら	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 129. 62 m ²	〃
	附・板絵図 2 枚 平面図(明治 41 年 5 月調製) 1 枚 いた え ず	〃	御倉町 2-20	〃

3 国登録有形文化財

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	構造及び形式	登録告示年月日
1	中央印刷社屋 (旧片倉組事務所)	川岸上一丁目 1-20	中央印刷 株式会社	木造 2 階建、銅板葺建築面 積 335 m ²	平成 8. 12. 26
2	片倉家住宅主屋 おもや	川岸上一丁目 21-6	片倉工業 株式会社	木造平屋建、茅葺 建築面積 215 m ²	平成 11. 7. 21

3	片倉家住宅西の蔵	〃	〃	土蔵造 2 階建、金属板葺 建築面積 25 m ²	〃
4	片倉家住宅味噌蔵	〃	〃	土蔵造 2 階建、金属板葺 建築面積 19 m ²	〃
5	片倉家住宅南の蔵	〃	〃	土蔵造 2 階建、金属板葺 建築面積 29 m ²	〃
6	片倉家住宅文庫蔵	〃	〃	土蔵造 3 階建、鉄板葺 建築面積 65 m ²	〃
7	今井家住宅主屋 ^{おもや}	今井 1832	個人	木造平屋建、鉄板（板葺） 建築面積 449.98 m ²	平成 11.10.28
8	今井家住宅文庫蔵	〃	〃	木造土蔵造 2 階建、石葺 建築面積 33.05 m ²	〃
9	今井家住宅米蔵	〃	〃	木造土蔵造 2 階建、石葺 建築面積 33.05 m ²	〃
10	今井家住宅木蔵 ^{きぐら}	〃	〃	木造土蔵造 2 階建、鉄板葺 建築面積 46.28 m ²	〃
11	今井家住宅板蔵	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺建築面 積 64.46 m ²	〃
12	今井家住宅水車小屋	〃	〃	木造平屋建、 建築面積 7.30 m ²	〃
13	今井家住宅表門	〃	〃	木造、銅板葺間口 5.10m、 奥行 0.8m	〃
14	今井家住宅中門	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺（土塀 付）間口 2.05m、奥行 0.8 m	〃
15	今井家住宅木小屋	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺建築面 積 39.95 m ²	〃
16	今井家住宅井戸	〃	〃	石積深さ 6m、木造上屋鉄 板葺、 建築面積 0.74 m ²	〃
17	今井家住宅屋敷神 ^{やしきがみ}	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺社殿建 築面積 1.13 m ²	〃
18	旧岡谷上水道集水溝 ^{しゅうすいこう}	山 手 町 3-4071-口	(宗)十五社	石造り幅 4.0m、高さ 3.0 m、奥行 19.0m	平成 15.4. 8
19	旧山一林組製糸事務所	中 央 町 1-13-17	岡谷市教 育委員会	木造 2 階建、瓦葺 建築面積 316 m ²	平成 17.2.28
20	旧山一林組製糸守衛所	〃	〃	木造平屋建、亜鉛メッキ鋼 板葺 建築面積 14 m ²	〃
21	旧岡谷市役所庁舎	幸町 8-1	岡 谷 市	鉄筋コンクリート造 2 階 建瓦葺 建築面積 792 m ²	〃
22	小口家別邸 「雀龍庵」主屋 ^{かくりゅうあん おもや}	銀座 2-4-3	個人	木造 2 階建切妻瓦葺建築面 積 231 m ²	平成 23.10.28
23	小口家別邸 「雀龍庵」土蔵 ^{かくりゅうあん}	〃	〃	木造 2 階建切妻瓦葺建築面 積 66.10 m ²	〃

4 長野県指定長野県宝

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	旧 渡 辺 家 住 宅	長地柴宮三丁目 8-40	岡谷市教育委員会	平成 5. 8. 12
2	木造阿弥陀如来坐像	長地柴宮三丁目 3-22	平 福 寺	平成 8. 9. 9
3	木造大日如来坐像 (胎蔵界)	本町二丁目 6-43	照 光 寺	平成 17. 9. 26

5 長野県指定有形民俗文化財 (蚕糸資料コレクション昭和 41 年 3 月 17 日県宝指定)

種 類	種	点	種 類	種	点	種 類	種	点	種 類	種	点
繰糸器械類	18	21	生糸検査器具	27	27	その他の器具	27	27	印・版木類	3	66
揚返器具	7	8	計量器類	22	53	鑑札類	13	13			
繰糸器具部品	54	204	荷造器具	7	8	標本類	14	15	計	192	442

市立岡谷蚕糸博物館所蔵

6 長野県指定無形民俗文化財

No.	名 称	所在地	保存団体の住所及び名称	指定年月日
1	諏訪大社の御柱祭り	岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村	諏訪市大字中洲宮山 1 諏訪大社上社内 諏訪郡下諏訪町 5828 諏訪大社下社内 諏訪大社式年造営御柱大祭保存会	平成 6. 8. 15

7 岡谷市指定有形文化財

(1) 仏像

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造大日如来坐像 (金剛界)	正徳 3 年 (1713 年)	本町二丁目 6-43	照 光 寺	昭和 51. 3. 15
2	厨子入木造千手観音・不動明王・多聞天立像	不 明	〃	〃	〃
3	木 造 弘 法 大 師 坐 像	〃	〃	〃	〃
4	木造仁王立像 (阿・吽)	〃	〃	〃	〃
5	木 造 聖 観 音 立 像	〃	川岸西二丁目 6	新 倉 区	〃
6	木 造 毘 沙 門 天 立 像	室町時代	川岸西二丁目 7	〃	〃
7	木 造 十 一 面 観 音 坐 像	永正 3 年 (1506 年)	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
8	木造大日如来坐像 (金剛界)	不 明	長地小萩一丁目 19-9	真 秀 寺	〃
9	木 造 不 動 明 王 坐 像	〃	〃	〃	〃
10	木造大日如来坐像 (金剛界)	〃	長地柴宮三丁目 3-22	平 福 寺	〃
11	木 造 十 一 面 観 音 立 像	〃	〃	〃	〃

12	木造聖観音坐像	江戸初期	今井上の原 38-1	今井観音堂	昭和 60. 6. 4
13	木造興教大師坐像	室町時代	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
14	木造大日如来坐像	〃	東銀座一丁目 14-2	小井川区	〃
15	木造阿弥陀如来立像	江戸初期	堀ノ内二丁目 7-22	広円寺	〃
16	木造賓頭盧尊者坐像	室町時代	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
17	木造阿弥陀如来坐像	〃	川岸上二丁目 6-6	真福寺	〃
18	木造十一面観音坐像	江戸初期	川岸東四丁目 16-5	昌福寺	〃
19	木造日光菩薩立像	室町時代	長地柴宮三丁目 3-22	平福寺	〃
20	木造月光菩薩立像	〃	〃	〃	〃
21	木造清涼大師坐像	江戸前期	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	〃
22	石造佉羅陀山地蔵菩薩坐像	文政 10 年 (1827 年)	本町二丁目 6-43	照光寺	昭和 61. 9. 4
23	石造釈迦三尊仏	慶応 4 年 (1868 年)	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	平成元. 6. 22
24	石造西国三十三所観音	慶応 4 年 (1868 年)	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	平成元. 6. 22
25	木造馬鳴菩薩坐像 附 馬鳴大菩薩尊像板下画料 領収書 1 枚	昭和 9 年 (1934 年)	本町二丁目 6-43	照光寺	平成 23. 5. 9

(2) 木喰作品

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造吉祥天女坐像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	昭和 43. 4. 1
2	木造大黒天坐像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	昭和 43. 4. 1
3	木造阿弥陀如来坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	—	個人	〃
4	木造西宮大神宮恵比須坐像	〃	—	個人	〃
5	木造地藏菩薩立像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	〃
6	木造南無大師遍照金剛坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	—	個人	〃
7	木造文珠菩薩坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	中央町一丁目 9-8	個人 市立岡谷美術考古館	〃
8	木造南無大師遍照金剛坐像	享和 2 年 (1802 年)	—	個人	〃
9	米 寿 の 軸	文化 2 年 (1805 年)	—	個人	〃

10	まる しの 軸 丸 心 の 軸	文化 3 年 頃 (1806 年)	—	個人	〃
11	ねん とく の 軸 年 徳 の 軸	文化 2 年 (1805 年)	—	個人	〃
12	ご かい こく ちゅう おん やど ひかえ ちよう 御廻国 中 御宿 控 帳	文政年間	—	個人	〃
13	はいたき ふどう みよう おう 木造 拝滝 不動明王 坐像	文化 3 年 頃 (1806 年)	長地鎮二丁目 19-18	中 屋 区	〃
14	はいたき ふどう ぜん 木造 拝滝 不動尊 坐像	享和 2 年 (1802 年)	本 町 二 丁 目 6-43	照 光 寺	〃
15	木造 薬師 如来 坐像	文化 3 年 (1806 年)	中央町二丁目 13-8	上 浜 区	〃
16	大 日 如 来 軸	文化 4 年 (1807 年)	本 町 二 丁 目 6-43	照 光 寺	昭和 51. 3. 15
17	木造 大日 如来 坐像	文化 3 年 (1806 年)	—	個人	〃
18	みよう ごう 軸 名 号 軸	文化 3 年 (1806 年)	中央町一丁目 9-8	市立 岡谷美術考古館	昭和 51. 3. 15
19	ねん とく 軸 年 徳 軸	文化 4 年 (1807 年)	中央町一丁目 9-8	市立 岡谷美術考古館	〃
20	おお みね さん しゃ だい ごん げん 大峯 三 社 大権 現 軸	享和 2 年 (1802 年)	—	個人	〃
21	く じ の ほう ごう 軸 九 字 の 宝 号 軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
22	しょ ぶつ の 軸 諸 仏 の 軸	〃	—	個人	〃
23	おん たけ ざ おう だい ごん げん 御嶽 座王 大権 現 軸	享和 2 年 (1802 年)	—	個人	〃
24	ふどう ぜん ぐう でん かん げ ちよう 不動明王 付属文書 不動尊 供殿 勧化帳	天 保 2 年 (1831 年)	—	個人	〃
25	ご ち にょ らい 軸 五 智 如 来 軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
26	さん しゃ だい ごん げん 三 社 大権 現 軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
27	みよう ごう 軸 名 号 軸	文化 4 年 (1807 年)	—	個人	〃
28	つうりき じ ざい ふどう みよう おう せき ひ 通力 自在 不動明王 石碑	享和元年 (1801 年)	山下町二丁目 11	間 下 区	〃
29	つうりき じ ざい ふどう みよう おう せき ひ 通力 自在 不動明王 石碑 付属文書 つうりき じ ざい ふどう みよう おう せき ひ 通力 自在 不動明王 石碑 こんりゅう ひかえ 建立 扣	〃	—	個人	〃
30	さん ぐ そく あ じ 軸 三 点 具 足 阿 字 軸	文化 4 年 (1807 年)	中央町一丁目 9-8	市立 岡谷美術考古館	〃
31	しょ しん の 軸 諸 神 の 軸	〃	—	個人	〃
32	びん ず る ぜん じゃ 像 木造 賓頭 盧 尊者 像	〃	長地梨久保二 丁目 8-32	中 村 区	〃
33	びん ず る ぜん じゃ ぞう 賓頭盧 尊者 像 付属文書 びん ず る ぜん じゃ こんりゅう にゅう ちよう 賓頭盧 尊者 建立 入用 帳	〃	〃	〃	〃

34	五 点 阿 字 軸	〃	本 町 二 丁 目 6-43	照 光 寺	〃
----	-----------	---	-------------------	-------	---

(3) 石造物

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	宗 平 寺 跡 の 板 碑	不明	加茂町四丁目	小 井 川 区	昭和 42. 3. 6
2	永 田 徳 本 の 藍 塔	不明	—	個人	昭和 42. 3. 6
3	沢 の 石 幢	承応 4 年 (1655 年)	川岸西一丁目 (新倉・沢)	新 倉 区	平成元. 6. 22
4	尼 堂 墓 地 の 石 幢	寛文 4 年 (1664 年)	長地柴宮一丁目 19	東 堀 区	〃
5	花 岡 公 園 の 石 灯 籠	元治元年 (1864 年)	湊一丁目	花 岡 区	平成元. 7. 13

(4) 絵画

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	十 六 善 神 図 幅	室町時代	長地小萩一丁目 19-9	真 秀 寺	昭和 55. 5. 9

(5) 建造物

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	駒 沢 諏 訪 社 本 殿	川岸東四丁目 15-22	駒沢区神社委員会	平成 3. 12. 3
2	小 口 薬 師 堂 本 堂	銀座二丁目 15-1	小 口 区	〃
3	広 円 寺 本 堂	堀ノ内二丁目 7	広 円 寺	平成 14. 2. 25
4	今 井 十 五 社 本 殿	神明町四丁目 2-1	今 井 区	平成 15. 2. 21
5	今 井 十 五 社 舞 屋	〃	〃	〃
6	今井十五社境内社津島社本殿	〃	〃	〃
7	小 井 川 賀 茂 神 社 本 殿	加茂町三丁目 6-8	小井川賀茂神社	〃
8	照 光 寺 本 堂	本町二丁目 6-43	照 光 寺	〃
9	東 堀 正 八 幡 宮 本 殿	長地柴宮一丁目 4-13	東 堀 正 八 幡 宮	〃
10	東 堀 正 八 幡 宮 拝 殿	〃	〃	〃
11	東 堀 正 八 幡 宮 舞 屋	〃	〃	〃
12	小坂観音院観音堂 附 棟札・ 華鬘・厨子・格天井	湊四丁目 15-22	龍 光 山 観 音 院	平成 16. 3. 30

13	照光寺蚕霊供養塔 附 棟札1枚 蚕霊供養塔関係資料41点	本町二丁目 6-43	照 光 寺	平成 23. 5. 9
----	---------------------------------	------------	-------	-------------

(6) 古文書類

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	昌福寺の武田勝頼安堵状	川岸東四丁目 16-5	昌 福 寺	平成 5. 2. 25
2	高島藩 寛文五年宗門御改帳・ 宗門五人組帳・人別帳	—	個人	平成 10. 5. 1

(7) 工芸

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	小 田 井 の 鉦 鼓	文化 4 年(1807 年)	湊三丁目 6-9	湊第五町内会	平成 7. 3. 15
2	新 倉 薬 師 堂 の 鉦 鼓	寛延 2 年(1749 年)	川岸中二丁目 3332	新 倉 区	〃
3	小坂観音院観音堂の鰐口	明応 5 年(1496 年)	湊 四 丁 目 15-22	龍光山観音院	平成 16. 3. 30

(8) 史跡

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	コ ウ モ リ 塚 古 墳	長地鎮 6444-2	個人	昭和 42. 3. 6
2	三 沢 一 里 塚	川岸上三丁目	三 沢 区	〃
3	花 岡 城 跡	湊一丁目 5	岡 谷 市	〃
4	高 尾 城 跡	川岸三沢(高尾山)	三 沢 区	〃
5	ス ク モ 塚 古 墳	長地源二丁目 3	個人	昭和 46. 4. 15
6	広 畑 遺 跡	川岸上四丁目 9～10(高尾山麓)	岡 谷 市	昭和 49. 2. 9
7	岡 屋 遺 跡	岡谷区 4 7 4 0 - イー 4	(宗) 十 五 社	昭和 53. 10. 6
8	唐 櫃 石 古 墳	長地横川字丸山 5811-1	個人	昭和 54. 7. 6
9	姥 ヶ 懐 古 墳	長地横川字丸山 5448-1	個人	昭和 55. 5. 9
10	横川山の割り石と泣き石伝説	横川山 10016-1 番地	東堀区と旧平野村の 10ヶ区	平成 14. 5. 2
11	川岸天竜河畔 諏訪明神入諏伝説の地	川岸上一丁目 113-1	三 沢 区	平成 16. 3. 30

(9) 天然記念物

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	小坂観音院 柏 槇 の 大 樹	湊四丁目 15-22	龍 光 山 観 音 院	昭和 42. 3. 6
2	神 の 木	長地御所二丁目 5	東 堀 区	〃
3	昌福寺の枝垂桜の大樹	川岸東四丁目 16-5	昌 福 寺	〃
4	出早雄小萩神社の社叢	長地出早二丁目 2-22	中屋・中村・横川区	昭和 49. 10. 18
5	小口賀茂神社のアオナシ	銀座一丁目 5	小 口 区	昭和 59. 12. 6
6	今 井 家 の カ ッ ラ	今井 1832	個人	〃
7	毘 沙 門 堂 の ス ギ	川岸西二丁目 7	新 倉 区	〃
8	駒沢諏訪社のサワラ	川岸東四丁目 15-22	駒 沢 区	〃
9	小坂観音院寺叢	湊四丁目 15-22	龍 光 山 観 音 院	〃
10	小坂観音院ブッポウソウ繁殖地	湊四丁目 15-22	〃	〃
11	小坂中村地籍のシダレザクラ	湊四丁目 11	小坂・有賀・花岡・藤森の姓代表	平成 2. 4. 10
12	船魂社のシダレザクラ	湊三丁目 3	湊 第 五 町 内 会	〃
13	鎮 社 の サ ワ ラ	長地鎮二丁目 19-18	中 屋 区	〃
14	駒沢諏訪社のケンポナシ	川岸東四丁目 15-22	駒 沢 区	平成 5. 2. 25
15	小井川賀茂神社のハリギリ	加茂町三丁目 6-8	小 井 川 賀 茂 神 社	〃
16	育 恩 堂 の シ ダ レ ザ ク ラ	山手町一丁目 3-7	育 恩 堂 教 会	平成 8. 2. 26
17	今 井 家 の カ キ ノ キ	今井 1250	個人	平成 17. 2. 24
18	岡谷唐櫃石古墳ヒカリゴケ	長地横川字丸山 5811-1	個人	平成 20. 10. 3

(10) 考古資料

No.	名 称	点数	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	岡谷丸山遺跡出土 矢柄研磨器	2	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術考古館	平成 16. 3. 30
2	榎垣外遺跡出土 顔面把手付深鉢形土器	1	〃	〃	〃
3	目切遺跡出土 顔面把手付深鉢形土器	1	〃	〃	〃
4	目切遺跡出土 壺を持つ妊婦土偶	1	〃	〃	〃

5	ひろはた 広畑遺跡出土 土偶	1	〃	〃	〃
6	かじょうじ 花上寺遺跡出土 土偶	1	〃	〃	〃
7	なしくぼ 梨久保遺跡出土 コハク・ヒスイ製装身具	8	〃	〃	〃
8	はしばら 橋原遺跡出土 炭化種子類	一括	〃	〃	〃
9	えのきがいと 榎垣外遺跡片間町地区 12号住居址出土品	64	〃	〃	平成 20. 10. 3
10	なしくぼ 梨久保遺跡 3・4 号住居址 出土土器	28	〃	〃	平成 21. 3. 2

8 経済産業省認定近代化産業遺産群

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	旧 林 家 住 宅	御倉町 2-20	岡谷市教育委員会	平成 19. 11. 30
2	旧 片 倉 組 事 務 所	川岸上一丁目 1-20	中央印刷株式会社	〃
3	きゅうやまいち 旧山一林組製糸事務所・ 守衛所	中央町一丁目 13-17	岡谷市教育委員会	〃
4	旧 岡 谷 市 役 所 庁 舎	幸町 8-1	岡 谷 市	〃
5	きゅうやまじょう 旧山上宮坂製糸所事務 所・工場棟・再繰工場棟・居 宅	加茂町三丁目 2-41	個人	平成 19. 11. 30
6	まる やま 丸 山 タ ン ク	中央町 1-10	岡 谷 総 郷	〃
7	株 式 会 社 金上 繭 倉 庫	本町二丁目 5-8	株式会社 金上	〃
8	旧 岡 谷 上 水 道 集 水 溝	山手町 3-4071 口	(宗) 十 五 社	〃
9	さん れい 蚕 霊 供 養 塔	本町二丁目 6-43	照 光 寺	〃
10	つる ね 鶴 峯 公 園	川岸上 3-13	岡 谷 市	〃
11	なり た 成 田 公 園	成田町 1-7	岡 谷 市	〃
12	丸 中 宮 坂 製 糸 所 繭 倉 庫	東銀座二丁目 13-23	株式会社宮坂製糸所	〃
13	市立岡谷蚕糸博物館 所蔵資料	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
14	旧蚕糸試験場所蔵機械等	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
15	新 増 沢 工 業 株 式 会 社 所蔵機械（横フライス盤）	加茂町一丁目 2-5	新增沢工業株式会社	〃

9 一般社団法人日本機械学会認定 機械遺産 岡谷蚕糸博物館の繰糸機群

No.	機械名称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	フランス式繰糸機	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	平成 23. 8. 7
2	諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
3	よんじょうぐ 4条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
4	ろくじょうぐ 6条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
5	イタリア式多条繰糸機	〃	〃	〃
6	みのりかわ 御法川式多条繰糸機	〃	〃	〃
7	織田式多条繰糸機	〃	〃	〃
8	増澤式多条繰糸機	〃	〃	〃

10 世界遺産暫定一覧表候補の文化資産

名 称	所在地	提案者	区分
旧林家住宅外4件	御倉町 2-20 外	長野県・岡谷市	カテゴリーⅡ 平成 20. 9. 26

11 文化庁認定日本遺産 構成文化財

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	かいど 海戸遺跡出土品	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術考古館	平成 30. 5. 24
2	えのきがいと 榎垣外遺跡出土品	〃	〃	〃
3	めきり 目切遺跡出土品	〃	〃	〃
4	かじょうじ 花上寺遺跡出土土偶	〃	〃	〃
5	しみずだ 清水田遺跡黒曜石原石	〃	〃	〃
6	なしくぼ 梨久保遺跡と出土品	長地梨久保二丁目 中央町一丁目 9-8	岡谷市教育委員会 市立岡谷美術考古館	〃
7	広畑遺跡と出土土偶	川岸上四丁目 (高尾山麓) 中央町一丁目 9-8	岡 谷 市 市立岡谷美術考古館	〃

(6) ふれあい学習・公民館

① 重点目標

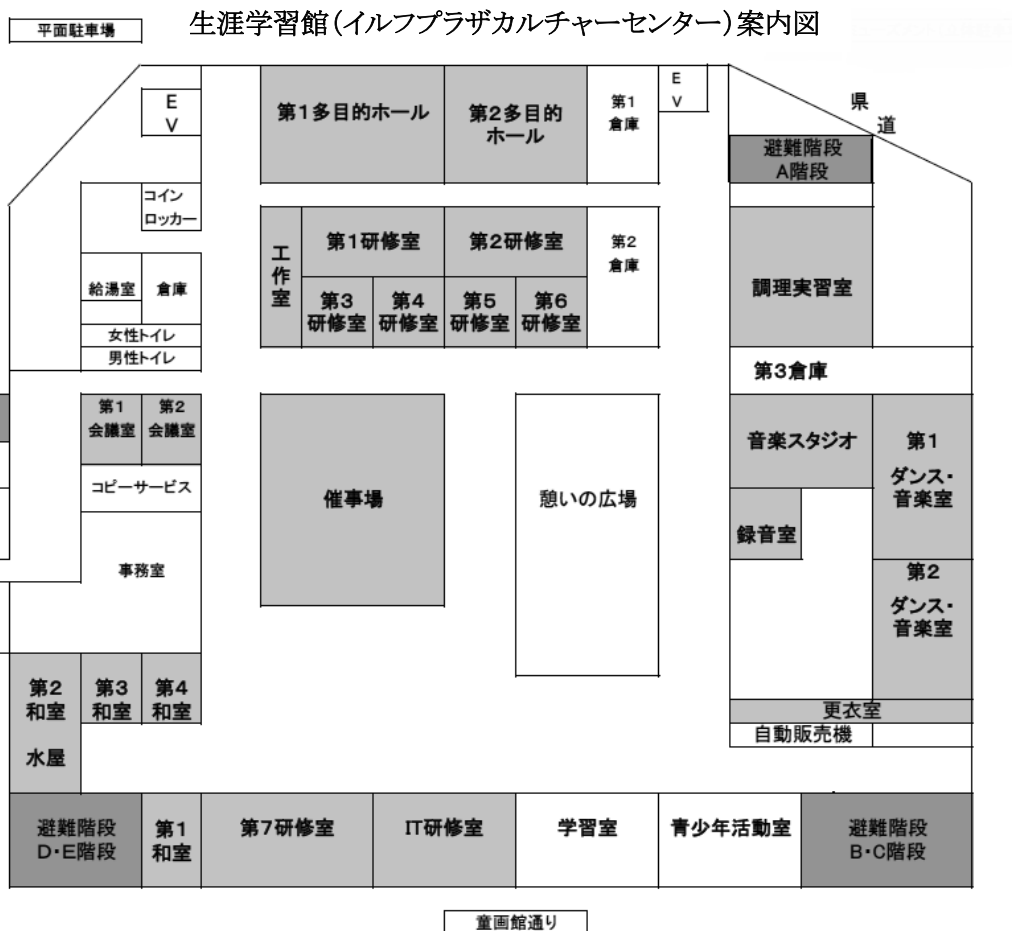
- 1 第5次岡谷市生涯学習推進計画に沿って活動を推進する。
- 2 地域課題や教育課題を明確にするとともに、市民の学習要望を察知し、学習内容や運営についてアイデアに富んだ催し・学級・講座・講演会等を開催する。
- 3 社会環境の変化に対応し、市民ニーズに応えうる学習情報・子育て情報の提供や相談事業を推進する。
- 4 学習グループの活動を支援し、学習成果を発表する機会や場の提供をするとともに、学んだ力の活かせるボランティア活動を支援する。
- 5 市民等の誰もが集いやすく「学（まなび）・芸（わざ）・和（なごみ）」の要素をもつ、安らぎと活気を感じる館を目指す。

② 平成30年度重点施策

- 1 生涯学習館の管理・運営
- 2 生涯学習館での学級・講座の開催
- 3 公民館の管理・運営
- 4 公民館での学級・講座の開催

③ 施設

名 称	所在地 ・ 建物	開館年月日等
生涯学習館 (イルフプラザカルチャーセンター)	岡谷市中央町一丁目11番1号 イルフプラザ3階 3,705.76 m ²	平成15年3月21日開館
岡谷市湊公民館	岡谷市湊三丁目8番6号 鉄筋コンクリート2階建 585.77 m ²	昭和24年12月1日 湊村役場内にて開館 昭和55年1月4日 現在地にて開館
岡谷市川岸公民館	岡谷市川岸中三丁目1番29号 鉄筋コンクリート2階建 733.60 m ²	昭和23年4月11日 村の家として使用してきたものを公民館として開館 昭和53年4月1日現在地にて開館
岡谷市長地公民館	岡谷市長地柴宮二丁目15番26号 鉄筋コンクリート2階建 812.91 m ²	昭和24年12月 長地村役場内にて開館 昭和56年4月1日 現在地にて開館



④ 利用案内

1 生涯学習館

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時30分
- (2) 休館日 毎月第2火曜日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
- (3) 使用料

使用区分		午前9時から午後9時30分まで1時間につき	
		非営利	営利
生涯学習館	第1研修室 第2研修室	円 150	円 450
	第3研修室 第4研修室	円 100	円 300
	第5研修室 第6研修室		
	第7研修室	円 260	円 780
	第1多目的ホール	円 410	円 1,230
	第2多目的ホール	円 260	円 780
	調理実習室	円 510	円 1,530
	第1和室	円 260	円 780
	第2和室	円 210	円 630
	第3和室 第4和室	円 150	円 450
	第1ダンス・音楽室	円 620	円 1,860
	第2ダンス・音楽室		

	音楽スタジオ	210	630
	工作室	150	450
	第1会議室 第2会議室	100	300
	IT研修室	260	780
	催事場	870	2,610
備考	1 冷房及び暖房の設備並びに調理実習室において各テーブルの電気、ガス及び水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。 2 催事場の半面を使用するときの使用料は、その使用料の2分の1の額とする。 3 営利とは、使用者が入場料若しくは受講料金を徴収する場合又は営利目的で使用する場合をいい、非営利とは、営利以外の使用をいう。 4 使用料の還付は以下のとおりとする。 (1) 使用者の責めによらない理由で使用できなくなったとき。100分の100。 (2) 使用期日20日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の100。 (3) 使用期日10日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の50。 (4) 上記のほか、特別な理由があるとき。市長がその都度定める額。		

2 公 民 館

(1) 開館時間 午前8時30分～午後9時30分（土・日は午前8時30分～午後5時）

(2) 休館日 国民の祝日に関する法律に規定する休日、
年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）

(3) 使用料

	午前8時30分から午後9時30分まで1時間につき (円)
岡谷市湊公民館	実習室 150 会議室 260 学習室 310 和室 100 講堂 620
岡谷市川岸公民館	講義室 150 実習室 210 第一会議室 210 第二会議室 150 学習室 310 和室 100 講堂 820
岡谷市長地公民館	講義室 210 実習室 260 第一会議室 260 第二会議室 310 学習室 410 和室 150 講堂 870
備考	1 暖房の燃料を使用し、及び実習室を使用して料理のため電気、ガス又は水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。 2 使用料の還付は以下のとおりとする。 (1) 使用者の責めによらない理由で使用できなくなったとき。100分の100。 (2) 使用期日20日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の100。 (3) 使用期日10日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の50。 (4) 上記のほか、特別な理由があるとき。市長がその都度定める額。

⑤ 利用状況（平成29年度）

1 生涯学習館

	生涯学習館主催	学習団体	市役所関係	営利団体	非営利団体	その他	合計
件数	638	2,681	192	1,930	2,461	571	8,473
人数	11,221	24,883	2,719	15,789	25,374	11,875	91,861

2 湊公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	137	401	73	19	37	667
人数	4,622	3,235	1,484	767	642	10,750

3 川岸公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	152	448	199	58	104	961
人数	3,695	3,399	2,932	2,926	1,770	14,722

4 長地公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件数	121	1,260	115	15	475	1,986
人数	4,946	15,893	2,500	559	7,675	31,573

⑥ 生涯学習館・公民館の事業（平成30年度）

	事業名	事業内容	期間	備考
乳幼児の育成	輝く子育て支援学級	乳幼児を持つ父母・祖父母等が子育てについて学び、仲間づくりを行う。	5月～10月	各館16回
	保育園・幼稚園家庭教育学級	保育園・幼稚園児を持つ父母・祖父母等が子どもの健全育成について学ぶ。	4月～3月	各園で2回以上
児童の健全育成	小学校家庭教育学級	小学生を持つ父母・祖父母等が子どもの健全育成について学ぶ。	4月～3月	各校で2回以上
	子ども学級	小中学生が自然体験、地域体験等を行うなかで、学び、仲間づくりを行う。	5月～1月	各館2～7回

	おとうさん講座	育児世代の父親の、楽しく、肩肘張らない育児参加を促進する。	8月頃	1回 生涯学習館
	世代間交流講座	異なった世代を対象に、文化の伝承等を通じて世代間の交流を図る。	5月～3月	各館1～2回
成人の学習	季節の教養講座	幅広い年齢層に、時宜に応じた魅力ある講座への参加を促すことにより、自発的な生涯学習活動の進展に資する。	4月～3月	年4期 生涯学習館
	青年層向け講座 (ヤングカレッジ)	概ね18歳～40歳の方が、仕事に活かせる知識・技術の習得、または生活に役立つ趣味・特技の充実を図る。	7月～11月	2回 生涯学習館
	おかや知っ得 スクール	主に岡谷市への転入者が、市勢・市内各施設等を知って転入後の生活に役立てるとともに、仲間づくりを行う。	10月	1回 生涯学習館
	生活講座等	生活に密着した知識や技術を学習し快適な生活づくりに役立てる。	随時	1～3回 公民館
	生涯学習大学	大学の先生や専門家等を招き、関心の高いテーマに対して、やや高度なレベルの内容について学ぶ。	11月～3月	4回 生涯学習館
高齢者の学習	いちい学級	社会生活における高齢者の在り方、熟年を迎えての生きがいについて学習するとともに新たな時代感覚を磨き健康で好ましい人間関係を醸成する。	5月～11月	各館16回
読書活動	読書活動の推進	市立図書館から遠い地区の児童等が公民館図書室を利用することで読書の推進を図る。	通年	公民館
人権教育	人権学習等	人権感覚を磨くとともにあらゆる差別をなくす実践力を培う。	通年	各学級に取り入れる
共催事業	共催事業	学習グループや活動団体等と共催事業を行うことにより市民参画の場と機会をつくり、学びの広場を広げる。	通年	各館
表 学習成果の発	ホリデイスクエア 事業	施設の活性化とともに学習グループ、各種活動団体に発表の場と市民交流の場を提供する。	通年	生涯学習館

	ロビー展	各学習グループ、一般市民の学習の成果の発表の場を提供し学習意欲の向上を図る。	通年	生涯学習館
	文化祭	学習成果の発表の機会として作品展部門、音楽芸能祭部門に関する芸術文化の振興を図るとともに、市民の連携と融和を図る。	10月 ～11月	各館1回
ボランティア育成	生涯学習活動及びボランティア活性化推進と活用	市民参画型・ボランティア育成型の講座により新しい学習形式を創出し、参加型の学習手法を生かした講座作りを推進し活用を図る。	通年	生涯学習館
学習グループの育成	学習グループの育成	各種学級・講座から発足したグループを育成し、学習活動への参加をととしてグループ相互の交流を図る。	通年	各館
分館活動	分館活動育成	地域に密着した公民館として、各分館に対し活動への助言等を行い育成を図る。	通年	公民館
広報	広報活動	インターネット等も活用し、館の活動について広く市民に知らせる。	通年	各館

(7) 青少年

① 重点目標

- 『おかや子育て憲章』の理念に基づき、「地域の子どもは地域で育てる」ため、子どもと親がともに成長できるよう子育て支援の推進を図る。
- 青少年育成関係団体や関係機関と連携・協働し、青少年が健全に成長するための環境づくりの向上に努める。

② 平成30年度重点施策

- 子育て土壌育成事業
- 環境浄化・青少年非行防止活動事業
- 青少年活動育成支援事業
- 塩嶺野外活動センター管理事業

③ 主な事業

1 地域子(己)育てサポーター活動

家庭教育力や地域教育力の向上を願い、子どもと親がともに健やかに成長できるよう、地域で子育て中の親（親子）を支援し、親同士の交流や親子のふれあいの場の充実を図り、安心して子育てができる「子育て土壌づくり」に努めている。

各地区のサポーターからなる地域子（己）育てサポーター連絡協議会では、情報交換会や研修会などを計画し、活動の推進を図っている。（平成28年度より地域子（己）育てミニ集会連絡協議会より名称変更）

また、乳幼児を持つ親同士や子育てを終えた方々との交流を主体とした「乳幼児親子ふれあい事業」では、育児不安の解消や親同士の仲間づくりを通して、安心して子育てができる場の支援を行う。

＜平成29年度実績＞ 各区乳幼児親子ふれあいの集い 21グループ
育児サークル（自主グループ） 4グループ

2 子ども会育成会活動

- (1) 地域で子どもを育てる中心的な組織の岡谷市子ども会育成連絡協議会と協力して、子どもの健全育成のための事業を進める。
- (2) 地区子ども会活動の推進を図るため、地域リーダー育成研修会を行い、指導者の養成に努め、子どもの自主性を図る活動を実施する。
- (3) 中高生ボランティアによる岡谷市リーダーズ倶楽部を組織して各種事業に参加し、小中学生を指導し、協力しながら野外体験活動等を実施する。

平成30年度の主な事業

内 容	ね ら い	時期・場所
わんぱくアドベンチャー	年齢の異なる子どもたちが、市外の少年自然の家に宿泊しながら生活し、家庭や普段体験できない活動を通して仲間づくりをする。	6月8日（金）～10日（日） 阿南少年自然の家

通学合宿	平日に学校が終わって自宅に帰るのではなく、施設で年齢の異なる子どもたちが一緒に生活体験をすることにより、仲間づくりや人とのふれあいを深める。	10月11日(木)～13日(土) 塩嶺野外活動センター
少年スポーツ大会	中学生が地区別対抗のスポーツ大会を通して、地域の友達とかかわり、仲間意識を養う。	9月8日(土) 市民総合体育館
リーダーズ倶楽部	中学生・高校生のボランティアグループとして、野外体験活動、奉仕活動などを通して、リーダーとしての自己研鑽、資質の向上を図る。	・「わんぱくアドベンチャー」「通学合宿」の企画・運営参加 ・「夏休み子ども交流事業」への協力参加 ・県外施設研修 ・クリスマス会、新スタッフ研修会 ・各地区行事への協力
地域リーダー育成研修会	子どもの手による子ども会づくりに向けて、行事の一つを企画段階から子どもたちに任せてみるなど、地域の子どもの会の育成者を養成する。	通年 各地区子ども会育成会

3 夏休み子ども交流事業

姉妹都市の東伊豆町と岡谷市の小学5・6年生が、自然体験や野外活動を通して交流し、両市町の絆を深めるとともに、子どもたちの協調性、人間性を養う。

平成21年度より隔年で行き来している。今年度は、引き続き岡谷市子ども会育成連絡協議会の協力を得て、東伊豆町にて実施する。

- ・期 日 8月2日(木)・3日(金)
- ・場 所 静岡県東伊豆町
- ・内 容 アニマルキングダム(複合型レジャーランド)や磯での交流、風車見学等
- ・参加者 市内の小学5・6年生、東伊豆町小学5年生
- ・協力参加 岡谷市リーダーズ倶楽部

4 岡谷市少年愛護センター

(1) 青少年の健全育成及び非行防止を図るため、教育委員会生涯学習活動センターに設置。

(2) 市長から委嘱された88名の少年愛護委員が市街地等をパトロールして、少年の非行防止や環境浄化活動を行っている。

(3) 平成29年度の愛護パトロール活動状況

実 施 日 数				従 事 し た 愛 護 委 員 人 数				声かけした少年 の 延 べ 人 数
午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計	
0 日	19 日	78 日	97 日	0 人	52 人	212 人	264 人	143 人

5 岡谷市青少年問題協議会

岡谷市青少年問題協議会条例に基づき、青少年の補導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議することや、総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関及び関係団体相互の連絡調整を図ることを目的として設置している。

(1) 岡谷市青少年問題協議会推進方針（抜粋）

第4次岡谷市総合計画 後期重点プロジェクト「輝く子どもの育成」を基本とし、「おかや子育て憲章」の理念に則り推進する。

(2) プロジェクト推進のための施策

ア. 子育て土壌づくりの支援

- ①地域とともに支える子育ての推進
- ②親子のふれあい機会の充実
- ③相談・支援サービスの充実

イ. 地域における健全な環境づくり

- ①環境浄化の推進
- ②非行防止活動の推進
- ③学童クラブの充実と子どもの居場所づくりの推進

ウ. 青少年活動の推進

- ①青少年活動の育成支援
- ②活動の場の充実
- ③社会参加の促進
- ④文化活動の促進支援
- ⑤国際理解の醸成
- ⑥指導者の養成

○岡谷市青少年問題協議会委員名簿（任期：平成29年6月1日～平成31年5月31日）

(1) 会長 教育長 岩本 博行 副会長 少年愛護協議会会長 鮎澤 要一

(2) 委員

ア・関係行政機関の職員

氏 名	団 体 名 等	備 考
竹村 京子	諏訪公共職業安定所岡谷出張所	所長
大内 剛	岡谷警察署 生活安全課	課長
坪井 俊文	諏訪地域振興局	副局長
藤沢 広信	諏訪児童相談所	所長
岩本 博行	岡谷市教育委員会	教育長
今井 誠	岡谷市社会教育委員の会議	会長
丸山 和夫	岡谷市子ども総合相談センター	センター長

イ・学識経験者

氏 名	団 体 名 等	備 考
山崎 眞	岡谷市区長会	三沢区
原 宏	岡谷地区保護司会	
今井 千枝	岡谷市民生児童委員協議会	
河西 稔	岡谷市社会福祉協議会	
井出 誠一	小学校校長会	岡谷田中小学校
池田 秀司	中学校校長会	岡谷北部中学校
羽毛田 哲朗	高校校長代表	岡谷工業高等学校
濱 美鈴	小学校PTA連合会	神明小学校
輿水 幸子	中学校PTA連合会	岡谷南部中学校
柞山 浩章	高校PTA代表	岡谷南高等学校
藤森 誠	岡谷市子ども会育成連絡協議会	
藤本 依子	岡谷市女性団体連絡協議会	
鮎澤 要一	岡谷市少年愛護協議会	
関島 良治	岡谷市地域子（己）育てサポーター連絡協議会	
高林 順三	（公財）岡谷市体育協会	
小口 啓子	岡谷市更生保護女性会	
両角 陽子	岡谷少年警察ボランティア協会	
武井 淳也	岡谷市労務対策協議会	
北嶋 勇樹	岡谷市保育園保護者会連合会	
川瀬 勝敏	児童養護施設 つつじが丘学園	

6 岡谷市塩嶺野外活動センター

市内の児童・生徒が、自然環境の中で野外活動・宿泊活動を通じて、豊かな情操と心身の健全育成を図るための生涯学習施設として運営している。また、キャンプ場やマレットゴルフコースなどは、一般市民や市外、県外からの利用者も多く、自然に親しむことで心身のリフレッシュを図るレクリエーション施設としても利用されている。今年度は、センターハウスの屋根改修工事を行ったことから、今後いっそうの利用促進に努める。

施設概要

名 称	岡谷市塩嶺野外活動センター（開設期間：5月1日～10月31日）	
位 置	岡谷市横川山 10016 番地 1 TEL23-8028	
概 要	着工：昭和 56 年 2 月 竣工：昭和 56 年 7 月 (シャワー棟 着工：平成 3 年 5 月 1 日、竣工：平成 3 年 7 月 2 日)	
構造及び 使用区分	センターハウス	構造 鉄筋コンクリート造り 2 階建 1 階 事務室、ホール、広間、和室、管理人室、炊事室、物置、便所（男・女） 2 階 広間 1、和室 2、物置、便所（男・女） シャワー棟 鉄筋コンクリート造り平屋建
	炊事場	構造 木造平屋建
	屋外便所	構造 木造平屋建 2 棟
	その他	キャンプ場、広場、マレットゴルフコース 18 ホール
床面積	センターハウス	1 階 280 m ² 2 階 280 m ² 計 560 m ² シャワー棟 36 m ² 機械室 6.38 m ²
	炊事場	48.60 m ²
	屋外便所	29.64 m ²
	倉庫	32.40 m ²

区 分		市内高校生 以下	市外高校生 以下	市内 一般	市外 一般
センターハウス使用料		1 人日帰り	無 料	210 円	310 円
		1 人 1 泊	無 料	1,540 円	1,540 円
キャンプ場 使用料	日帰りキャンプ	1 日	510 円（10 人まで）		
	宿泊キャンプ	1 泊 1 張	770 円		
	※日帰りキャンプで、10 人を超えて使用する場合は、10 人増すごとに 510 円を加算する。 ※貸出用テントを使用する場合は、上記金額にそれぞれ 1 張 770 円を加算する。				
シーツ等使用実費		1 人	210 円		
シャワー使用実費		1 回	100 円		

5. スポーツ振興課

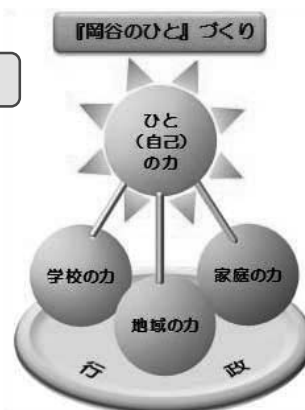
(1) スポーツ振興基本方針

■ 『スポーツスローガン』

親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

岡谷市教育大綱の教育理念のもと、岡谷市スポーツ推進計画に基づき、子どもから大人まですべての市民がスポーツを好きになり、生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを通じて地域が一体化し、活気溢れるまちづくりを推進します。

また、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、市民ひとり1スポーツの実現に努めるとともに、子どものスポーツ機会の充実を図り、成長期に合わせた効果的な施策の展開により、たくましい心と体を育みます。



■ 「スポーツ 5つの重点」

1 市民ひとり1スポーツの実現

- ・市民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ団体等と連携しながら、各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図ります。
- ・適切な指導ができる指導者の養成に努めるなど、スポーツの安全確保に努めます。

2 競技力の向上

- ・全国大会等の誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。
- ・全国的な舞台で活躍できる選手の育成支援、並びに、スポーツ指導者の養成を推進します。

3 子どものスポーツ機会の充実

- ・学校体育活動の充実をはじめ、成長期に合わせた体力向上策を推進します。
- ・スポーツを行うきっかけづくりのため、多様なスポーツ機会の充実を図ります。

4 スポーツによるまちづくり

- ・恵まれた施設や環境を活用し、スポーツを通じた地域交流や人材育成を推進します。
- ・スケート、バレーボールによるまちづくりの推進と、エースドッジボールの普及促進を図ります。

5 スポーツ環境の整備・充実

- ・安全で快適なスポーツ活動に取り組めるスポーツ環境の整備、充実に努めます。
- ・市有施設の効率的な管理と有効活用の推進、情報提供に努めます。

岡谷市スポーツ推進計画基本理念

スポーツ大好き いきいき おかや

平成30年度岡谷市教育委員会スポーツの重点項目

- ・「スポーツきっかけづくり事業」の推進による市民ひとり1スポーツの実現
- ・「おかやキッズ運動大好き事業」の推進による運動能力の向上と運動好きな子どもの育成
- ・各種スケート教室などの事業によるスケート文化の継承と競技力の向上
- ・市営庭球場の人工芝の修繕をはじめ安全快適なスポーツ施設整備の推進

(2) スポーツ施設

① 市営岡谷球場

岡谷市神明町一丁目1番1号 電話 22-2893

昭和24.8 建設

昭和44.5 スタンド全面改修、昭和61.9 夜間照明装置設置、平成15.3 フェンス・サブスタンド改修、
平成16.3 スコアボード・バックスクリーン改修、平成17.3 駐車場等舗装、平成25.12 法面等災害復旧工事
平成29.12 法面補修工事

総面積 37,917㎡（グラウンド 15,141㎡、両翼 92m、センター 122m）

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分			使 用 料		付 属 設 備	
専用使用	入場料を徴収する場合		1時間	7,750円	照明施設	記者席
	入場料を徴収しない場合	全面使用	1時間	1,240円	管理事務室	トイレ
		半面使用	1時間	620円	会議室	電光掲示板
夜間照明			使用した電気料の実費相当額		器材室	放送設備
電光掲示板			一式1回	2,060円	更衣室	
放送施設			一式1回	2,060円	役員室	
野球用具			一件1回	100円	審判席	

② 岡谷市営庭球場

岡谷市南宮三丁目9554番地1 電話 22-8800

昭和60.11 建設

平成8.3 夜間照明装置設置、平成17.3 砂入人工芝コート2面改修、平成17.6 砂入人工芝コート4面改修

総面積 8,779.7㎡、コート12面（砂入人工芝コート6面、クレイコート6面）

使用時間 午前8時30分～午後9時30分 休場日 12月29日～翌年1月3日

区 分		使 用 料		付 属 設 備
		一 般	小中学生	
専用使用	コート1面使用	1時間 770円		照明施設 ネット庫
個人使用	1人2時間	210円	100円	管理棟 放送設備
	回数券(11枚綴り)	2,100円	1,000円	本部席棟
	通年使用券	10,500円	4,100円	更衣室
夜間照明		使用した電気料の実費相当額		トイレ

③ 岡谷市民湖畔広場

岡谷市湖畔四丁目10020番地11先

昭和61.8 建設

総面積 18,260㎡

使用時間 午前5時～午後7時30分 休場日 無し

区 分		使 用 料	付 属 設 備
専用使用	全面使用	1時間 820円	物置
	半面使用	1時間 410円	バックネット
体育用具		1件1回 100円	

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

岡谷市川岸上三丁目1945番地14

昭和55.10 建設、平成9.3 改修

総面積 11,286.55㎡

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分		使 用 料	付 属 設 備
専用使用	全面使用	1時間 920円	物置
	半面使用	1時間 460円	バックネット
夜間照明		使用した電気料の実費相当額	照明施設
体育用具		1件1回 100円	トイレ

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

岡谷市4769番地14 電話 24-5210

平成5.3 着工、平成6.9 竣工、建設費 27億6,349万円

平成30.3 受変電設備改修

総面積 148,724.84㎡

休場期間：2月19日から11月22日まで

使用時間 （個人）午前6時～午後9時 （専用）午前6時～午後11時 休場日 無し

主施設	国際公認400mパイピングリンク、観覧席（1,000席）
	選手控室（プレハブ平屋建 123.84㎡／H13.8）
	管理棟（鉄筋コンクリート造2階建 1,921.69㎡） 1階：事務室、ホール、休憩室、ロッカー室、更衣室、貸靴室、乾燥室、トイレ、機械室、倉庫、 作業員控室、救護室、厨房、選手控室 2階：研究室、ミーティングルーム、トレーニング室、計測室、リラックス&ケアルーム、 トイレ、検診室、ロビー、更衣室、シャワー室、機械室
	放送記録棟（鉄筋コンクリート造2階建 150㎡） 1階：倉庫 2階：放送室、記録室、役員室、トイレ
	機械棟（鉄筋コンクリート造平屋建 633㎡） 機械室（冷凍機10基）、電気室、氷上整備車庫、控室

区 分		個 人 使 用 料		
		一 般	高 校 生	中学生以下
専用使用		1時間 26,230円		
滑走券	1回券(共通券)	1,050円	840円	420円
	回数券(6枚綴)	5,250円	4,200円	2,100円
	シーズン券	26,250円	21,000円	10,500円
入場券	1回券(共通券)	210円		
	回数券(6枚綴)	1,050円		
	シーズン券	5,250円		
コインロッカー		1回 100円		
貸靴		1回 520円		

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	使 用 料
大体育館	1時間 420円
小体育館	1時間 210円
格技室	1時間 260円
校庭	1時間 420円
照明施設	使用した電気料の実費相当額

⑦ 岡谷市民総合体育館

岡谷市南宮三丁目 2 番 1 号 電話 22-8800

西体育館：平成9.12 着工、平成11.3 竣工、建設費 11億5,963万円

延床面積 4,617.1㎡

東体育館：昭和49.7 着工、昭和50.3 竣工、平成11.8 改修、平成24.2 屋根・外壁改修、床の張替、管理棟の耐震工事

延床面積 4,322.47㎡

使用時間 午前9時～午後9時30分

休館日：第2・第4木曜日（この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは翌日）、12月29日から翌年1月3日まで（その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合）

主施設	西体育館 (スワン ドーム)	体育室 (42m×38m=1,596㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 8面、インディアカ 8面、バレーボール 3面、 バスケットボール 2面、テニス 2面、卓球 24面、体操 各種
		ランニングコース、事務室、会議室、ミーティングルーム、大会運営室、医務室、 応接室、男女ロッカールーム、トイレ、観覧席 (824席)、ロールバック移動席 (792席)
	東体育館	体育室 (38m×30m=1,140㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 6面、インディアカ 6面、バレーボール 2面、 バスケットボール 2面、テニス 1面、卓球 20面、フットサル2面、体操 各種
		柔道場 1面、剣道場 1面、弓道場 6人立、トレーニング室、幼児体育室、会議室、 クラブ室、応接室、男女更衣室、トイレ、器具室、観覧席 (360席)

区 分				使用料（2時間）
専用使用	西体育館	入場料等を徴収しない場合	体育に使用する場合	3,680円
			その他の場合	7,360円
		入場料等を徴収する場合	体育に使用する場合	7,360円
			その他の場合	14,720円
		営利、営業を目的として使用する場合		
	東体育館	入場料等を徴収しない場合	体育に使用する場合	3,120円
			その他の場合	6,240円
		入場料等を徴収する場合	体育に使用する場合	6,240円
			その他の場合	12,480円
		営利、営業を目的として使用する場合		
柔道場、剣道場、弓道場			1,040円	
第1会議室、第2会議室、第3会議室			420円	
移動式バスケットゴール				1台1回 100円
電光掲示板				一式1回 1,030円
フロアシート				一式1回 510円
音響設備				一式1回 510円
体育用具				1セット1回 100円

区 分		使 用 料	
		一 般	小中学生
個人使用	1人2時間	210円	100円
	回数券(11枚綴り)	2,100円	1,000円

⑧ 岡谷市民水泳プール

岡谷市南宮三丁目 2 番 1 号 電話 23-6820

昭和55.9 着工、昭和56.3 竣工、平成9.11 屋内水泳プール屋根防水工事

平成15.6 幼児用変形プール改修・同ハッチサッシ改修、平成16.1 ソーラーシステム廃止

平成16.3 ろ過機制御盤改修（全自動化）、プールサイド・更衣室床等の改修（防滑塩ビシート化）

平成18.2 屋内水泳プール耐震改修、平成22.2 内部改修・サッシ改修、平成22.3 外壁断熱改修・太陽光発電装置設置

平成23.3 ろ過機ろ材入替、平成25.1給湯配管改修・暖房ボイラー入替、平成29.7 競泳用計時全自動装置購入

延床面積 2,940.8㎡(1階 2,233.72㎡、2階 707.08㎡)

使用時間 7月～8月 午前9時～午後8時30分

9月～6月 午後1時～午後8時30分

休館日：毎週木曜日（この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは翌日）、

12月29日から翌年1月3日まで（その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合）

岡谷市民屋外水泳プールは、平成21年8月31日をもって閉鎖した。

主施設	25m競泳プール 25m×19m（水深115cm～125cm、9コース、日本水泳連盟公認） 幼児プール 7m×12m（水深40cm～43cm） 徒歩プール 12m×10m（水深60cm～63cm） スライダープール（水深70cm～80cm） 幼児用変形プール（水深70cm）
-----	---

区 分	一 般	小中学生
専用使用	1コース使用	1時間 2,060円
個人使用	1人1回	460円 260円
	回数券(11枚綴り)	4,600円 2,600円

⑨ 岡谷市やまびこアリーナ

岡谷市 4 7 6 9 番地 1 4 電話 24-2494

平成6.6.30 竣工、建設費 約17億円

総面積 148,724.84㎡、床面積 5,120.15㎡（1階 3,763.94㎡、2階 1,356.21㎡）

平成8.12.26 建物等を(株)やまびこスケートの森から取得（約16億4,000万円）し、管理を開始

（岡谷市やまびこアリーナ管理規則による）

主施設	国際公認リンク（30m×60m）、マルチビジョン表示システム 1階:スケートリンク、事務室、ホール、ラウンジ、貸靴室、売店、ゲストルーム、医務室、 スタッフルーム、選手控室、採暖室、ロッカー室、観覧席（400席）、トイレ、機械室、 器具庫、氷上整備車 2階:CPUルーム、フィットネススタジオ、ミーティングルーム、更衣室、観覧席（400席）、 トイレ、ランニングコース、電気室
-----	---

⑩ 岡谷市営陸上競技場

岡谷市長地柴宮一丁目 9 番 1 3 号（岡谷東部中学校校庭）

昭和43.10 建設

総面積 13,521㎡

日本陸上競技連盟第4種公認300mトラック（H29.10.10～H34.10.9）、付属設備 物置

⑪ 岡谷射撃場

岡谷市神明町一丁目 1 番 1 号

昭和37.4 建設、昭和62 全面改修

総面積 6,445㎡、エアライフル、スモールボアライフル（バップル式）兼古式鉄砲 10射台

岡谷市営射撃場は平成20年度で廃止し、平成21年度から長野県ライフル射撃協会へ無償貸付している。

(3)平成30年度体育事業

① 岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業 ・各区対抗体育大会

事業名	会場
軟式野球競技	市営岡谷球場
ソフトテニス競技	市営庭球場
卓球競技	市民総合体育館
バドミントン競技	市民総合体育館
マレットゴルフ競技	湖畔公園マレットゴルフ場
ソフトバレーボール競技	市民総合体育館
ソフトボール競技	湖畔広場
エースドッジボール競技	市民総合体育館
40歳以上野球競技	市営岡谷球場
ボウリング競技	スポーツ岡谷
総合体育大会(綱引競技・表彰式等)	市民総合体育館

・夏季スポーツ祭

事業名	会場
夏季スポーツ祭(軟式野球)	市営岡谷球場
夏季スポーツ祭(ソフトテニス)	市営庭球場
夏季スポーツ祭(卓球)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(バドミントン)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(柔道)	市民総合体育館柔道場
夏季スポーツ祭(剣道)	市民総合体育館剣道場
夏季スポーツ祭(弓道)	市民総合体育館弓道場

・市民スポーツ普及大会

事業名	会場
学童春季 高円宮賜杯全日本学童軟式野球 兼県学童軟式野球選手権春季大会予選	市営岡谷球場
学童軟式野球選手権秋季大会予選(学童夏季)	市営岡谷球場
学童秋季軟式野球大会	市営岡谷球場
第53回岡谷市ママさんバレーボール大会	市民総合体育館 他
家庭婦人バレーボールリーグ戦	市民総合体育館 他
岡谷市民春季陸上競技大会	市営陸上競技場
第72回岡谷市民陸上競技選手権大会	市営陸上競技場
第40回市民元旦マラソン大会	市民総合体育館駐車場
第20回市民インドアソフトテニス大会	市民総合体育館
第44回岡谷市民テニス大会(シングルス)	市営庭球場
第44回岡谷市民テニス大会(ダブルス)	市営庭球場
第46回岡谷市卓球選手権大会	市民総合体育館
第50回岡谷市民バスケットボール大会(中学生の部)	市民総合体育館
第50回岡谷市民バスケットボール大会(一般の部)	市民総合体育館
市民夜間ソフトボールリーグ戦	市営岡谷球場・川岸スポーツ広場
岡谷市民ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
岡谷市民スケート大会	やまびこ国際スケートセンター
岡谷市民スキー大会	霧ヶ峰スキー場
第64回岡谷市民水泳競技大会	市民屋内水泳プール
第48回岡谷市民登山	日向山(山梨県)
岡谷サッカーリーグ戦(前期・後期)	川岸スポーツ広場
早起き野球リーグ戦	市営岡谷球場・湖畔広場ほか
早起き野球トーナメント戦	市営岡谷球場・湖畔広場ほか
第30回エースドッジボール市民大会春季大会	市民総合体育館
第30回岡谷市エースドッジボールジュニア大会	
第30回エースドッジボール市民大会秋季大会	市民総合体育館
第28回岡谷市内小学校エースドッジボール大会	
富岡市エースドッジボール交流大会	市民総合体育館
第32回エースドッジボール市民選手権大会	市民総合体育館
第30回夏季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第12回岡谷市民綱引大会	市民総合体育館
第25回岡谷市民カーリング大会	やまびこアイスアリーナ

・競技力向上事業

事業名	会場
第28回長野県市町村対抗駅伝競走大会	松本平広域公園陸上競技場
第14回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会	松本平広域公園陸上競技場
第69回諏訪地方陸上競技選手権大会	茅野市運動公園陸上競技場
第15回諏訪郡市中学生ソフトテニス大会	市営庭球場
第87回南信卓球選手権大会	市民総合体育館
第39回諏訪郡市男女バスケットボール選手権大会	市民総合体育館
第47回南信少年柔剣道大会(柔道)	市民総合体育館柔道場
第47回南信少年柔剣道大会(剣道)	市民総合体育館剣道場
第68回諏訪地方スケート大会	やまびこ国際スケートセンター

・長野県エースドッジボール協会主催事業

事業名	会場
第28回長野県エースドッジボール諏訪南地区予選会	茅野市運動公園体育館
第28回長野県エースドッジボール上伊那地区予選会	伊那市体育館
第28回長野県エースドッジボール大会	市民総合体育館

② 岡谷市体育協会支援関連事業

・市民スポーツ普及事業(加盟団体主催大会等)

事業名	会場
岡谷チャンピオンズリーグ野球大会	市営岡谷球場
中部地区選抜中学軟式野球大会予選	市営岡谷球場
全日本少年春季軟式野球大会予選	市営岡谷球場
全日本少年軟式野球大会予選	市営岡谷球場
岡谷市内小中学生長距離記録会	市営陸上競技場
岡谷市クラブ対抗団体戦(ソフトテニス)	市営庭球場
岡谷市家庭婦人ソフトテニス大会	市営庭球場
岡谷市ソフトテニス選手権大会	市営庭球場
岡谷ジュニア春季選手権大会	市営庭球場
テニス感謝祭	市営庭球場
岡谷テニス協会杯トーナメント大会	市営庭球場
甲府・岡谷親睦卓球大会	市民総合体育館
第15回岡谷カップバスケットボール大会(中学男子)	市民総合体育館
第12回岡谷カップバスケットボール大会(中学女子)	市民総合体育館
長野日報杯秋季トーナメント戦	川岸スポーツ広場
市民女子秋季ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
春季岡谷屋内選手権水泳競技大会	市民水泳プール
秋季岡谷屋内選手権水泳競技大会	市民水泳プール
平成30年度岡谷フットサルリーグ	市民総合体育館
岡谷市民ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
春の市民ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
岡谷市地区対抗ゴルフ大会	諏訪レイクヒルカントリークラブ
第81回岡谷市民ボウリング大会	スポルト岡谷
第82回岡谷市民ボウリング大会	スポルト岡谷
第83回岡谷市民ボウリング大会	スポルト岡谷
春季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
湖畔市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
会長杯市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
市民マレットゴルフ選手権大会	湖畔公園マレットゴルフ場
秋季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
岡谷7人制ラグビーフットボール選手権大会	岡エグランド
長野日報タグラグビー交流会	岡エグランド
創立16周年岡谷フォークダンスの会主催クリスマスパーティー	長地公民館
創立16周年岡谷フォークダンスの会主催パーティー	長地公民館
バドミントン連盟カップ大会	市民総合体育館
岡谷市長杯争奪長野県ジュニアアイスホッケー大会	やまびこアイスアリーナ
岡谷市民新聞社杯争奪県ジュニアアイスホッケー大会	やまびこアイスアリーナ

③ スポーツ少年団事業

事業名	会場
軟式野球春季交流大会	湖畔広場
市長杯・議長杯軟式野球交流大会	湖畔広場
スポーツ少年団軟式野球交流大会(県知事杯)	湖畔広場
ライオンズ杯軟式野球交流大会	湖畔広場
秋季軟式野球交流大会	湖畔広場・川岸スポーツ広場
硬式野球部イベント交流軟式野球大会	市営岡谷球場
シルク杯バレーボール交流大会	市民総合体育館
バレーボール新人交流大会	市民総合体育館
ソフトテニス交流大会	市営庭球場
武道空手新人交流大会	市民総合体育館

④ その他スポーツ大会

・市関連その他事業

事業名	会場
第17回岡谷カップフレンドシップバレーボール大会(ソフトバレーの部)	市民総合体育館
第17回岡谷カップフレンドシップバレーボール大会(高校女子の部)	市民総合体育館 他
第17回岡谷カップフレンドシップバレーボール大会(ママさんの部)	岡谷南部中学校
第17回岡谷カップフレンドシップバレーボール大会(小学生の部)	市民総合体育館 他
第17回岡谷カップフレンドシップバレーボール大会(中学生の部)	市民総合体育館 他
第17回岡谷カップフレンドシップバレーボール大会(高校男子の部)	市民総合体育館
塩嶺王城パークラインマラソン	塩嶺王城パークライン
諏訪湖マラソン	諏訪湖
県縦断駅伝競走	長野県内
諏訪湖剣道大会	市民総合体育館
諏訪地方ヘルスバレーボール大会(諏訪地方スポーツ推進委員連絡協議会)	清水町体育館
やまびこカップスピードスケート競技会	やまびこ国際スケートセンター

(4) 体育関係団体等

① 岡谷市スポーツ推進委員

(委員長：有賀 裕信 副委員長：小口 道代、古畑 正文)

氏 名	就任年月日	任 期	得 意 種 目
有賀 裕信	昭和52. 11. 1	平成32. 3. 31	柔道・レクリエーション
小口 道代	平成16. 4. 1	平成32. 3. 31	レクリエーション
古畑 正文	平成24. 4. 1	平成32. 3. 31	バレーボール・トレッキング
花岡 ひとみ	平成24. 4. 1	平成32. 3. 31	ソフトテニス
今井 美恵子	平成26. 4. 1	平成32. 3. 31	エースドッジボール
田中 仁之	平成26. 4. 1	平成32. 3. 31	ソフトテニス
柴田 晴美	平成26. 4. 1	平成32. 3. 31	バレーボール
赤池 高	平成28. 4. 1	平成32. 3. 31	陸上競技
武居 健二	平成28. 4. 1	平成32. 3. 31	野球・綱引き
瀧澤 章	平成30. 4. 1	平成32. 3. 31	ソフトボール・バスケットボール・スケート
田畑 加久司	平成30. 4. 1	平成32. 3. 31	長距離走
金原 圭介	平成30. 4. 1	平成32. 3. 31	サッカー
山岡 林太郎	平成30. 4. 1	平成32. 3. 31	バスケットボール

② 体育団体

名 称	代表者氏名	構成団体	備 考
公益財団法人岡谷市体育協会	千代 馨脩	4 7 団体	競技団体34、区体協10、地区体協3
岡谷市スポーツ少年団	高林 順三	1 1 団体	野球5、剣道1、バレーボール3 空手1、ソフトテニス 1

(5) 平成30年度スポーツ教室

① スポーツ教室

○少年スポーツ教室

教 室 名	対 象	開催期間	会 場	回数	定員
バスケットボール	小3～小6	4～7月	岡谷田中小学校	8回	50人
バレーボール	小1～小6	5～8月	岡谷田中小学校	8回	50人
テニス	小2～中3	5～7月	市営庭球場	8回	40人
剣道	小1～中3	5～7月	市民総合体育館	8回	30人
水泳	小1～小3	5月	市民屋内水泳プール	7回	40人
		6月		7回	40人
ソフトテニス	小4～中3	7～8月	市営庭球場	8回	40人
バドミントン	小4～中3	9～11月	市民総合体育館	8回	30人
新体操	小1～中3	11～12月	市民総合体育館 2 B 会議室	5回	30人
フットサル	小1～小6	1～3月	市民総合体育館	8回	30人
Hip Hop ダンス	小1～小6	7～9月	市民総合体育館 2 B 会議室	8回	20人
計					400人

○女性スポーツ教室

教 室 名	開催期間	会 場	回数	定員
ヨガ	8～10月	市民総合体育館 2 B 会議室	8回	20人
エクササイズ	10～11月	市民総合体育館 2 B 会議室	8回	20人
計				40人

○一般スポーツ教室

教 室 名	開催期間	会 場	回数	定員
ゴルフ	5～7月	小坂田の森ゴルフセンター	10回	22人

○市民全般スポーツ教室

教 室 名	開催期間	会 場	回数	定員
柔道	6月	市民総合体育館柔道場	8回	30人
卓球	9～11月	市民総合体育館	8回	30人
ソフトバレーボール	12～2月	市民総合体育館	8回	40人
計				100人

○託児付きスポーツ教室

教 室 名	開催期間	会 場	回数	定員
第1回 テニス	9～11月	市民総合体育館 2 B会議室	8回	20人
第2回 ヨガ	1～2月	市民総合体育館 2 B会議室	8回	20人
計				40人

② おかや小学生体育塾

教 室 名	対 象	開催期間	会 場	回数	定員
前期（２クラス）	小1～小3	５～８月	やまびこ国際スケートセンター他	各10回	各25人
後期（２クラス）	小1～小6	10～12月		各10回	各25人
計					100人

③ ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室

教室名	対 象	開催期間	会 場	回数	定員
小学生対象	小4～小6	11～2月	岡谷田中小学校他	15回	20人
中学生対象	中1～中3			6回	15人
計					35人

④ おかやファミリースポーツプログラム

教 室 名	対 象(親子)	開催期間	会 場	回数	定員
親子でバスケット体験	小1～小6	6月23日	市民総合体育館	1回	親子40組
親子でサッカー体験	年長～小6	10月20日	湖畔広場	1回	親子50組
親子でナイター野球体験	小1～小6	8月4日	市営岡谷球場	1回	親子50組
親子でソフトバレー体験	小1～小6	2月3日	市民総合体育館	1回	親子50組
計					親子190組

⑤ スケート教室

○多種目スケート教室

教 室 名	対 象	開催期間	会 場	回数	定員
小中学生スケート教室	小1～中3	10～11月	やまびこアリーナ	4回	50人
小中学生アイスホッケー教室	小1～中3	12月	やまびこアリーナ	2回	50人
カーリング教室	市民全般	12～2月	やまびこアリーナ	3回	20人
計					120人

○おかやスピードスケートトータルサポートクラブ

教 室 名	対 象	開催期間	会 場	回数	定員
初心者～上級者コース	小1～小6	7～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	30回	60人
アスリートコース	小3～中3	6～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	50回	20人
計					80人

⑥ 親子で氷上運動会

教 室 名	対 象(親子)	開催期間	会 場	回数	定員
親子で氷上運動会	年少～小3	11月上旬	やまびこアリーナ	1回	親子50組

(6) 体育施設の月別利用状況（平成29年度）

① 市営岡谷球場

区 分	専用使用		照明施設			放送設備	用 具
	全 面	半 面	野 球	ソフトボール			
				全 面	半 面		
4月	93.0 h	0.0 h	28.0 h	0.0 h	0.0 h	0 件	0 件
5月	77.0	0.0	18.0	0.0	0.0	2	0
6月	120.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0	0
7月	102.0	0.0	18.0	0.0	0.0	0	0
8月	46.0	0.0	12.0	0.0	0.0	4	0
9月	33.0	0.0	22.0	0.0	0.0	1	0
10月	22.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0	0
11月	232.0	0.0	1.0	42.5	0.0	10	0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
29年度	725.0	0.0	127.0	42.5	0.0	17	0
28年度	669.0	0.0	127.0	39.0	0.0	19	0

② 岡谷市営庭球場

区 分	専用使用	個人使用			通年使用	
		小中学生	一 般	市内小中（無料）	小中学生	一 般
4月	608.0 h	46 人	370 人	99 人	2 件	188 件
5月	943.0	44	329	96	0	9
6月	602.0	31	265	129	0	2
7月	520.0	27	295	180	0	0
8月	332.0	55	440	204	0	1
9月	918.0	17	296	128	0	0
10月	559.0	36	235	77	0	0
11月	429.0	51	369	104	0	0
12月	96.0	16	180	26	0	0
1月	0.0	52	164	39	0	0
2月	0.0	24	99	2	0	0
3月	0.0	125	319	53	0	0
29年度	5,007.0	524	3,361	1,137	2	200
28年度	6,298.0	715	2,743	720	0	213

③ 岡谷市民湖畔広場

区 分	専用使用		用 具
	全 面	半 面	
4月	87.0 h	71.0 h	2 件
5月	51.0	18.0	0
6月	160.0	14.0	0
7月	21.0	52.0	0
8月	36.0	28.0	0
9月	7.0	21.0	0
10月	18.0	14.0	0
11月	55.0	6.0	0
12月	0.0	0.0	0
1月	0.0	0.0	0
2月	0.0	6.0	0
3月	0.0	0.0	0
29年度	435.0	230.0	2
28年度	339.0	368.0	7

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

区 分	専用使用		照明施設			用 具
	全 面	半 面	ソフト全面	ソフト半面	サッカー	
4月	865.0 h	2.0 h	0.0 h	0.0 h	2.0 h	0 件
5月	23.0	9.0	0.0	0.0	2.0	0
6月	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
7月	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
8月	22.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0
9月	41.0	18.0	3.0	0.0	18.0	0
10月	53.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
11月	21.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0
12月	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
29年度	1,094.0	33.0	15.0	0.0	22.0	0
28年度	1,960.0	78.0	15.0	0.0	86.0	0

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

区 分	開場日数	大人	高校生	中学生以下	学校授業		入場者	大会合宿等	計
					市内	市外			
11月	8	191	101	611	115	0	331	1,087	2,436
12月	31	1,029	440	2,625	1,075	0	1,329	3,218	9,716
1月	31	1,162	313	2,342	1,872	47	1,127	1,463	8,326
2月	18	718	197	1,307	549	317	611	2,061	5,760
29年度	88	3,100	1,051	6,885	3,611	364	3,398	7,829	26,238
28年度	85	2,411	527	6,632	4,946	427	3,416	8,134	26,493

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	体育館		校 庭	
	専用使用	照明施設	専用使用	照明施設
小学校	7,047.0 h	7,047.0 h	4,373.5 h	489.0 h
神明小	880.0	880.0	704.0	144.0
小井川小	837.0	837.0	507.0	117.0
岡谷田中小	1,196.0	1,196.0	554.0	
湊小	733.0	733.0	643.5	
川岸小	1,231.0	1,231.0	362.0	
長地小	1,166.0	1,166.0	1,051.0	228.0
上の原小	1,004.0	1,004.0	552.0	
中学校	4,664.0 h	4,664.0 h	15.0 h	
岡谷北部中	1,304.0	1,304.0	15.0	
岡谷南部中	1,615.0	1,615.0	0.0	
岡谷東部中	590.0	590.0	0.0	
岡谷西部中	1,155.0	1,155.0	0.0	
29年度	11,711.0	11,711.0	4,388.5	489.0
28年度	10,885.0	10,885.0	4,717.0	611.0

⑦ 岡谷市民総合体育館

区 分	専用使用		個人使用				回数券使用				使用者数
	件 数	人 数	小中学生	一 般	無 料	合 計	小中学生	一 般	合 計	合 計	人
バレーボール	201	4,652	40	118	49	207	0	0	0		4,859
ソフトバレーボール	709	7,110	22	103	26	151	0	0	0		7,261
バスケットボール	313	3,376	333	1,060	1,165	2,558	0	0	0		5,934
バドミントン	669	7,986	216	1,628	347	2,191	0	0	0		10,177
エースドッジボール	6	85	2	6	16	24	0	0	0		109
卓球	685	10,525	172	626	282	1,080	0	0	0		11,605
テニス	32	686	3	65	0	68	0	0	0		754
ソフトテニス	69	969	0	73	0	73	0	0	0		1,042
ヨガ	23	266	0	0	0	0	0	0	0		266
新体操	52	1,611	0	0	0	0	0	0	0		1,611
太極拳	64	412	0	0	0	0	0	0	0		412
体操	168	2,140	0	0	0	0	0	0	0		2,140
吹き矢	25	248	0	0	0	0	0	0	0		248
ダンス	740	10,110	19	171	7	197	0	0	0		10,307
エアロビクス	25	348	0	0	0	0	0	0	0		348
ピラティス	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
インディアカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
柔道	97	1,172	1	61	1	63	0	0	0		1,235
剣道	256	6,321	20	52	10	82	0	0	0		6,403
空手	166	3,081	0	98	8	106	0	0	0		3,187
合気道	0	0	0	34	0	34	0	0	0		34
弓道	317	7,300	0	502	0	502	0	0	0		7,802
トレーニング	39	554	201	8,639	200	9,040	33	6,907	6,940		16,534
綱引き	33	882	0	0	0	0	0	0	0		882
フットサル	126	3,371	97	37	1	135	0	0	0		3,506
大会	208	64,610	0	0	0	0	0	0	0		64,610
その他	926	28,815	0	0	1,692	1,692	0	0	0		30,507
幼児体育室	0	0	0	0	550	550	0	0	0		550
29年度	5,949	166,630	1,126	13,273	4,354	18,753	33	6,907	6,940		192,323
28年度	6,199	173,707	1,026	12,015	3,968	17,009	0	7,230	7,230		197,946

⑧ 岡谷市民水泳プール

区 分	開場 日数	コース専用使用	個人使用				回数券	
			小中 学生	一般	市内 小中 (無料)	その他 無料 減免	小中 学生	一般
	日	h	人	人	人	人	件	件
4月	26	447.5	17	84	66	18	0	23
5月	27	327.0	34	150	175	13	0	31
6月	25	365.0	36	172	210	8	2	21
7月	28	374.0	256	464	610	27	3	42
8月	29	417.0	477	775	551	31	2	31
9月	26	387.0	54	179	144	15	0	25
10月	27	386.5	9	113	58	11	0	29
11月	25	306.0	22	224	45	10	0	24
12月	24	252.0	13	153	43	13	0	16
1月	17	224.0	10	114	33	6	1	38
2月	24	248.0	26	150	47	6	0	25
3月	26	246.0	19	142	84	8	0	16
29年度	304	3,980.0	973	2,720	2,066	166	8	321
28年度	304	4,408.5	850	2,482	1,851	173	3	295

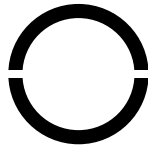
※参考：平成29年度 無料利用者数

施 設 名	利用者数	備 考
岡谷市民総合体育館	4,354 人	市内小中学生、幼児体育室等
岡谷市宮庭球場	1,137 人	市内小中学生
岡谷市民水泳プール	2,066 人	市内小中学生
岡谷市やまびこ国際スケートセンター	2,016 人	市内中学生以下
岡谷市やまびこアリーナ	1,378 人	市内中学生以下

姉妹都市

マウント・プレザント市（アメリカ合衆国ミシガン州）	昭和 40 年 6 月提携
富岡市（群馬県）	昭和 47 年 10 月提携
玉野市（岡山県）	昭和 55 年 10 月提携
東伊豆町（静岡県賀茂郡）	昭和 60 年 3 月提携

○市章



市章（昭和 11 年 5 月 9 日制定）

線の太さは直径の 1/10、上下円弧は同形、中心水平の位置に線の太さの 1/2 の間隔を置く。上半円は岡、下半円は谷を表し、上下半円が協力円満な市の発展を表現しています。

○市木・市花

（昭和 51 年 7 月 1 日指定）



平成 30 年度 岡谷市教育要覧

（－2018－）

編集 岡谷市教育委員会
及び発行 岡谷市幸町 8 番 1 号
TEL (0266) 23-4811
FAX (0226) 24-2755

表紙
「アルトリコーダー練習中」
湊小学校 6 年生
近藤雄斗さんの作品